

地域と共に生き 地域と共に歩む

2023年度 事業報告

社会福祉法人 敬愛会

目 次

2023年度社会福祉法人敬愛会事業報告	1
特別養護老人ホーム志和荘事業報告	17
介護老人福祉施設悠和荘事業報告	39
幼保連携型認定こども園こずかたこども園事業報告	54
こずかたケアプランセンター事業報告	71
矢巾町地域包括支援センター 指定介護予防支援事業所 認知症施策総合推進事業 認知症初期集中支援事業 チームオレンジコーディネーター事業 生活支援体制整備事業 事業報告	78

2023年度 事業報告書

社会福祉法人 敬愛会

社会福祉法人敬愛会 沿革

年 月 日		事 項
1982 年	11月30日	社会福祉法人「敬愛会」設立準備委員会設置
1983 年	10月26日	特別養護老人ホーム志和荘新築工事入札
1984 年	3月 7日	厚生省から社会福祉法人敬愛会認可通知書の受理
	3月 8日	社会福祉法人敬愛会法人設立登記
	3月30日	特別養護老人ホーム志和荘設置認可(入所定員50名)
	4月 2日	特別養護老人ホーム志和荘開所ならびに辞令交付式
	5月 8日	特別養護老人ホーム志和荘落成式
	11月 1日	旧都南村社会福祉協議会との委託契約により在宅寝たきり老人入浴サービス事業実施
	12月24日	矢巾町との委託契約により 寝たきり老人短期保護事業実施
1985 年	4月 1日	紫波町との委託契約により 寝たきり老人短期保護事業実施
1987 年	1月20日	在宅老人短期保護事業専用居室4床整備
1988 年	3月 2日	特別養護老人ホーム志和荘に多目的ホールとしてサンルームを増設
	6月 1日	矢巾町との委託契約により、在宅老人給食サービス事業を実施
1991 年	1月16日	特別養護老人ホーム志和荘に隣接してデイサービスセンターを設置 矢巾町との委託契約によりデイサービス事業を実施
1992 年	2月 1日	屋内消火栓整備事業完了
	3月 8日	敬愛会定款に基づく理事定数を7名から11名に改正
	12月25日	浄化槽改修整備事業完了
1993 年	3月19日	在宅介護支援センター施設整備事業完了 矢巾町との委託契約により在宅介護支援センター事業を実施
	3月31日	志和荘とデイサービスとの接続廊下整備事業完了
	3月31日	短期入所専用居室8床増床整備事業完了(個室2・二人部屋1・四人部屋1)
1997 年	9月22日	特別養護老人ホーム志和荘特殊浴槽改修整備事業完了
1998 年	11月30日	駐車場及び搬入搬出道路整備事業完了
2000 年	4月 1日	介護保険法の実施により ○指定介護老人福祉施設「志和荘」 事業所番号 0372200162 ○指定短期入所生活介護事業 事業所番号 0372200097 ○指定通所介護事業(デイサービス) 事業所番号 0372200097 ○敬愛会指定居宅介護支援事業所 事業所番号 0372200063
	10月27日	ショートステイ床の特養への転換による財産処分 ○老人ホーム志和荘入所定員を50名から52名に変更 ○短期入所専用居室を12床から10床に変更
2001 年	5月30日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築予定用地に係る試掘調査依頼(岩手県・矢巾町教育委員会)
	6月21日	試掘調査依頼に対する調査結果通知受理(埋蔵文化財が発見されなかったとの報告)
	7月10日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築予定用地に係る追加試掘調査依頼(岩手県・矢巾町教育委員会)
	7月25日	志和荘移転新築用地取得の条件付売買契約締結(農振法) 所有者:藤原剛一 取得面積:6,492.08㎡

年 月 日		事 項
2001 年	8月 8日	7月10日付での試掘調査依頼に対する調査結果通知の受理(調査結果埋蔵文化財が発見されなかったとの報告)
	8月 9日	志和荘移転新築用地取得の条件付売買契約締結(農振法) 所有者:中野廣一 取得面積:3,650.0㎡
	8月20日	条件付にて取得した用地に係る農振法での農用地区域除外申請(申請面積:9,764.0㎡)
2002 年	1月11日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業に係る老人福祉施設整備費協議書の申請(平成14年度事業として)
	1月28日	国土利用計画法に基づく取得用地の届出(届出面積:10,142.08㎡)
	4月11日	志和荘移転新築用地取得の追加購入売買契約締結 所有者:中野廣一 取得面積:4,379.0㎡
	4月16日	国土利用計画法に基づく追加取得用地の届出 (届出面積:4,379.0㎡ 総取得面積:14,521.08㎡)
	5月31日	志和荘移転新築整備事業に伴う施設整備費補助金の内示受理 (補助額 426,213 千円 内訳:国 270,666 千円・県 155,547 千円)
	6月 7日	農振法第5条の規定による農地転用許可申請書の提出
	7月16日	農振法第5条の規定による農地転用許可済証の受理
	9月11日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業の入札 入所定員を35名増床「完全個室・ユニットケア導入」
	9月17日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業請負業者との契約締結(東野建設工業㈱・大平建設㈱特定共同企業体)
	9月18日	特別養護老人ホーム志和荘移転新築整備事業の着工
	10月29日	志和荘移転新築整備事業に関し2か年事業としての申請
2003 年	1月10日	志和荘移転新築整備事業に伴う15年度設備整備費協議書申請(申請額 14,347,000)
	3月10日	平成14年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 216,516,204 円 内訳:国 137,498,000 円・県 79,018,204 円)
	3月10日	平成14年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 216,516,204 円 内訳:国 137,498,000 円・県 79,018,204 円)
	5月12日	志和荘移転新築整備事業に伴う平成15年度分施設整備費補助金交付申請 (補助金総額 209,696,796円)
	5月28日	平成15年度分の施設整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 209,696,796 円 内訳:国 133,168,000 円・県 76,528,796 円)
	7月 1日	新型特別養護老人ホーム志和荘完成に伴う建築確認検査
	7月 4日	平成15年度設備整備費補助金交付契約書の締結 (補助額 14,347,000 円 内訳:国 10,064,000 円・県 4,283,000 円)
	7月 4日	志和荘建築確認検査済証の受理
	7月 7日	独立行政法人福祉医療機構(旧社会福祉・医療事業団)からの施設整備費貸付契約書の締結(借入額 500,000,000 円)
	7月10日	「完全個室・ユニットケア」による特別養護老人ホーム志和荘の落成(落成・祝賀会を志和荘地域交流センターにて行う)
	7月22日	旧志和荘から新志和荘へ移転する
2006 年	4月 1日	矢巾町地域包括支援センター開設(さわかハウス)
	11月 6日	旧志和荘跡利用として地域密着型介護老人福祉施設を整備事業開始

年 月 日		事 項
2007 年	3月26日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘の整備事業完了
	4月19日	介護老人福祉施設悠和荘落成式
	5月 1日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘の事業指定を受ける (事業指定番号0392200028)
	5月 7日	地域密着型介護老人福祉施設悠和荘事業開所(入居定員 21名)
	8月23日	悠和荘短期入所生活介護事業の事業指定を受ける (事業指定番号0372200659) 指定有効終了年月日 平成25年8月22日
2008 年	4月 1日	指定介護事業所として下記事業所の更新指定を受ける 特別養護老人ホーム志和荘 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 志和荘短期入所生活介護事業 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 敬愛会通所介護事業 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日) 敬愛会指定居宅介護支援事業所 (有効期限 平成 26 年 3 月 31 日)
	10月28日	悠和荘にて福祉車両整備(財団法人 JKA からの補助)
2009 年	8月20日	新規介護事業として下記の事業の指定を受ける(有効期限 平成 27 年8月 19 日) ・ 志和荘介護予防短期入所生活介護事業 ・ 悠和荘介護予防短期入所生活介護事業
2010 年	4月28日	志和荘隣接用地の追加購入売買契約締結 所有者:中野廣一 取得面積:1,340.78㎡
	12月14日	志和荘に於いて福祉サービス第三者評価を受ける (訪問調査、平成23年2月8日付で第三者評価結果報告を受ける)
2011 年	12月19日	帰厚堂・敬愛会合同での施設整備 医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」の契約締結(敬愛会に於ける施設整備は、保育所と包括支援センターの整備)
2013 年	1月17日	帰厚堂・敬愛会合同での施設整備 医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」の落成
	3月11日	保育園開放・体験入園(3月28日まで)
	3月18日	こずかた保育園認可申請現場検査(岩手県・矢巾町)
	4月 1日	社会福祉法人敬愛会こずかた保育園開所
	4月 1日	矢巾町地域包括支援センター移転開設(ケアセンター南昌)
	8月 1日	志和荘短期入所事業10床を廃止、全て長期入所に切替え入所定員97名でスタートする。
2016 年	4月 1日	敬愛会老人デイサービスセンターが地域密着型小規模通所介護としてスタートする
	1月 10日	やはば生活支援ネットワーク事業の参画協定書に調印、全8法人で事業がスタートする。
2017 年	3月	志和荘及び悠和荘へ防犯カメラ並びに110番通報装置を設置する。
	4月 1日	改正社会福祉法に基づき評議員定数を7名に変更しスタートする。
	12月 1日	矢巾町からデイサービスセンター建物の無償譲渡を受ける。
2018 年	7月31日	デイサービスセンターの業務を終了する。
	8月 3日	悠和荘増設事業で県補助金分の内示(補助額 39,128 千円)を受ける。
	8月14日	悠和荘増設事業の事前着手が承認される。
	12月 5日	悠和荘増設事業の補助金交付申請(県・町合計 50,560 千円)を提出する。
2019 年	1月16日	悠和荘増設事業補助金交付契約を締結する。
	2月20日	悠和荘増設工事完成検査を行う。
	2月22日	矢巾町、岩手県による悠和荘増設事業費補助金の完了確認を受ける。

年 月 日		事 項
2019 年	3月1日	悠和荘の新ユニット(5丁目)の運用を開始する。
	4月1日	こずかた保育園から幼保連携型認定こども園こずかたこども園に移行。
2020 年	3月3日	事業継続計画(BCP)新型コロナウイルス対応編策定
	4月1日	敬愛会指定居宅介護支援事業所から指定居宅介護支援事業所こずかたケアプランセンターに移行
	4月24日	志和荘で入居者のご家族とを結ぶオンライン面会を開始
	5月13日	悠和荘で入居者のご家族とを結ぶオンライン面会を開始
	10月10日	矢巾町えんじょいセンター開所
2021 年	2月16日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業費補助金交付決定(志和荘)
	3月8日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了予定期日変更承認
	11月30日	2020 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了
2022 年	3月16日	2021 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業費補助金交付決定 (志和荘・悠和荘介護記録ソフト導入、悠和荘 Wi-Fi 環境整備)
	3月31日	2021 年度岩手県介護ロボット等導入支援事業完了
	5月30日	電話交換機、ナースコール設備更新工事完成

【 社会福祉法人敬愛会事業の内容 】

総 括

社会福祉法人敬愛会は、1984年(昭和59年)に特別養護老人ホーム志和荘を開設し2024年で40年を迎える。以来、社会は大きく変わり、特に少子高齢化の進展に伴い、本町においても出生数が大幅に減少する一方、高齢者数は今後とも増加する地域と縮小する地域が混在している。確実に言えることは、少子化により働き手が減少し人材確保が困難になり人件費の引き上げが懸念されている。

また、専門家は、新型コロナウイルスが終息する可能性は低いと見ており、引き続き感染対策経費や施設の利用児・者の確保が困難を極めるとともに、更なる物価高騰等により施設経営が厳しくなり、法人財政の逼迫が懸念される。

特別養護老人ホーム志和荘(広域型)と介護老人福祉施設悠和荘(地域密着型)は、ユニットケアシステムを導入しているが、更なるユニットケアシステムの充実を目指し、余すことなくシステムの利点を生かしたサービスの提供を目指している。併せて、特筆すべき点は、南昌の里にある両施設とも医療協力病院である医療法人社団帰厚堂南昌病院と敬愛会介護施設間との連携が挙げられ、他法人にない医療と介護の結びつきを強めてきた。

2024年3月末の介護施設の登録待機者は、志和荘は対前年同期比15人減の59人(前年度29人減の74人)、悠和荘は同5人減の40人(前年度12人減の45人)と登録待機者の減少が続いている。更には、志和荘及び悠和荘の実質入居可能な待機者が約半数に絞り込まれ、残りの半数は医療行為が引き続き必要とする者や、現行利用施設での利用継続を望む者が多く、その入居調整に苦慮している。

このことから、施設経営の安定を図るためには、短期入所サービスの利用率向上や長期利用者の安定確保を図ることが健全経営に繋がるものと言える。

子育て支援施設である「こずかたこども園」については、教育と保育を一体的に進める時代の要請と地域ニーズに応えるため、2019年4月から幼保連携型認定こども園「こずかたこども園」に移行を図り、新制度5年目として園児が心身ともに豊かに育ち合うよう努めている。一方、全国的にも流行した夏風邪症候群のヘルパンギーナが7月から9月に流行し、その他にもインフルエンザA、新型コロナウイルス、アデノウイルス及び溶連菌感染症等が発生したことにより、その対策に傾注した1年でもあった。

なお、新型コロナウイルス感染症については、世界的規模にまで感染拡大して5年目となり、その感染対策に専心事に当たってきました。とりわけ、敬愛会介護施設利用者は、基礎疾患があり免疫力が低く、加えて大多数が認知症利用者で感染対策には難しいものがある。なお、面会については、看取り介護や症状悪化が進んだ場合を除き、オンライン面会に加え窓越し面会により対応するなど、基本的に対面面会の制限をしてきたが、今後感染状況を確認しながら面会の重要性に鑑み、入居者とその家族等の声を踏まえ対面による面会を柔軟に検討をして参ります。

他方、社会福祉法人敬愛会として地域公益活動を積極的に行うなど、法人と地域住民との密着度の高さを誇りにしている。これは「地域とともに生き、地域とともに歩む」という法人理念が根拠であると考え、これが敬愛会の強みであり、今後法人経営の中で生かしていくためにも職員一同更なる充実を目指している。

1 社会福祉法人敬愛会

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割100番
- (2) 設立年月日:1984年3月8日
- (3) 法人代表者:理事長 木 村 宗 孝
- (4) 役員等構成:理事(理事長含む) 6名・監事 2名・評議員 7名 評議員選任・解任委員 5名
苦情解決委員(第三者委員3名・入所者家族代表1名・事業者委員1名)、敬愛会入所判定委員 4名
- (5) 法人所有敷地:25, 609. 48㎡

2 特別養護老人ホーム志和荘

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割100番地
- (2) 開設年月日:1984年4月2日に開設し、2003年7月10日に現在地に移転新築し現在に至る
- (3) 入所定員:志和荘 97名
- (4) 建物の面積:4, 864. 82 ㎡

(5) 職員配置状況(2024年4月1日現在) 職員 78 人、嘱託医師 2 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
施設長	1	嘱託医師	2	生活相談員	2	看護師	5
介護支援専門員	2	介護福祉士	49	介護士	9	介護補助	2
管理栄養士	2	理学療法士	1	歯科衛生士	1	事務	4

3 地域密着型介護老人福祉施設悠和荘

- (1) 所在地:岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第1地割2番地312
(2) 開設年月日:2007年5月7日
(3) 入所定員:悠和荘 29名(2019年3月1日増床)・短期入所生活介護(ショートステイ) 8名
(4) 建物の面積:2,401.91㎡
(5) 職員配置状況(2024年4月1日現在) 職員 29 人、嘱託医師 1 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
施設長	1	嘱託医師	1	生活相談員	1	看護師	2
介護支援専門員	1	介護福祉士	19	介護士	2	マッサージ師	1
管理栄養士	1	事務	1				

4 こずかたケアプランセンター

- (1) 所 在 地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地
医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」1階
(2) 開設年月日:2020年4月1日
(3) 職員配置状況(2024年4月1日現在) 職員5人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
管理者兼主任介護支援専門員	1	主任介護支援専門員	1	介護支援専門員	3

5 矢巾町地域包括支援センター

- (1) 所 在 地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地
医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」1階
(2) 開設年月日:2006年4月1日
(3) 職員配置状況(2024年4月1日現在) 職員 8 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
所長兼主任介護支援専門員	1	主任兼えんじょいセンター管理者	1	保健師	1
主任兼社会福祉士	1	主任介護支援専門員	2	認知症地域支援推進員	1
事務	1				

6 幼保連携型認定こども園こずかたこども園

- (1) 所 在 地:岩手県紫波郡矢巾町大字又兵エ新田第5地割335番地
医療福祉多機能ビル「ケアセンター南昌」2階
(2) 開設年月日:2013年4月1日
(3) 職員配置状況(2024年4月1日現在) 職員 27人、学校医 1 人、学校歯科医 1 人、薬剤師 1 人

職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数	職 名	人数
園 長	1	副 園 長	1	主幹保育教諭	2	保育教諭	15
パート保育教諭	2	保育補助	2	看 護 師	2	事 務	2
学校医	1	学校歯科医	1	薬剤師	1		

7 2023年度社会福祉法人敬愛会理事会の開催

○ 2023年5月30日第1回理事会開催

- 議案内容 (1) 議案第1号 社会福祉法人敬愛会就業規則の一部改正について
 (2) 議案第2号 2022年度事業報告について
 (3) 議案第3号 2022年度決算の承認について
 (4) 議案第4号 2023年度社会福祉法人敬愛会定時評議員会の招集について

○ 2024年3月27日第2回理事会開催

- 議案内容 (1) 議案第1号 諸規定の一部改正について
 ① 組織規程
 ② 給与規定
 (2) 議案第2号 2023年度資金収支予算の補正について
 (3) 議案第3号 2024年度社会福祉法人敬愛会事業計画(案)について
 (4) 議案第4号 2024年度資金収支予算(案)について
 (5) 議案第5号 社会福祉法人敬愛会理事候補者の推薦について
 (6) 議案第6号 役員等賠償責任保険契約について

8 2023年度社会福祉法人敬愛会定時評議員会の開催

○ 2023年6月20日定時評議員会開催

- 議案内容 (1) 議案第1号 2022年度事業報告について
 (2) 議案第2号 2022年度決算の承認について
 (3) 議案第3号 社会福祉法人敬愛会理事及び監事の選任について

9 社会福祉法人敬愛会評議員選任解任委員会の開催

○ (開催なし)

10 2023年度社会福祉法人敬愛会監事監査の実施

- 2023年 5月22日：2022年度出納調査実施(2023年1月～3月までの出納調査)、
 2022年度決算監査実施
 ○ 2023年 8月 9日：2023年度出納調査実施(2023年4月～6月までの出納調査)
 ○ 2023年11月22日：2023年度出納調査実施(2023年7月～9月までの出納調査)
 ○ 2024年 2月19日：2023年度出納調査実施(2023年10月～12月までの出納調査)

11 社会福祉法人敬愛会地域公益活動への取り組み

(1) 地域応援出前講座の実施(2010年度開始)

年度	法人名	実 施 状 況			備 考
		回 数	総参加者数	平均参加者数	
2010年度	敬愛会	9	264	29.3	1年目
	帰厚堂	2	60	30.0	
	小 計	11	324	29.5	
2011年度	敬愛会	7	124	17.7	2年目 累計 20 回
	帰厚堂	2	52	26.0	
	小 計	9	176	19.6	
2012年度	敬愛会	7	155	22.1	3年目 累計 30 回
	帰厚堂	3	80	26.7	
	小 計	10	235	23.5	

2013年度	敬愛会	16	413	25.8	4年目 累計 48 回
	帰厚堂	2	29	14.5	
	小 計	18	442	24.6	
2014年度	敬愛会	18	498	27.7	5年目 累計 69 回
	帰厚堂	3	92	30.7	
	小 計	21	590	28.1	
2015年度	敬愛会	22	506	23.0	6年目 累計 96 回
	帰厚堂	5	160	32.0	
	小 計	27	666	24.7	
2016年度	敬愛会	15	670	44.7	7年目 累計 119 回
	帰厚堂	8	236	29.5	
	小 計	23	906	39.4	
2017年度	敬愛会	13	442	34.0	8年目 累計 136 回
	帰厚堂	4	195	48.8	
	小 計	17	637	37.5	
2018年度	敬愛会	2	50	25.0	9年目 累計 144 回
	帰厚堂	6	122	20.3	
	小 計	8	172	21.5	
2019年度	敬愛会	17	894	52.6	10年目 累計 173 回
	帰厚堂	12	411	34.8	
	小 計	29	1,305	45.0	
2020年度	敬愛会	活動実績無し			11年目
	帰厚堂				
	小 計				
2021年度	敬愛会	活動実績無し			12年目 累計 174 回
	帰厚堂				
	小 計				
2022年度	敬愛会	7	121	17.3	13 年目 累計 182 回
	帰厚堂	1	15	15.0	
	小 計	8	136	17.0	
2023年度	敬愛会	10	152	15.2	14年目 累計 199 回
	帰厚堂	1	15	15.0	
	小 計	8	136	17.0	

社会福祉法人敬愛会 143 講座、参加者数 4,289 人
 医療法人社団帰厚堂 56 講座、参加者数 1,592 人
 合 計 2023 年度末(累計) 199 講座、参加者数 5,881 人(1会場平均参加者 29.6 人)

(2) 劇団「おたすけ」の公演(2003年度開始)

① 実施法人名 【医療法人社団帰厚堂、社会福祉法人敬愛会、社会福祉法人睦喜会】

経 過		公 演 テ ー マ	公 演 内 容
第1作	2003 年度	介護が必要になったら 覚えておこう！在宅介護支援 センターの役割	ノブさんに突然、認知症が出て家族が大慌て…… 在宅介護支援センターの役割を紹介するとともに、 家族みんなが認知症への理解が大切です。
	2004 年度		
第2作	2005 年度	悪徳商法に気をつけましょう 年度合計	高齢者の皆さまが狙われています。 悪質商法に対してどのような立ち向かうか、消費者被害の 予防方法を紹介します。
		【10 回、延べ 545 人】	

第3作	2006 年度	ノブさん町にでる 年度合計 【12 回、延べ 1,129 人】	認知症になっても地域での支え合い精神が大切です。家族みんなで共に生活していくためにどのように対応したらよいでしょうか。
第4作	2007 年度	ノブさんが介護予防に挑戦 2007 年度【14 回、延べ 742 人】	「ボケず、寝込まず、病気せず」の非介護三原則を目標に、家族や地域での介護予防と支え合いづくりを推進しましょう。
	2008 年度	2008 年度【12 回、延べ 642 人】	
第5作	2009 年度	ノブさん医者に行く 年度合計 【12 回、延べ 488 人】 ※インフルエンザの流行により、残り 4 カ所で公演中止	医者嫌いのノブさんが、認知症診断のため家族がどのように医療機関につれていくか。在宅介護を目指した家族奮闘記です。
第6作	2010 年度	認知症、地域の力で支えよう 2010 年度 【12 回、延べ 1,162 人】	本格的超高齢化社会を迎え、地域の方々がどのようにして高齢者の皆さまを支えていくか、今後の大きな課題となる認知症について考えましょう。
	2011 年度	2011 年度【12 回、延べ 659 人】	
第3作 (再)	2012 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 2 年度合計【4 回、延べ 374 人】	国の認知症施策 5 カ年計画(オレンジプラン)が発表され、地域のネットワークづくりが課題となってきた。その内容の第 3 作を上演しました。
	2013 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 3 年度合計【6 回、延べ 291 人】 ※100 回記念 公演場所 CC 南昌 2013 年 7 月 13 日(土)	矢巾町の認知症支援事業が具体的に動き出しました。地域の皆さんのご協力でネットワークづくりを展開していきます。
	2014 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 4 年度合計【4 回、延べ 496 人】	矢巾町内での「認知症サポーター養成講座」が活発に行われてきています。「認知症カフェ」もオープンしました。
	2015 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 5 年度合計【4 回、延べ 165 人】	新オレンジプランが発表され、本人本位と家族支援を中心とした「認知症にやさしいまちづくり」が提起されました。多くの方々にこの認知症を理解して頂くため、スタッフ一同奮起中。
	2016 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 6 年度合計【4 回、延べ 286 人】	矢巾町内では「徘徊模擬訓練(新田 1・2 区)」が行われ、「認知症カフェ」もやはばパークで開設、「おれんじボランティア」も結成された。国の事業である認知症コホート研究「やはば脳とカラダのいきいき健診事業」は 8 月から、認知症初期集中支援チームは 10 月からスタートし、認知症の取組みが広がっています。劇団おたすけも山田町でも公演しました。
	2017 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート 6 年度合計【6 回、延べ 732 人】	矢巾町第 7 期介護保険計画が策定され、「認知症施策の推進」がしっかり位置づけられました。認知症サポーターが目標の 4,000 人をクリア、延べ 4,140 人となり総人口に占める割合で岩手県内市町村でベスト 8 入りを達成。おれんじボランティアは「矢巾町住民主体型訪問サービス」として認証され、生活支援サービスを開始しています。劇団おたすけは、岩手県認知症セミナーでマリオスで講演し、認知度が広がりました。

	2018 年度	第 3 作 ノブさん町にでるパート6 年度合計【4 回、延べ 228 人】	認知症の理解を広げる矢巾町全体のイベント「スマイルディメンシアやはば」が、世界アルツハイマー月間にちなみ、9 月 2 日にやはば一くで開催し、来場者は 200 人と大盛況。認知症サポーター数も 5,000 人に迫っている。サポーターを養成する「おれんじボランティア養成講座(第 2 期)」も開催され、13 人が新しい仲間となりました。また、劇団おたすけは、普代村にも出向き、中学生と交流を深めた。
第3作 (再) 新作	2019 年度	・第 3 作ノブさん町にでるパート6を3回公演 ・新作エン(縁)ジョイ公民館の作り方を1回公演 年度合計【4 回、延べ 310 人】	国の認知症施策推進大綱が 2019 年 6 月 18 日に決定。「共生」と「予防」を車の両輪として施策を推進することになった。矢巾町でも呼応し、公民館でのエンジョイやはばネットワークづくりが前進した。劇団「おたすけ」はそれに協力し、新作「エン(縁)ジョイ公民館の作り方」を公演。矢巾町内の認知症サポーターは、6,036 人に。おれんじボランティアの拠点整備も決定した。
	2020 年度	新型コロナウイルス感染対策により活動実績無し	
	2021 年度	新型コロナウイルス感染対策により活動実績無し	
	2022 年度	新型コロナウイルス感染対策により活動実績無し	
	2023 年度	新型コロナウイルス感染対策により活動実績無し	

② 2013 年 7 月 13 日 100 回記念公演 (場所 CC南昌)、矢巾町長感謝状

③ 2023 年度末(累計) 131 回公演 参加者数 8,948 人(1 会場平均参加者 68.3 人)

(3) 社会福祉法人等による生活困難者に対する利用者負担額軽減 2000 年度開始)

① 対 象 者 介護保険サービスを利用する低所得者(住民税非課税世帯)のうち、特に生活が困窮している

② 軽減対象 介護サービス費、食費、居住費の軽減。

年 度	志和荘軽減額	悠和荘軽減額	合 計	特 記 事 項
2015年度	1,714,757 円	404,362 円	2,119,119 円	
2016年度	1,825,414 円	419,840 円	2,245,254 円	
2017年度	1,619,552 円	82,000 円	1,701,552 円	
2018年度	1,895,474 円	0 円	1,895,474 円	
2019年度	1,372,524 円	19,103 円	1,391,627 円	対象者 志和荘6、悠和荘1 延 79 件
2020年度	2,189,405 円	0 円	2,189,405 円	対象者 志和荘 12、悠和荘 0 延 116 件
2021年度	2,941,071 円	3,280 円	2,944,351 円	対象者 志和荘 15、悠和荘 1 延 160 件
2022年度	2,032,809 円	3,360 円	2,036,169 円	対象者 志和荘 13、悠和荘 1 延 109 件
2023年度	1,438,850 円	5,740 円	1,444,590 円	対象者 志和荘 8、悠和荘 1 延 86 件

(4) 保護観察者の社会復帰支援事業に伴う社会貢献活動実施施設として登録 (2013 年度開始)

① 活動内容

ア 施設外環境美化活動

イ 施設内清掃及び車イス清掃

② 対象者なし

(5) 矢巾町と複数法人の連携による災害時要援護者への支援協定の締結 (2014 年度開始)

① 目的 矢巾町大規模災害発生時に、町内の援護を要する者の支援活動を円滑にする

② 対象者なし

(6)盛岡広域シルバーケアSOSネットワーク事業 (2015 年度開始)

- ① 目的 認知症高齢者徘徊保護対策事業として、矢巾町内で発見した認知症の身元不明者に対し、介護施設の短期入所施設で身元判明までの期間に措置入所を行う。
- ② 対象者なし

(7)災害支援

- ① 中央ブロック高齢者福祉協議会 災害時支援ネットワーク協定 (2014 年7月開始)
会員施設に大規模被害が発生した場合、被災していない施設が被災施設利用者の受入れ並びに職員を派遣するもの。以後、岩手県高齢者福祉協議会、東北ブロック老人福祉施設協議会員施設まで拡大している。
- ② 岩手県災害派遣福祉チーム (2013 年9月開始)
災害救助法が適用される大規模な災害が発生した場合、被災市町村からの要請や被害状況を勘案し、チームを災害派遣する必要があると県が認めた場合に職員を派遣する。
敬愛会登録職員 介護支援専門員 1、社会福祉士 1、介護福祉士 1、保育士 1

(8)無料シャトルバスの運行

- ① 運行経路 ケアセンター南昌 ⇄ 志和荘 ⇄ 悠和荘 ⇄ 南昌病院・敬愛荘
- ② 運行回数 1日5往復
- ③ 運行日 月曜日から土曜日と祝祭日
- ④ 運行開始日 2016 年2月1日

(9)やはば生活支援ネットワーク事業

- ① 矢巾町を区域とする公益的な取組を共同実施する「やはば生活支援ネットワーク事業」による活動を 2017 年4月1日から無料で実施
- ② 事業内容

ア 日常生活支援事業 買い物支援サービス

(単位:人)

年 度	敬愛会	新生会	爽生会	睦喜会	親和会	朗親会	帰厚堂	いちご会	合 計
2017 年	3	3	2	3	2		2		15(114 件/年)
2018 年	3	3	2	3	2	1	2		16(160 件/年)
2019 年	3	3	4	3	2	2	2		19(156 件/年)
2020 年	5	3	4	3	2	3	2		22(173 件/年)
2021 年	5	3	3	3	2	4	2	1	23(140 件/年)
2022 年	3	3	1	3	2	4	2	3	21(103 件/年)
2023 年	1	3	1	3	1	4	1	2	16(141 件/年)

イ ゴミ出し支援事業 (ゴミ出しに関する事前調査を行い、必要と判断した場合は買い物支援日に実施)

年度	敬愛会	新生会	爽生会	睦喜会	親和会	朗親会	帰厚堂	合 計
2019 年度	1							1(4件/年)
2020 年度	1							1(3件/年)
2021 年度								0
2022 年度								0
2023 年度								0

ウ 生活困窮者生活支援事業

経済的な課題を抱え、生活維持が困難な方を対象に生活支援事業を実施した。

年度	支援件数	支援総額	対象者の主な内容、経緯等
2017年度	8件	224,341 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援を行った。
2018年度	7件	195,871 円	
2019年度	6件	181,289 円	
	27回	38,696 円	備蓄用食料の支援
2020年度	4件	118,224 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援を行った。
	37回	94,013 円	備蓄用食料の支援
2021年度	4件	144,523 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援を行った。
2022年度	4件	101,318 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援を行った。
	食料 13 袋	30,000 円	食品詰め合わせセットの配布
2023年度	4 件	123,092 円	経済的な課題を抱え、生活を維持することができなくなる恐れのある方への生活支援を行った。
合 計		1,251,367 円	

説明 自転車貸与事業 個人から寄付された自転車 2 台を修理し(修理代 11,000 円)貸出可能なものとして生活困窮相談者に貸与。

エ 中間的就労支援事業

年 度	支援件数	対象者の主な内容、経緯等
2018	1名	志和荘で、短時間就労支援を実施
2019	—	取組み(対象者)無し
2020	—	取組み(対象者)無し
2021	2名	当ネットワークが岩手県県央域中間的就労訓練モデル事業に指定され、対象者 2 名を雪かきや送迎車輛の清掃等を延べ体験回数 32 回実施した。
2022	1名	志和荘で、福祉の仕事体験事業として短時間就労を実施。仕事の内容は、書類の仕分け、車庫整理清掃及び敷地内清掃。延体験回数は 3 回で支援金 2,000 円支給。
2023		取組み(対象者)無し

12 敬愛会職員の各種委員会開催実績

委員会名	実施日	実施内容
研修委員会	5 月 18 日	・2022 年度の実施報告 ・2023 年度の研修計画(案)について
	1 月 18 日	・2023 年度前期実施状況について ・2023 年度後期実施計画について
感染症対策委員会	毎月	・新型コロナウイルス感染対策 ・敬愛会BCP改訂

災害対策委員会	9 月 5 日	・土砂災害時の隣接施設への移送訓練について
給食委員会	7 月 20 日	・各事業所の給食についての活動報告、活動予定について ・入所者の食費費用基準額について
	11 月 16 日	・各事業所の給食についての活動報告、活動予定について ・給食に関する感染対策について
災害対策委員会	9 月 5 日	土砂災害時の隣接施設移送訓練の実施（志和荘、悠和荘）
衛生管理委員会	8 月～ 9 月	・ストレスチェックの実施について ・ストレスチェックの実施結果について
入所判定委員会	4 月 25 日	・志和荘入所判定 ・悠和荘入所判定
	10 月 31 日	・志和荘入所判定 ・悠和荘入所判定
	1 月 30 日	・志和荘入所判定 ・悠和荘入所判定
苦情解決委員会	6 月 29 日	・2022 年度後期の苦情申立て、要望相談受付について ・2022 年度の苦情申立て、要望相談統計について
	12 月 26 日	・2023 年度前期の苦情申し立てについて

13 社会福祉法人敬愛会 内部研修の実施状況

実施月	研修内容	目的及び研修内容	受講人数
4月	感染症対応研修	・感染症発生した場合のシュミレーション	12名
5月	法人理念	・法人理念、法人計画の周知 ・法人施設及び事業所の重点目標について	20名
	感染防止、感染対策	・コロナクラスターを経験しての振り返りとシュミレーション	12名
6月	感染対策・食中毒の予防 及び蔓延防止	・感染症についての知識習得並びに流行期に入る食中毒予 防策について *資料研修	55名
7月	看介護の連携研修	・たん吸引、経管栄養 ・手技や知識の習得及び手順ミス並びに事故防止対策	35名
8月	身体拘束・虐待防止	・身体拘束及び虐待防止について、介護職員によるグルー プワークを行い知識を深める	48名
9月	倫理及び法令順守並び にプライバシー保護	・新人職員を対象に、職に就く上での倫理・法令順守を学ぶ	9名
	接遇	・新人職員以外を対象に、対人援助を行う上での心持やマナ ーの習得	41名
10月	感染症予防	・新人職員を対象に、感染症予防及び発生時のシュミレーシ ョン	4名
	褥瘡予防及びスキンケア	・褥瘡発生予防について、日頃からのケアを含めた知識を深 める	20名
11月	認知症ケア	・新人職員を対象に、認知症ケア及び個別ケアについての知 識を深める	5名
	事故防止及びリスクマネ ジメント	・新人職員以外を対象に、事故防止のためのポイントや再発防 止策について理解を深める	40名
12月	緊急時の対応について	・緊急時対応のポイント、観察点、必要な行動並びにNG行動 について	46名
1月	看取りケアについて	・看取りについて、入居者やその家族とのかかわりや最期の迎 え方並びに精神的支援について学ぶ	58名
2月	身体拘束及び虐待防止	・身体拘束及び虐待防止について学び、必要時や発見時の手 順について学ぶ	51名
	看介護の連携研修	・人体の仕組み ・ヒヤリハット事例	51名
3月	災害対策・対応研修	・災害の種類と災害発生時の対応並びに入居者を守るための 行動について、法人BCPの理解を深める	67名

2023年度 事業報告書

特別養護老人ホーム 志 和 荘

総 括

特別養護老人ホーム志和荘は、開設40年の節目の年を迎え「地域を守る拠点」を再認識し、自ら良質なサービスを創造し続けることが地域社会の評価につながるものであり、地域の要であり続けていると確信するものである。

一方、信頼される「きめ細な良質な介護サービス」を提供するため、全ての専門職種によるチームケアに万全を期し、入居者と家族に寄り添う生き方を尊重し、信頼関係を深め安心して生活できる介護体制を引き続き構築することを目標にしてきたが、引き続き新型コロナウイルス感染対策のため、面会制限や敬老会及び文化祭などの規模縮小等により、特に入居者や家族の皆さまの声に充分に応えることはできなかった。

職員は、一人でできないことを多職種が力を合わせることで成し遂げる力を持っており、月1回の志和荘各部署連絡会議等で協議し、組織体として目標を持ち実践している。

また、介護施設経営の中で大きな障壁となっているのが、介護現場における絶対的な人材不足の問題である。この「支え手」の減少は社会全体の問題であるが、志和荘としても危機的な状況に陥らないよう極力努力を重ね人材確保を図ってきました。

なお、2020年1月15日に我が国で初めて感染確認した新型コロナウイルスについては、施設内職員でコロナ感染情報を共有するとともに、手指衛生とマスクの着用を徹底、利用者のケア・看護記録、職員の毎日の検温、施設に出入りした者の記録並びに1日2回の施設内消毒などを実施し入居者への感染防止に努めてきた。

しかしながら、2023年4月1日に入居者の初感染者が確認され、4月10日をピークに感染者が次第に減少し、4月17日に最終感染者1名が確認されて、5月3日に収束宣言をしている。

志 和 荘 入 居 者 状 況

1. 入居状況

2024年3月31日現在

入居定員	男	女	計
97	17	79	96

2. 月別入退居状況

月	1日現在 入居者数	入居			退居		
		男	女	計	男	女	計
4月	93	0	0	0	1	0	1
5月	95	1	3	4	2	0	2
6月	94	0	2	2	0	3	3
7月	94	1	2	3	1	2	3
8月	94	0	3	3	0	3	3
9月	96	1	2	3	0	1	1
10月	95	0	2	2	0	3	3
11月	96	1	2	3	0	2	2
12月	96	0	1	1	1	1	2
1月	92	2	1	3	2	6	8
2月	93	1	5	6	2	2	4
3月	96	1	4	5	2	1	3
計		8	27	35	11	24	35

3. 退居理由

退居理由	死亡	入院	居宅	計
人数	26	7	1	34
割合	76%	21%	3%	

4. 市町村別状況

入居定員	矢巾町	盛岡市	紫波町	その他	計
97	60	17	7	12	96
割合	63%	18%	7%	12%	

5. 要介護度状況

平均介護度 4.3

	要支援	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	0	2	8	7	17
女	0	0	0	13	28	38	79
計	0	0	0	15	36	45	96
割合	0%	0%	0%	16%	38%	46%	

6. 在居期間

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	6	2	6	3	0	0	17
女	26	26	15	10	2	0	79
計	32	28	21	13	2	0	96
割合	33%	29%	22%	14%	2%	0%	

7. 年齢別

	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	平均
男	0	1	5	5	2	4	17	82.4
女	0	0	1	11	24	43	79	89.5
計	0	1	6	16	26	47	96	88.0
割合	0%	1%	6%	17%	27%	49%		

活 動 ・ 行 事 実 施 状 況

1. 交流行事

日 時	団 体 名	内 容 等
		※新型コロナウイルス感染予防のため、中止

2. 外出行事

日 時	イ ベ ント 名	内 容 等
		※新型コロナウイルス感染予防のため、中止

3. 企画行事

日 時	企 画 名	内 容 等
9 月 14 日	敬老会	式典、職員余興
10 月 26 日	南昌福祉の里文化祭	作品展示、ゲーム、入所者・職員余興

※新型コロナウイルス感染予防のためフロアを分けて実施

4. 定期活動

入居者懇談会(意見・要望・行事予定・お知らせ)

日時	入居者	職員	日時	入居者	職員
※新型コロナウイルス感染予防のため、中止					

音楽療法

日時	入居者
⇒同様に中止	

ボ ラ ン テ ィ ア 交 流 状 況

団体名		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
さくらの船の会	回数	※感染予防の為来荘休止(2023.4 解散)												0
	人数													0
慰問・その他														
合計延べ人数													0	

サークル活動等実施実績

サークル名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
わくわくクラブ	回数	0	6	9	7	8	7	3	8	1	4	3	3	
	人数	0	47	63	48	35	43	17	83	9	36	21	21	
なごみ茶屋		0	69	71	71	73	74	75	74	77	71	72	72	
合計延べ人数		0	116	134	119	108	117	92	157	86	107	93	93	1222

◎わくわくクラブ活動内容

各ユニットごとに散歩、運動やゲーム等の活動を実施

- ・施設周囲の散歩、外気浴、ドライブ
- ・輪投げ、風船バレー、ボール遊び、体操・歌、かき氷
- ・魚釣りゲーム、虫取りゲーム、ターゲットストライク、けん玉、しゃぼん玉、料理レク など

◎なごみ茶屋活動内容

各ユニットにて、各入居者が選んだケーキを飲み物と一緒にいただく

機 能 訓 練

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	1,164
延べ人数	2,910	3,007	2,910	3,007	3,007	2,910	3,007	2,910	3,007	3,007	2,813	3,007	35,505
個別機能 訓練延人数	161	574	637	576	558	591	610	541	290	478	512	529	6,057

個別機能訓練内容

- (1) マッサージ・リラクセーション
- (2) 可動域訓練・ストレッチ
- (3) 基本動作訓練(寝返り・起き上がり・立ち上がり・移乗動作)
- (4) 車椅子駆動訓練
- (5) 姿勢バランス訓練(座位・立位)
- (6) 歩行訓練(平行棒・歩行器・手引き歩行・杖歩行)
- (7) 生活リハビリ

志和荘避難等訓練実施状況

月 日	訓 練 内 容	参加者
6/11	緊急時職員連絡網活用通報訓練	66 人
6/25	矢巾町土砂災害防災訓練(情報伝達訓練)	1 人
8/24	夜間想定避難訓練 (通報、消火、避難訓練)	27 人
1/25	夜間想定避難訓練 (通報、消火、避難訓練)	28 人

実習受け入れ状況

1.介護実習

○北日本医療専門学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延 べ 人 数
	0日	0人	0人
	0日	0人	0人
人 数 合 計			0人

○岩手女子高等学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
6月12日～7月7日	18日	2人	36人
7月10日～7月13日	4日	2人	8人
9月11日～9月15日	5日	2人	10人
9月25日～10月6日	9日	2人	18人
11月13日～11月24日	8日	2人	16人
	日	人	人
	日	人	人
人 数 合 計			88人

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延 べ 人 数
6月5日～6月23日	15日	2人	30人
7月3日～7月7日	5日	2人	10人
10月5日～10月31日	20日	2人	40人
人 数 合 計			80人

介護実習延べ人数合計 168人

2.介護体験実習

○岩手医科大学(医学部)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
		0	0

○岩手医科大学(歯学部・看護学部)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
10月3日～10月4日	2日	6人	12人
10月5日～10月6日	2日	5人	10人
10月10日～10月11日	2日	6人	12人
10月12日～10月13日	2日	6人	12人
人 数 合 計			46人

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校 (社会福祉学科)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
実績なし			
人 数 合 計			

介護体験実習延べ人数合計 46人

3.給食経営理論臨時実習

○盛岡大学(栄養科学科)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
実績なし			

4. 社会福祉士相談援助実習

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校 (社会福祉士通信教育コース)

実 習 期 間	実習日数	実 人 数	延べ人数
実績なし			

医務室業務実績

1. 入居者健康管理状況

(1)入居者健康診断実施状況

実施月日 2023 年 7 月 24・25・26・27・28 日 70 名血液検査 2024 年 2 月 2 日 70 名 BX-P 心電図
実施人数 97 名 (他は新規入所時健診・体調不良により随時検査を実施している)

(2)入居者インフルエンザ HA ワクチン予防接種実施状況

実施月日 2023 年 11 月
実施人数 87 名接種

2. 職員健康管理状況

(1)職員健康診断実施状況

実施月日 2023 年 7 月～12 月 実施人数 59 名 (35 歳以上)
検査内容 血液検査生化学・貧血検査・血糖・尿検査・BX-P・心電図
実施月日 2023 年 7 月 4・6・11 日 実施人数 16 名 (34 歳以下)
検査内容 BX-P・心電図・尿検査聴力・視力検査

(2)夜勤従事者健康診断

実施月日 2024 年 1 月 15 日～19 日 実施人数 49 名
検査内容 生化学・貧血検査・血糖

(3)職員インフルエンザ予防接種実施状況

実施月日 2023 年 11 月 対象人数:78 名:実施者 73 名、未接種者 5 名(ワクチン禁・産休中)

3. 新型コロナワクチン予防接種

6 回目:2023 年 6 月 2 日 入居者:64 名 2023 年 6 月 2 日:職員:54 名
7 回目:2023 年 10 月 16・17・19 日 入居者:85 名 職員:31 名

入居者通院状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
内科		3	9	6	1	9	3	5	2	7	9	4	58
外科													
整形外科				1		1							2
皮膚科							1						1
眼科									1				1
その他													
合計		3	9	7	1	10	4	5	3	7	9	4	62

看・介護連携による経管栄養(胃ろう)・痰吸引状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施入居者数	25	22	20	19	24	27	25	26	24	25	25	24	286
経管栄養実施者	5	5	5	5	5	5	5	6	5	6	6	6	64
喀痰吸引実施者	20	17	15	14	19	22	20	20	19	19	19	16	220

入居者入・退院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入院者数	4	1		2	1		1		1	2	1		13
入院内容	脳血管疾患			1									1
	心疾患								1				1
	肺炎	4	1	1									6
	腸管麻痺										1		1
	肺癌												
	大腸癌									1			1
	尿路感染症				1					1			2
	その他						1						1
退院者数		3			1						1		5

入居者看取り状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入居者看取り	1		3	2	2	1	2	1	1	5	4	3	25
内訳	施設内	1	3	2	2	1	2	1	1	4	3	3	23
	病院入院中									1	1		2

口腔ケア業務実績

1.実施状況

(1) 月一日 15 人平均で口腔ケア実施。

2.お昼の志和放送

週 2 回、管理栄養士と協働で行っている。入居者に出演していただき一緒に会話や歌を歌うことで口の動きの良い訓練となり、刺激となっている。

3.口腔ケア実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
口腔管理加算対象者	46	88	88	94	96	91	91	95	62	94	93	94	1032
歯科受診者	0	18	17	12	11	14	15	13	0	15	13	12	140

給食事業報告

[志和荘]

1.おいしく、安全な食事を提供し、満足度の維持向上を目指す取り組み

(1) 満足度の維持向上のため、季節の献立や行事の食事を提供した

月	行事名	行事献立	内 容
4	お花見弁当	お花見弁当	行楽弁当(花形豆腐・鮭塩焼・卵焼き・ナポリタン・花型ゼリー)
8	お盆	お盆メニュー	煮しめや赤飯を提供
9	敬老会	敬老会弁当	敬老弁当(赤飯、天ぷら、デザートムースなど)
10	文化祭	文化祭メニュー	文化祭行楽弁当(エビフライ・卵焼き・煮物・ポテトサラダ・肉団子)
12	クリスマス	クリスマスメニュー	12/24 12/25 クリスマスメニュー
	クリスマス	クリスマスケーキ	12/25 はケーキ(白石食品(株)様寄贈)を提供
	大晦日	大晦日メニュー	12/31 の夕食に年越しそばを提供する
1	正月	正月メニュー	おせち料理や入居者の好む天ぷら・甘酒を提供
	春の七草	七草メニュー	昼食時七草粥を提供
	新年弁当の日	新年弁当	新年弁当(天ぷら・ちらし寿司・刺身・煮物・酢の物)
2	節分	節分メニュー	ちらし寿司・味噌汁・鶏の竜田揚げ・五目煮・和菓子(鬼のねりきり)
	バレンタイン	バレンタインメニュー	スパゲティナポリタン・サラダ・チョコムース
3	ひな祭り	桃の節句献立	ちらし寿司・すまし汁・ひな祭りゼリーを提供

(2) ユニットケアでの給食の取り組み

ユニットで食事を盛り付けることで家庭的な空間作りが出来た。米飯とお粥の炊飯をし、炊き立てを提供出来た。

(3) 情報収集を行い、状況にあった食事対応を行う。

加齢や持病(認知症含む)の進行等や本人様の嗜好に合わせた食事の提供の対応を行った。

食事提供内容の変更対応の回数	365 回
----------------	-------

(4) 経口維持加算の取り組み

加齢や認知症の進行に伴い、摂食嚥下障害(むせこみや食欲の低下等)を有する入所者様に対して多職種で、経口維持支援の取り組みを行った。面会制限中の為、家族様には電話で経過報告を行った。

その際本人様の嗜好や家族様の意向を聞き、ケアに取り入れることができた。

経口維持支援の取り組み人数(年間 累計)	469 名
----------------------	-------

【経口維持支援の取り組みの改善例】

- ・覚醒の改善ができた。姿勢の改善ができた。食事の楽しみができた・体重が適正体重に近づく。
- ・食欲の改善ができた。
- ・その一方、加齢や、全身状態の低下により、食べられなくなり、入院、食事中止になる方もいた。

2.ユニットレクを行い、入所者様が生活を楽しめる様におやつや食事を楽しく提供する。

(1) 感染予防に配慮しながら、ユニット単位で入所者様、職員共に提供方法を工夫して実施した。

栄養士介入のレクリエーションの回数	年間合計 50 回
-------------------	-----------

(2) 栄養士介入ユニットレクリエーション実施状況

月	内容	月	内容
1	甘酒ムース・餅風(ゼリー)	7	メロンソーダ風ゼリー・かき氷・七夕ゼリー
2	チョコムース	8	フルーツバイキング・生どらやき・ショートケーキ
3	ひな祭り 3 食ムース	9	さつま芋プリン・焼き芋・さつまいもきんとん
4	感染予防対応期間で実施なし	10	お好み焼き・南瓜プリン・モンブラン風
5	感染予防対応期間で実施なし	11	ミニピザ・南瓜プリン・モンブラン風
6	あじさいゼリー・チョコフォンデュ・雑炊	12	黒ゴマプリン・いちごムースケーキ・ぜんざい風

3.岩手県産の食材を使用した献立を月 1 回給食の委託業者と連携し、入所者様に提供する。

岩手県産の食材を使用した食事を提供する事ができた。

年間 合計	12 回
-------	------

4.その他:緊急事態対応における給食の取り組み

(1) 災害及び感染症発生時の飲食料等の備蓄状況について

熱源および水道の停止を想定し、非常食及び非常時使い捨て食器等を備蓄。非常食は3日間(9食分)の非常食を備蓄。(非常食献立は軟菜食対応食)・経管栄養、嚥下調整食(ムース食)は3日分の在庫を確保。

(2) 感染時(コロナウィルス等)の備蓄状況について

使い捨て食器備蓄状況・・・紙コップ、使い捨てスプーン、割りばし、発泡弁、弁当箱、使い捨てエプロン
手口拭きや、職員の食事介助用エプロンは、常時使い捨ての物を使用した。

(3) コロナウィルス等の感染予防対策

コロナウィルス等、発生時のマニュアルの整備をした。

2023 年度 外部研修参加状況

開催月日	開催研修内容	開催場所	参加職員
4/12	もりおか地域新社会人合同歓迎会	ホテル メトロポリタン盛岡	佐藤馨太 吉田ころろ
5/21	いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会 第 33 回研修会	岩手県民情報 交流センター	須藤久美子
6/4	医療機関・高齢者施設向け研修会	Zoom オンライン	漆原千秋 高橋幸子
6/7	ChatGPT 時代に知っておくべき、AI ツール 3 種の神器	オンライン	小原一夫
6/28	令和5年度やはば生活支援ネットワーク事業推進協議会研修会	矢巾町役場	佐々木善雅 上山真希(悠和荘)
7/11	令和5年度第 1 回事例検討会	矢巾町介護福祉交流 センター	佐々木善雅
7/12	第 11 回入浴施設衛生管理セミナー	ビッグルーフ滝沢	小原一夫
7/13～7/14、 8/23～8/24、 9/29	令和5年度岩手県認知症介護実践者研修	盛岡市勤労福祉会館	上館裕二
7/14	令和5年度福祉サービスの苦情を考 えるセミナー	岩手県民情報 交流センター	小林一世
7/29	医療機関・高齢者施設向け研修会	Zoom オンライン	高橋看護師長 漆原千秋
7/30	令和5年度第 1 回岩手県 ACP サポー ター養成研修会	岩手県医師会館	漆原千秋
8/10	介護報酬改定対応研修～介護施設・ 事業所における虐待防止及び身体拘 束等の適正化について～	オンライン	佐々木節子
8/10	認知症サポーターステップアップ講座	えんじょいセンター	橋本晴美
8/10、8/11、 8/23～8/25 8/30～9/1	令和5年度岩手県介護職員等医療的 ケア研修事業	アイーナ8階 804	浅沼志保
8/18	令和 5 年度介護保険サービス事業所 及び有料老人ホーム集団指導につい て	Zoom オンライン	佐々木善雅 漆原千秋 看護師

8/28	令和 5 年度 岩手県地域生活定着支援研修会	ふれあいランド岩手	佐々木善雅
9/4	令和5年度社会福祉法人経営サポートセミナー	いわて県民情報交流センター	佐藤馨太 井上施設長(悠和荘)
9/8～9/19 9/26～9/28	令和5年度岩手県介護支援専門員専門研修	アートホテル盛岡	小林一世 橋本晴美 櫻岡敬真
9/14、28、29 10/18、19	令和5年度岩手県介護職員等医療的ケア研修指導者養成講習	ふれあいランド岩手 いわて県民情報交流センター	小笠原久美子
10/3	令和5年度紫波郡医療介護多職種連携研修会「かかりつけ医等認知症対応向上研修」	オンライン	漆原千秋
10/13	第2回矢巾町介護保険事業計画検討委員会	矢巾町保健福祉交流センター	村松施設長
10/18	令和 5 年度紫波郡住宅療養・多職種連携「アドバンス・ケア・プランニング研修会」	紫波町情報交流館	漆原千秋 佐々木美幸
11/21、11/22	2023 年度第 13 回岩手県ユニットケア研修	盛岡地域交流センター	合原莉会
11/27	2024 年度介護報酬改定のゆくえ	オンライン	遠藤愛 佐々木美幸 漆原千秋
11/28	令和5年度第2回矢巾町生活支援協議会	矢巾町保健福祉交流センター	村松施設長
11/28	2023年度看護職のためのユニットケア研修	オンライン	伊藤利慧
11/28	2023 年度食に携わる職員のためのユニットケア研修	オンライン	佐々木美幸
11/28	令和 5 年度中央ブロック高齢者福祉協議会新任職員研究会	いわて県民情報交流センター	吉田ころ
10/25 10/30～1/31	令和 5 年度岩手県介護職員等医療的ケア研修事業養成校等修了者技術確認演習及び実地研修	アイーナ	北田勇 吉田温 藤原彩乃

12/14	令和 5 年度「やさしくはばたく認知症 支援ネットワーク連絡会」	矢巾町保健福祉 交流センター	村松施設長
12/22	令和5年度やはば生活支援ネットワー ク事業推進協議会第 2 回役員会	矢巾町役場2階	村松施設長
12/28	いわてユニットケア研究会第 29 回研 修会(令和 5 年度第 2 回研修会)	Zoom オンライン	阿部美保 佐々木奈津江
1/19	中央ブロック高齢者福祉協議会 令和 5 年度(第 36 回)職員研究大会	アイーナ	佐々木善雅 須藤久美子 鈴木恵美子 佐々木美幸
1/19	令和 5 年度中央ブロック高齢者福祉 協議会 第 1 回生活相談員・介護支 援専門員部会 職員研究会	アイーナ	佐々木善雅
1/19	令和5年度中央ブロック高齢者福祉協 議会第1回介護研究会	アイーナ	鈴木恵美子
1/22	介護事業者のための業務継続計画 (BCP)作成セミナー	Zoom オンライン	村松施設長
2/22	令和5年度「医療連携・認知症ケア検 討部会」	えんじょいセンター	村松施設長
3/6	令和 6 年度障害者雇用納付金制度事 務説明会(納付金・調整金)	盛岡地域 交流センター	吉田こころ
3/22	介護施設職員向け研修「高齢者に必 要な ACP とは？」	オンデマンド配信	佐々木節子 熊谷明美 阿部美保
3/23	岩手県介護支援専門員協会「令和5 年度第3回定例研修会」令和6年介護 報酬改定説明会	岩手県立大学	佐々木節子

志和荘委員会活動

委員会名	開催日時	内容
身体拘束・高齢者虐待防止委員会	5月12日	・2022年度活動報告、2023年度活動計画
	6月15日	・自己点検チェックシート集計結果報告
	6月29日	・法人委員会へ活動報告
	8月28日	・事例検討
	10月23日	・不適切ケア、スピーチロックについて
	1月11日	・事例検討
	12月26日	・虐待防止の取り組みについて
	2月8日	・事例検討、夜勤体制・環境整備について
事故防止委員会	7月	・2022年度の事故報告、ヒヤリハット報告
	3月	・2023年度前期事故報告、ヒヤリハット報告 ・ヒヤリハット報告の区分、様式変更について
褥瘡防止委員会	毎月	・褥瘡予防の取り組み ・褥瘡発生状況と評価
サービス向上委員会	10月	・サービス満足度調査の実施について
	3月	・サービス満足度調査の実施結果について
衛生委員会	毎月	・ストレスチェックの実施について ・腰痛対策アンケート結果 ・職員の感染対策、ワクチン接種 ・職員の健康管理(健康診断結果を受けて)

各ユニット事業実施実績

さくら町

〔実践目標〕

- (1) 日頃から入居者の身体と心の健康状態等を把握し、異常の早期発見に努めるとともに他職種との情報共有をしっかりと行い統一したケアを行う。
- (2) 入居者様との関わりを大切にし、穏やかに過ごして頂けるよう環境づくりに努める。

〔実績〕

- (1) 日々の入居者様の状態を観察、把握することが出来、異常の早期発見に努め、各職種との連携を行い統一したケアに努めることが出来た。
- (2) 入居者様とコミュニケーション等行うことにより、その人その人の時間を大切に穏やかに過ごして頂けるよう環境づくりに努めることが出来た。

まつ町

〔実践目標〕

- (1) 入居者様が安心・安全かつ穏やかに暮らせるように職員一人ひとりが業務・ケアに責任を持ち他職種との連携・情報共有を図る。
- (2) 一人ひとりの状態・ニーズを把握し、その人らしく暮らせるように個別ケアを実践する。

〔実績〕

- (1) 担当制や役割分担をすることで職員は責任を持ち入居者様への安心・安全なケアを行うことができた。できない所はお互いに補いあった。又、職員間での情報共有は口頭、文書、伝言板、連絡ノートを活用し共有できるように努めた。
- (2) 一人一人の状態観察・コミュニケーションを通して状態・ニーズを把握できた。又、職員個々が把握した状態・ニーズをチームで共有し個別ケアに活かすことができた。

たけ町

〔実践目標〕

- (1) 入居者一人ひとりの特徴に合ったケアをするために、入居者様の意向を出来る限り吸い上げ、ユニット内で共有し、希望に沿ったケアを個別に提供する。
- (2) 入居者様と職員の日々の健康管理を行ない、変化がある際は速やかに報告し、感染症の予防に努める。

〔実 績〕

- (1) 日々の状態観察やコミュニケーションを通じて入居者様の意向を確認し、ユニット職員間で情報共有し個別ケアを実践するように努めた。
- (2) 入居者様や職員で感染症に罹患する事があったが早期の対応をする事で感染症の拡大を防ぐことは出来た。

うめ町

〔実践目標〕

- (1) 個々の生活スタイルを理解し、本人に少しでも共同生活の負担がかかりにくいように支援する。
- (2) 職員個々が考える力、観る力を養い何かあったときにも迅速に行動できるようにしていく。

〔実 績〕

- (1) 発熱者や、血圧が普段より高めの方、普段に比べ違和感のある方などは、
随時報告を行うように努めた。
- (2) 定期的に行うレクにも参加を促すようにし、楽しみをもってもらえるように努めた。

あやめ町

〔実践目標〕

- (1) ユニット職員及び他職種間の情報共有に努めるとともに、連携を図り速やかにニーズに基づくケアが出来るように努める。
- (2) レク活動やリベロケアの充実を図り、入居者様がより楽しく生活を送れるよう支援する。

〔実 績〕

- (1) 入居者の変化に合わせて、多職種間で連携を図りその時々状況に応じたケアをする事が出来た。体調の悪い入居者に関しては家族との面会も行い家族のニーズにも応えることが出来たと思う。
- (2) ユニットレクの実施と日々の会話等でコミュニケーションを図り、入居者一人一人が楽しく過ごせるように努めた。

すみれ町

〔実践目標〕

- (1)リベロケアやレク活動等を積極的に行い、入居様がより楽しく安全に生活できるよう支援する。
- (2)ユニット内の情報を他職種及び他ユニット間で情報共有を図り、統一したケアを提供する。

〔実 績〕

- (1)ユニットレクを積極的に行い、入居様が楽しみを持ち、また安心安全に配慮しながら過ごすことができた。
- (2)ユニット・他職種間で密に情報共有を行い、必要に応じて都度話し合いをし、入居様ひとりひとりに合わせた統一したケアができた。

すずらん町

〔実践目標〕

- (1)職種間の情報伝達と連携を図り、入居様の安心・安全なケアに努める。
- (2)入居様の暮らし方を尊重した関わりを持ち続け、その人らしい暮らしができる環境作りに努める。

〔実 績〕

- (1)ユニット・協力ユニットや多職種とも連携を図ることで、体調の変化の共有をし、早期発見することが出来た。
- (2)入居様のニーズを聞き取り、楽しみをもって生活できるようにユニットレクを工夫し、笑顔で過ごしていただくことができた。

すいせん町

〔実践目標〕

- (1)スタッフ間の情報共有・相談や意見交換を密に行い、入居者が安心して生活できる環境を整える。
- (2)入居様と職員の健康管理に留意し、特に感染症を施設内に持ち込まないよう努める。

〔実 績〕

- (1)ユニットミーティング、観察記録等を活用し情報共有に努めることができた。
- (2)感染症を施設内に持ち込むことなく、入居者、職員共に健康管理に努めることが出来た。

ききょう町

〔実践目標〕

- (1) 職員間の情報共有・相談を適宜行い、入居様が安心して生活できるように環境作りに努める。
- (2) 早期に入居様の身体、精神的変化に気づき、入居様の状態にあったケアを提供する。

〔実 績〕

- (1) 職員間でコミュニケーションを多くとりながら、こまめに情報共有や相談を行い、入居様が落ち着き安心して生活できる環境づくりができた。
- (2) 入居様の状態をこまめに観察することで、早期に状態変化に気づき、職員間で情報交換しながら、適切なケアが提供できた。

ひまわり町

〔実践目標〕

- (1) 一人ひとりの訴えに合った対応を心掛け、安心・安全に過ごせる環境づくりを行うとともに、ユニットレクを更に充実し豊かな生活ができるよう職員一同で努力をする。
- (2) 入居様と職員の健康管理に留意し、ユニット内や他職種との情報共有を図りながら連携を密にする。

〔実 績〕

- (1) 一人一人に合った声掛けを多くし、安心できるように努めた。超高齢のユニットであり、体調変化も多く、ユニットレクを充実させることは難しかった。
- (2) 体調の変化に目を配ることに重点を置き、ユニット内での情報共有を密に行い多職種との共有も努めた。

各種委員会・チーム事業実施実績

感染予防対策委員会

〔実践目標〕

- (1) 感染予防・蔓延予防に対しての職員の意識向上に努める。
- (2) 感染症発生時の対応について周知徹底を図る。
- (3) 職員の健康管理に努める。

〔実績〕

- (1) 敬愛会感染対策委員会の開催 年間10回開催。
- (2) 施設及び事業所においては随時感染対策会議を開催。
- (3) 定期健診 1～2回／年、ストレスチェック 78名(法人全体 147名)。

研修委員会

〔実践目標〕

- (1) 業務に直接役立つ段階別研修を行い、職員のスキルアップを図る。
- (2) 感染症対策に応じた研修会を実施する。

〔実績〕

- (1) 経験年数に応じた段階別研修を取り入れ、職員個々のポジションに必要な研修設定を行った。
- (2) 動画研修を活用しながら、集合研修以外にも各部署・ユニットで動画視聴を行えるようにし、感染対策時にも研修受講ができ、多くの職員が研修を受講することができた。

排泄チーム

〔実践目標〕

- (1) チームミーティングを定期的に行い、チーム員の情報共有を行う。
- (2) 適正な排泄物品の購入と管理を行う。
- (3) 排泄個別マニュアルを入居者の状態変化に合わせ見直しをする。
- (4) 排泄に関する研修の開催。

〔実 績〕

- (1)～(2)コロナ禍という事もあり、定期的なミーティングは開催出来なかったがチーム長が中心となりそれぞれの担当に連絡を行い排泄物品の購入と管理を行なう事が出来た。
- (3)～(4)2023 年度は施設内のオムツ類の見直しを実施し、コストダウンを図ることに努めた。

ケア向上チーム

〔実践目標〕

- (1)介護技術や介護知識の更なる向上を図り、入居者様目線につながるような研修を実施する。
- (2)リスクマネジメントの知識を身につけ、事故防止を図り、安全、安楽な介護を提供する。

〔実 績〕

- ・入居者個別の勉強会やその都度必要なことに取り組むことはあったが、ケア向上チームとして計画的に研修を実施することがなかった。

食事チーム

〔実践目標〕

- (1)チームミーティングを月 1 回開催する。
- (2)食事チーム内で歯科衛生士による口腔ケアの研修を年 2 回以上実施する。
- (3)衛生ラウンドチェックの実施。
- (4)食事に関する物品の補充。(自助食器等)

〔実 績〕

- (1)チームミーティングを月 1 回開催した。(感染対策期間を除く)栄養補助食品の試食会やとろみ剤の見直し等行った。
- (2)食事チーム内で歯科衛生士による口腔ケアの研修は感染対策期間があった為実施できなかった。
- (3)ユニットのキッチンや、居室の洗面台の衛生ラウンドチェックを月 1 回実施した。(感染期間を除く)
- (4)食事に関する物品の補充。(自助食器等)を行い、入所者様に合った食器やスプーンを提供することができた。

入浴チーム

〔実践目標〕

- (1) 入浴の物品・備品の管理を徹底し、快適な入浴環境を作る。
- (2) 定期的にマニュアルの見直しを行い、プライバシー保護と事故防止に努める。
- (3) マニュアルに沿った感染予防を行う。

〔実 績〕

- (1) 物品・備品の管理を徹底し、不足する事なく快適な環境を整える事が出来た。
- (2) 定期的にマニュアルの見直しを行い、事故防止に努める事は出来たが、プライバシー保護の観点では改善及び徹底を強化していく必要がまだある。
- (3) マニュアルに沿って感染予防や蔓延防止に努める事は出来た。

元気回復ケアチーム

〔実践目標〕

- (1) 感染防止対策の範囲内で、サークル活動・行事の充実を図る。
- (2) より良い活動が行えるようチーム員同士が助け合い、それぞれが責任を持って業務を遂行できるような環境づくりを行う。
- (3) 感染対応時には、行事が中止になっても入居者様が楽しみをもって生活できるように、感染対策をしっかりと行った上で、可能な範囲内でサークル活動を計画する。

〔実 績〕

- (1) 感染防止のため、ユニットごとにレク活動を行うことが出来た。
- (2) より良い活動が行えるように、必要に応じて話し合いを設けた。
- (3) ユニットごとに輪投げ大会を開催し、楽しむことが出来た。

環境チーム

〔実践目標〕

- (1) 施設内の環境を定期的に検証しながら、入居者様と職員にとって快適な環境づくりを行う。
- (2) 環境物品の利用者の把握。

〔実 績〕

- (1) 使用している方の調査を行い一覧表に取りまとめ管理することが出来た。
- (2) 物品の値上がり等価格変動があり、事務と情報共有を行い良質安価なものを検討し購入できた。

防災対策チーム

【実践目標】

- (1)避難訓練での技術の向上や万一災害が発生した場合、利用者様の安全を第一に行動ができるように訓練の実施に努める。
- (2)職員1人ひとりが避難及び防災用備品の備蓄場所等を把握できるよう努める。

【実 績】

- (1)避難訓練を行い技術の向上や訓練流れ又、声を掛け合い利用者様の安全第一に努めることが出来た。感染予防や蔓延予防の為延期等の状況になってしまった。
- (2)防災用備品の備蓄場所の確認を行い把握できるように努めることが出来た。

2023年度 事業報告書

介護老人福祉施設 悠 和 荘

総 括

新規入居者は10名で、入居率は98.9%だった。平均介護度は4.31で、新規入居までの平均日数は10.7日だった。ショートステイの新規利用者数は28名で、利用率は72.8%だった。前年度より8.5%ほど減少した。

感染対策を継続してきたが、11月にクラスターが発生して入居者8名、職員4名が新型コロナ感染症に罹患した。すぐにマニュアルにそって感染対策を開始したが、終息するまでに18日間かかった。事前に用意していたマニュアルとBCPの重要性を再認識した。

実践活動項目で重点的に取り組んだユニットケアシステムの深化についてはリーダー職員を講師にして月2～3回の研修を継続して行うことで意識改革が進んだ。虐待防止の取り組みとシンクロしながら尊厳ある暮らしが継続できるようケア方法を更新している。

2023年度 悠 和 荘 入 居 者 状 況

1. 入居状況

2024年3月31日現在

入居定員	男	女	計
29人	5	24	29人

2. 月別入退所状況

月	1日現在 入居者数	入居			退居		
		男	女	計	男	女	計
2023.4月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
5月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
6月	29人	0人	1人	1人	0人	1人	1人
7月	29人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
8月	29人	0人	0人	0人	1人	0人	1人
9月	29人	0人	1人	1人	1人	0人	1人
10月	29人	0人	2人	2人	1人	0人	1人
11月	29人	0人	0人	0人	0人	1人	1人
12月	28人	1人	1人	2人	0人	2人	2人
2024.1月	29人	0人	2人	2人	0人	2人	2人
2月	28人	0人	1人	1人	0人	0人	0人
3月	29人	0人	1人	1人	1人	0人	1人
計		1人	9人	10人	4人	6人	10人

3. 入居前状況

入所先	医療機関	介護老人保健施設	グループホーム	その他の施設	在宅
人数	4人	3人	0人	0人	3人
割合	40%	30%	0%	0%	30%

4.退居理由

退居理由	死亡	南昌病院	他病院	他施設
人員	10	0	0	0
割合	100%	0%	0%	0%

5.地区別

定員	徳田	煙山	不動
29人	1人	3人	6人
割合	3%	10%	21%

6. 要介護度状況

平均介護度： 4.31

	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	計
男	0人	0人	1人	1人	3人	5人
女	0人	0人	3人	11人	10人	24人
計	0人	0人	4人	12人	13人	29人
割合	0%	0%	14%	41%	45%	100%

7. 在居期間

平均在居期間：3年

	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1人	2人	1人	1人	0人	0人	5人
女	9人	7人	6人	2人	0人	0人	24人
計	10人	9人	7人	3人	0人	0人	29人
割合	34%	31%	24%	10%	0%	0%	100%

8. 年齢別

	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計	平均
男	0人	0人	1人	1人	1人	2人	5人	85.6歳
女	0人	0人	2人	2人	6人	14人	24人	89.8歳
計	0人	0人	3人	3人	7人	16人	29人	全体
割合	0%	0%	10%	10%	24%	58%	100%	89.1歳

2023年度 悠和荘短期入所事業実績

1. 入居状況 (定員:8人/日)

2024年3月 31日現在

2023年度延べ人員 稼働率 : 72.8%	男	女	計
	793人	1,332人	2,125人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
男	84人	86人	62人	61人	66人	53人	72人	49人	48人	78人	51人	83人	793人
女	99人	123人	115人	139人	146人	151人	138人	85人	96人	82人	91人	67人	1,332人
計	183人	209人	177人	200人	212人	204人	210人	134人	144人	160人	142人	150人	2,125人

2. 年齢別 (実人数)

(平均年齢 86.1 歳)

	69歳以下	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	計
男	0人	2人	3人	25人	37人	2人	69人
女	0人	2人	14人	31人	51人	55人	153人
計	0人	4人	17人	56人	88人	57人	222人
割合	0%	2%	8%	25%	40%	25%	100%

3. 市町村別状況

市町村名	矢巾町	紫波町	盛岡市他	計
2023年度実人数	184人	37人	1人	222人
割合	83%	17%	0%	100%

4. 要介護度状況 (2023年度利用実人数) 【要支援平均: 1.50 】 【要介護平均: 2.70 】

	支援1	支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0人	0人	6人	20人	6人	25人	12人	69人
女	1人	1人	44人	34人	43人	24人	6人	153人
計	1人	1人	50人	54人	49人	49人	18人	222人
割合	0%	0%	23%	23%	22%	22%	8%	100%

5. 在居期間 (2023年度実人員)

(平均利用日数 9.57 日)

	7日未満	7～14日未満	14～21日未満	21～30日未満	30日以上	計
男	34人	15人	7人	13人	0人	69人
女	82人	43人	14人	14人	0人	153人
計	116人	58人	21人	27人	0人	222人
割合	52%	26%	9%	12%	0%	100%

※当該利用月において、1利用者が複数回利用した場合は利用の都度計上

施設介護実習受け入れ状況

○盛岡医療福祉スポーツ専門学校

ローテーション実習(1年)

実 習 期 間	実習日数	実人数	延べ人数
3月6日～3月7日	2日	3人	6人
3月11日～3月12日	2日	2人	4人
3月13日～3月14日	2日	2人	4人
人 数 合 計			14人

○北日本医療福祉専門学校 受け入れなし

○岩手医科大学 医学部 1年生 歯学部 5年生

実 習 期 間	実習日数	実人数	延べ人数
10月3日～10月4日	2日	2人	4人
10月5日～10月6日	2日	4人	8人
10月10日～10月11日	2日	4人	8人
10月12日～10月13日	2日	4人	8人
人 数 合 計			28人

介護実習延べ人数合計 42人

入居者との意見交換会実施状況

実施日	1丁目ユニット	2丁目ユニット	5丁目ユニット
4月17日		7人	
5月9日			6人
6月2日	7人		
7月11日		7人	
8月4日			6人
10月6日		8人	

実施日	1丁目ユニット	2丁目ユニット	5丁目ユニット
11月7日			4人
12月8日	8人		
1月5日		7人	
2月1日			6人
3月5日	8人		

主な協議事項

- ・入居者からの悠和荘に対する意見、要望への回答や対応策について
 - ・前月の活動の振り返りや当該月の行事予定報告
 - ・各職種からの連絡事項など。
- ※感染症予防のため、毎月1ユニットずつ実施。

入居者・利用者認定調査実施状況

4月	5月	6月	7月	8月	9月
0件	1件	1件	0件	2件	0件

10月	11月	12月	1月	2月	3月
0件	0件	0件	0件	1件	1件
					合計
					6件

医務室業務実績報告

1、入居者健康診断実施状況

実施月日 2023年5月15日～5月17日 実施人数 29 名

検査内容 血液一般・生化学・血糖

実施月日 2024年2月2日

検査内容 胸部レントゲン・心電図 実施人数 21 名

2、入居者インフルエンザ予防接種実施状況

実施月日 2023年10月14日～10月27日 実施人数 29 名

3、入居者コロナワクチン予防接種実施状況

実施月日 6回目 2023年6月14日 実施人数 28 名

実施月日 7回目 2023年10月18日 実施人数 27 名

4、第1回 職員健康診断実施状況

34歳以下

実施月日 2023年5月15日

検査内容 血液一般・生化学・血糖

実施月日 2023年7月4日、6日、11日

実施内容 胸部レントゲン・心電図・尿検査・視力検査・聴力検査

実施場所 血液検査 盛岡臨床検査センター

それ以外は南昌病院 実施人数 4 名

35歳以上

実施月日 2023年9月～11月

実施内容 一般検診・B型肝炎・C型肝炎・HbA1C

実施場所 対がん協会 すこや館 実施人数 24 名

5、第2回 職員健康診断実施状況(夜勤従事者)

実施月日 2024年1月15日～18日

実施内容 血液一般・生化学・血糖・血圧測定 実施人数 14 名

6、職員インフルエンザ予防接種状況

実施月日 2023年11月2日～19日 実施人数 29 名

7、職員コロナワクチン予防接種状況

実施月日 6回目 2023年6月12日、14日 実施人数 24 名

7回目 2023年10月16日、18日 実施人数 21 名

2023年度 外部研修参加状況

開催年月日	開催研修内容	開催場所	参加職員名
4/19	ホシザキ研修会「省力化機器活用セミナー」	オンライン研修(悠和荘)	澤里亜也子
6/4	医療機関・高齢者施設向け感染対策研修会	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
6/28	ユニットケア先進施設見学	特別養護老人ホーム いしどりや荘	高橋久美子, 岩澤彩子
7/29	医療機関・高齢者施設向け感染対策研修会(主催:岩手県医師会、盛岡医師会、岩手県保健福祉部・医療対策室)	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
8/6	令和5年度介護保険サービス事業所及び有料老人ホーム集団指導	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
8/18	令和5年度「矢巾町安全・安心の日」防災研修	矢巾町公民館 3階 大研修室	井上正憲
9/25	食の安心・安全研修会「リスクコミュニケーションと危機管理, 食品の安全」	マリオス18階 188会議室	澤里亜也子
10/3	令和5年度紫波郡医師会医療介護多職種連携研修会「かかりつけ医認知症対応力向上研修」	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
10/30	公正採用選考人権啓発推進員研修	アイーナ8階 803会議室	井上正憲
10/31	食の安心・安全研修会「食中毒, 遺伝子組み換え食品, ゲノム編集食品」	マリオス18階 188会議室	澤里亜也子
11/14	令和5年度在宅医療人材育成研修事業「ITCを活用した医療介護連携研修会研修」	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
11/15	ヘルスケアキッチンみたけ「新調理最新動向と課題解決を満足する実演・試食セミナー」	ヘルスケアキッチンみたけ	澤里亜也子
11/27	2024年介護報酬改定のゆくえ「施設や病院の給食運営について」	オンライン研修(悠和荘)	澤里亜也子
11/28	日本ユニットケア推進センター「看護職のためのユニットケア研修」	オンライン研修(悠和荘)	高橋真由美
11/29	日本ユニットケア推進センター「食に携わる職員のためのユニットケア研修」	オンライン研修(悠和荘)	澤里亜也子
12/8	給食運営・ICT導入セミナー	オンライン研修(悠和荘)	澤里亜也子
12/12	社会福祉人材定着セミナー	アイーナ8階 804会議室	井上正憲
2024.1/16	病院・施設等向け新型コロナウイルス感染症対策研修会	盛岡地区合同庁舎8階大会議室	津村秀子
1/19	中央ブロック高齢者福祉協議会「給食部会/岩手県栄養士会の食形態コード分類について」	アイーナ6階 調理実習室	澤里亜也子
1/18、1/23～24	2023年度 第6回ユニットケア管理者研修	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲
3/19	令和6年度介護報酬改定及び介護職員処遇改善加算に係る介護サービス事業者向け説明会	オンライン研修(悠和荘)	井上正憲, 小椋幸子, 上山真希, 高橋久美子
3/21	令和5年度(介護予防)居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所集団指導	さわやかハウス2階 わくわくルーム	上山真希
3/21	令和6年度介護報酬改定及び介護職員処遇改善加算に係る介護サービス事業者向け説明会「短期入所生活介護」	オンライン研修(悠和荘)	櫻岡涼子

2023年度 内部研修参加状況

開催年月日	開催研修内容	開催場所	参加職員名
4/10-4/24	虐待防止研修	オンライン研修(悠和荘)	29名
5/11	敬愛会法人理念 法人基本計画について	悠和荘会議室	14名(他15名回覧周知)
7/6	感染症予防研修	悠和荘会議室	14名(他15名回覧周知)
9/7	感染症予防, 虐待防止グループ研修	悠和荘会議室	21名(他8名回覧周知)
9/14, 20, 27, 10/5	ユニットケアの理念と意義【小松リーダー講師】	悠和荘会議室	29名
10/19, 26, 11/9, 14	ユニットケアにおける高齢者の生活とその環境【和野リーダー講師】	悠和荘会議室	29名
11/9	敬愛会オンライン研修【接遇とマナー プライバシー保護に関する研修】	悠和荘会議室 各ユニットPC他	29名
12/14,12/21	介護職員等医療的ケア継続研修【高橋看護師の指導の下、痰吸引と経管栄養について実技研修を行った】	悠和荘会議室	14名(対象者)
2024.1/11	敬愛会オンライン研修【事故を未然に防ぐには】【緊急時対応】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	29名
1/11, 24, 31, 2/15, 22	ユニットケアの具体的方法【浅沼リーダー講師】	悠和荘会議室	29名
3/7	敬愛会オンライン研修【看取りケアについて】【認知症ケアについて】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	29名
3/28	敬愛会オンライン研修【非常災害時の対応】	悠和荘会議室 各ユニットPCほか	29名
2/26, 2/29	介護職員等医療的ケア継続研修【高橋看護師の指導の下、痰吸引と経管栄養について実技研修を行った】	悠和荘会議室	14名(対象者)

機能回復訓練実施状況

月	日 数		入 居 者				短 期 入 居 者				計			
			登 録 者		延 人 員		登 録 者		延 人 員		登 録 者		延 人 員	
	2022年 度	2023年 度	2022年 度	2023年 度	2022年 度	2023年 度	2022年 度	2023年 度	2022年 度	2023年 度	2022 年度	2023 年度	2022 年度	2023年 度
4	日 18	日 20	人 29	人 29	人 99	人 145	人 22	人 30	人 200	人 183	人 51	人 59	人 299	人 328
5	18	18	29	29	79	137	27	40	193	209	56	69	272	346
6	20	18	29	29	98	142	35	39	186	177	64	68	284	319
7	18	18	29	29	112	127	33	39	208	200	62	68	320	327
8	18	19	29	29	120	138	33	30	214	212	62	59	334	350
9	17	19	29	29	89	122	29	31	193	204	58	60	282	326
10	15	20	29	29	108	97	34	32	222	210	63	61	330	307
11	14	12	29	29	101	74	33	21	196	134	62	50	297	208
12	20	17	29	29	90	94	26	21	181	144	55	50	271	238
1	18	19	29	29	129	115	31	25	214	161	60	54	343	276
2	18	19	29	29	117	120	27	20	178	142	56	49	295	262
3	22	19	29	29	145	131	34	15	191	150	63	44	336	281
計	216	218	348	348	1,287	1,442	364	343	2,376	2,126	712	647	3,633	3,568

災害対策委員会活動報告

実 施 月 日	活 動 内 容
4 月 10 日(火)	消防計画作成届け出(井上防火管理者)
5 月 23 日(火)	非常災害時のプラスメッセージ送信による夜間連絡網訓練
6 月 22 日(木)	日中想定避難訓練
6 月 25 日(木)	令和 5 年度矢巾町土砂災害防災訓練(井上防火管理者出席)
9 月 21 日(木)	土砂災害時の隣接施設への移送訓練
11 月 16 日(木)	夜間想定避難訓練
3 月 28 日(木)	年度末災害対策委員会議
5/22、8/7、 12/17、3/21	荘内の防災備品(照明器具、発電機等)の点検

活動・行事実施状況

1. 交流行事

※新型コロナウイルス感染症対策により交流行事は休止となりました。

2. 企画行事

実施月日	イベント名	内 容 等
4月27日	春のお食事会	お花見を実施後、各ユニットにてお弁当
4・5月	ドライブ	町内外をお花見等でドライブ実施
6月5日	チャグチャグ馬コ	悠和荘玄関前に来荘、観賞と記念撮影
7月13日	流しそうめん	悠和荘ホールにて1. 2. 5丁目入居者・3丁目利用者参加
8月17日	夕涼み会(すいか割り)	各ユニットにて1. 2. 5丁目入居者・3丁目利用者参加
9月14日	敬老会	悠和荘ホールにて記念品贈呈、各ユニットで食事会
10月12日	収穫祭(文化祭)	悠和荘畑の野菜収穫と調理
10月24日	干し柿作り	悠和荘畑の柿を収穫、柿棚で記念撮影
12月22日～25日	ゆず湯週間	ゆず湯を楽しむ
12月25日	クリスマス会	各ユニットをサンタクロースが訪問してケーキを届ける
1月1日	元昼参り	悠和荘神社にてお参り、おみくじをひき今年の健康祈願
1月11日	みずき団子作り	各ユニットでみずき団子作り
1月18日	新年会	新年会のお祝いと食事会
2月3日	節分	各ユニットで豆まき
3月3日	ひな祭り	各ユニットでひな祭り会実施、雛壇との記念撮影

3. 定期活動

サークル活動名	実 施 日
楽々サークル	※各ユニットごとに月1回活動実施
園芸サークル	※適宜活動実施 5月13日、7月2日、8月6日、10月2日、10月15日

4. ボランティア交流状況

企 画 名	団 体 名
敬 老 会	新型コロナウイルス感染症の予防のため、外部団体への活動の依頼なし
南昌福祉の里文化祭	新型コロナウイルス感染症の予防のため、外部団体への活動の依頼なし
悠和荘花壇作り作業全般	南昌やまゆりの会の皆様 (5月から10月まで随時実施)

運営推進会議 実施状況

- 第1回 2023年6月20日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 2022年度事業報告
② 活動報告
③ その他
- 第2回 2023年9月19日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 悠和荘虐待防止について
② 活動報告
③ その他
- 第3回 2023年12月19日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 活動報告
② その他
- 第4回 2024年3月26日(火) 10時～ 悠和荘会議室
参加者：健康長寿課長、南昌行政区長、南昌やまゆりの会会長、入居者ご家族代表
事業所代表（入居者代表は感染症対策のため欠席）
議題：① 2023年度利用者満足度調査について
② 活動報告
③ その他

1. 調理レク実施状況

・2023 年度 悠和荘の入居者・ショートステイ利用者と一緒に調理レクを実施

月日	場所	おやつ	月日	場所	おやつ
4.5	2 丁目	黒ゴマミルクプリン	10.3	1 丁目	ケーキ
4.10	3 丁目	ロールケーキ	10.4	5 丁目	芋ようかん
4.18	5 丁目	黄桃ソースのブラマンジェ	10.16	3 丁目	パンプキンパイ
4.27	1 丁目	チョコバナナケーキ	10.30	2 丁目	さつまいものスフレ
5.10	3 丁目	どら焼き	11.7	5 丁目	スイートポテト
5.17	2 丁目	ドーナツ	12.2	2 丁目	スイートポテト
5.18	1 丁目	黒ゴマミルクプリン	12.12	1 丁目	くずもち
5.23	5 丁目	牛乳わらびもち	12.19	3 丁目	かぼちゃ蒸しパン
6.1	5 丁目	あじさいゼリー	12.7	5 丁目	おしるこ
6.13	3 丁目	あじさいゼリー	12.11	3 丁目	ロールケーキ
6.22	1 丁目	あじさいゼリー	12.13	2 丁目	アップルパイ
6.27	2 丁目	あじさいゼリー	12.14	1 丁目	おしるこ
7.4	5 丁目	桃のバラゼリー	1.10	5 丁目	白玉あんみつ
7.17	3 丁目	味噌蒸しパン	1.12	2 丁目	ミルクレープ
7.21	2 丁目	桃のムースケーキ	1.22	3 丁目	チーズケーキ
7.27	1 丁目	アイスパフェ	1.25	1 丁目	桃のバラゼリー
8.10	5 丁目	甘酒ゼリー	2.9	5 丁目	シュークリーム
8.21	3 丁目	かき氷	2.13	3 丁目	ガトーショコラ
8.25	1 丁目	いちごのレアチーズケーキ	2.14	1 丁目	チョコパフェ
8.28	2 丁目	レアチーズケーキ	2.14	2 丁目	ガトーショコラ
9.6	5 丁目	黒糖味噌蒸しパン	3.1	1 丁目	ひしもち風ムース
9.15	1 丁目	どら焼き	3.7	5 丁目	桃のバラゼリー
9.20	3 丁目	さつまいものスフレ	3.11	3 丁目	桃のバラゼリー
9.26	2 丁目	ロールケーキ	3.22	2 丁目	チョコバナナケーキ
2023 年度実績 調理レク 48 回					

2. おやつ作りを実施してみての感想

- ・入居者が普段の給食で食べられないものや、季節を感じる食べ物を提供できた。
- ・おやつを提供時、危険のないよう食形態に配慮し、誤嚥・窒息等の事故もなく提供できた。
- ・ショートステイの利用者に特に喜んでもらえた。調理の失敗もなく提供できた。
- ・介護度が高いユニットでは入居者の作業なしでも栄養士がおやつを作っている様子を見てもらうことで喜んでもらうことができた。

3. 入居者の栄養管理について

- ・現在の食事提供は長期入居者で普通食 10 名、刻み食(コード 2-2) 12 名、ソフト食(コード 3) 1 名、施設栄養ケア食 3 名、経管栄養 1 名。低栄養に対応した食事提供が半数以上を占めている。また、施設購入でのケア食も継続。栄養状態の維持・改善をする入居者がほとんどであった。
- ・給食から提供される食事以外にも広範囲の対応に応える為、施設での栄養ケア食を継続中。
- ・経口維持加算算定者で、多職種連携により 1 名の入居者が栄養状態改善され、皮膚状態も改善。
- ・食の楽しみを継続できるよう、研修会に参加しながら最新の情報をとらえていく。

4. 帰厚堂・敬愛会の統一献立について

- ・帰厚堂、敬愛会で統一献立がスタート。全く同じ献立内容での食事がスタート。施設間でのルールはありつつも、悠和荘はほぼ制限がないため、統一献立スタートしても特に支障なく食事の提供を継続できている。厨房業者との連携を図りながら今後も食事提供がスムーズに行える様連携していく。

◎ユニット別業務報告

1丁目ユニット

[目標]

- (1) 職員は研修を通してユニットケアについて理解し、入居者様及びご家族の意向に寄り添いながら、その人らしい暮らしを提供する。
- (2) 職員が意見を出し合える環境を作り、また、こまめに情報共有、意見交換を行い、ケアの統一ができるように努める。
- (3) スタッフの知識及び技術向上をめざし、事故防止に努める。

[評価]

(1)(2) ユニットケアについて学びながら職員も一人ひとりに合わせたケアに努められるように意見を出し合いながら支援することが出来たと思う。入居者様・ご家族の思いを情報共有し安心して生活が出来る様に支援出来たと思う。入居者の普段の状況や小さな変化など情報共有に努め、スタッフ一人ひとりが意見を出し合い、ケアの統一に努めた。

(3) 事故やひやりハット報告が多かったと思うので入居者の状態に合わせたケア、統一したケアをスタッフ間で常に話し合い、支援していきたいと思う。月1回のミーティングではユニットで起こった事故報告やヒヤリハットについて再確認し再発防止につなげられるようにした。他、ヒヤリハット事例検討、スピーチロックへの取り組みを話し合い、スタッフの意識向上につなげられたと思う。

2丁目ユニット

[目標]

- (1) ユニットケアの知識のさらなる習得を目指し、それを実践できるよう、職員個々の向上を目指す。
- (2) 24 生活シートの活用を行い、ユニットケア内でのケアの統一を行っていく。
- (3) 入居者の生活背景、価値観、習慣を理解しその方に合わせたケアを提供していく。

[評価]

(1) スタッフ全員がユニットケアの内部研修に参加した。ユニットケアとは何か、それぞれ入居者様に合った生活を送っていただくにはどうしたらよいのか、少しずつユニットケアについて勉強し知識を得ることができている。

(2) 月1回ミーティングを行い、入居者様の情報共有とケアについて話し合い 24 生活シートに反映した。また、24 生活シートの必要性も勉強した。スタッフ一人一人が意見を出し合いケアの統一に努めた。ヒヤリハット事例検討やスピーチロックについての話し合いも行い、入居者様へのケアをより良いものへつなげられるよう話し合いを行うことができた。

(3) 面会時やカンファレンス時、他職種からの情報等でご家族の意向を聞き、ユニット内で情報共有した。入居者様ともコミュニケーションを多く図り、普段のケアの中で意見要望を聞き取り、その人らしい生活が送れるよう努めた。

3丁目ユニット

[目標]

- (1) 各々ユニットケアについて学び、理解し習得出来るよう努める。
- (2) 利用者様の生活スタイルを理解し、家族・多職種・ユニットスタッフで情報共有し“また来たい”と思って頂けるように統一したケアを行う。
- (3) ケアソフト(24シート)を活用し情報共有する。定期的な見直しを行う。

[評価]

- (1) ユニットケア研修に参加しユニットケアを理解することが出来た。来年度はユニット内でケアや業務の見直しに努める。
- (2) 利用者様の生活スタイルを把握していても業務が忙しいと業務を優先してしまう事もあったが、利用者全員ではないが、「良い所だ。」と言って頂けることもあった。来年度も家族や多職種・スタッフ皆で情報を共有し統一したケアが出来るよう努める。
- (3) 24H シートの使用に慣れ、それぞれで作成することは出来たが、作って終わりになってしまい定期的な見直しが出来なかった。来年度は定期的に見直しを行いたい。

5丁目ユニット

[目標]

- (1) ユニットケアについて学び、理解することで利用者様の生活リズムに合わせたケアの提供やご家族や利用者様のニーズをケアに反映させられるように支援する。
- (2) 介護職、他職種との報告、連絡、相談をしっかりと行い、事故防止に努める。
- (3) スタッフ同士の情報共有、密に意見を出し合いながら日々変化する入居者様の状態に合わせたケアを行う。

[評価]

- (1) ユニットケアの研修に参加することで、より深く理解し業務に反映することが出来ていたと思う。利用者それぞれの生活リズムに合わせていくため、業務内容を変更し改善を図ることが出来た。
- (2) 他職種と連携を図り、事故防止と対策を迅速に講じることが出来た。
- (3) 上からの指示が周知されず業務に支障が生じることが多々あった。来年度は改善していけるよう努めていきたい。

2023年度 事業報告書

幼保連携型認定こども園
こずかたこども園

<総括>

2023年度は、1号認定児5名、2・3号認定児89名の計94名でのスタートとなった。1号認定児は、定員6名に対し年間平均8.08人(前年比1.0人、114%)、2・3号認定児は、定員100名に対し年間平均93.5人(前年比△7.4人、92.7%)となり、1号認定は上回ったものの、2・3号認定は昨年度より減少している。矢巾町全体として新規入所児が100名程度と年々減少しており、矢巾町内14の保育施設へ調整となっている。なお、入所延べ人数を市町村別でみると、矢巾町が前年比86.9%であるのに対し、紫波町は137%、盛岡市が152%、その他の市町村で133%と増加している。

2023年度 園児入所状況

2023年度			0歳児	1歳児	2歳児 (満3歳児含む)	3歳児	4歳児	5歳児	計	こずかたこども園
4月	1号 認定	先月在籍児童数			0	1	1	3	5	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 57名
										女児 37名
		計			0	1	1	3	5	世帯数 77世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	0	14	17	14	19	18	82	市町村内訳
		新入児童数	3	4	0	0	0	0	7	矢巾町 73名
										紫波町 17名
		計	3	18	17	14	19	18	89	盛岡市 2名
在籍総児童数			3	18	17	15	20	21	94	その他 2名
5月	1号 認定	先月在籍児童数			0	1	1	3	5	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 59名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 36名
		計			0	1	1	3	5	世帯数 78世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	3	18	17	14	19	18	89	市町村内訳
		新入児童数	0	0	1	1	0	0	2	矢巾町 74名
		先月退園児童数	0	1	0	0	0	0	1	紫波町 17名
		計	3	17	18	15	19	18	90	盛岡市 2名
在籍総児童数			3	17	18	16	20	21	95	その他 2名
6月	1号 認定	先月在籍児童数			1	1	1	3	6	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 59名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 37名
		計			1	1	1	3	6	世帯数 79世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	3	17	17	15	19	18	89	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 73名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 19名
		計	4	17	17	15	19	18	90	盛岡市 2名
在籍総児童数			4	17	18	16	20	21	96	その他 2名
7月	1号 認定	先月在籍児童数			2	1	1	3	7	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 60名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 38名
		計			2	1	1	3	7	世帯数 80世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	4	17	16	15	19	18	89	市町村内訳
		新入児童数	2	1	0	0	0	0	3	矢巾町 73名
		先月退園児童数	0	1	0	0	0	0	1	紫波町 21名
		計	6	17	16	15	19	18	91	盛岡市 2名
在籍総児童数			6	17	18	16	20	21	98	その他 2名
8月	1号 認定	先月在籍児童数			2	1	1	3	7	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	1	0	1	男児 63名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 39名
		計			2	1	2	3	8	世帯数 84世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	6	17	16	15	19	18	91	市町村内訳
		新入児童数	2	1	0	0	0	0	3	矢巾町 75名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	8	18	16	15	19	18	94	盛岡市 3名
在籍総児童数			8	18	18	16	21	21	102	その他 3名
9月	1号 認定	先月在籍児童数			2	1	2	3	8	男女別・世帯数
		新入児童数			1	0	0	0	1	男児 66名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 39名
		計			3	1	2	3	9	世帯数 86世帯
	2・3 号 認定	先月在籍児童数	8	18	16	15	19	18	94	市町村内訳
		新入児童数	2	0	0	0	0	0	2	矢巾町 78名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	10	18	16	15	19	18	96	盛岡市 3名
在籍総児童数			10	18	19	16	21	21	105	その他 3名

10月	1号 認定	先月在籍児童数			3	1	2	3	9	男女別・世帯数
		新入児童数			1	0	0	0	1	男児 68名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 39名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 88世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	10	18	16	15	19	18	96	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 80名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 20名
		計	11	18	16	15	19	18	97	盛岡市 4名
	在籍総児童数		11	18	20	16	21	21	107	その他 3名
	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 68名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 39名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 88世帯
11月	2・3号 認定	先月在籍児童数	11	18	16	15	19	18	97	市町村内訳
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町 79名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	11	18	16	15	19	18	97	盛岡市 4名
	在籍総児童数		11	18	20	16	21	21	107	その他 3名
	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 68名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 40名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 88世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	11	18	16	15	19	18	97	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 80名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	12	18	16	15	19	18	98	盛岡市 4名
12月	在籍総児童数		12	18	20	16	21	21	108	その他 3名
	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 69名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 41名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 90世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	12	18	16	15	19	18	98	市町村内訳
		新入児童数	2	0	0	0	0	0	2	矢巾町 82名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	14	18	16	15	19	18	100	盛岡市 4名
	在籍総児童数		14	18	20	16	21	21	110	その他 3名
1月	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 69名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 41名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 90世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	14	18	16	15	19	18	100	市町村内訳
		新入児童数	1	0	0	0	0	0	1	矢巾町 82名
		先月退園児童数	0	0	1	0	0	0	1	紫波町 21名
		計	15	18	15	15	19	18	100	盛岡市 4名
	在籍総児童数		15	18	19	16	21	21	110	その他 3名
2月	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 69名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 41名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 90世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	15	18	15	15	19	18	100	市町村内訳
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町 82名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	15	18	15	15	19	18	100	盛岡市 4名
	在籍総児童数		15	18	19	16	21	21	110	その他 3名
3月	1号 認定	先月在籍児童数			4	1	2	3	10	男女別・世帯数
		新入児童数			0	0	0	0	0	男児 69名
		先月退園児童数			0	0	0	0	0	女児 41名
		計			4	1	2	3	10	世帯数 90世帯
	2・3号 認定	先月在籍児童数	15	18	15	15	19	18	100	市町村内訳
		新入児童数	0	0	0	0	0	0	0	矢巾町 82名
		先月退園児童数	0	0	0	0	0	0	0	紫波町 21名
		計	15	18	15	15	19	18	100	盛岡市 4名
	在籍総児童数		15	18	19	16	21	21	110	その他 3名

特別保育事業実施報告

こずかたこども園

延長保育事業【短・標準時間】利用実績

月	前延長 (7:00～8:30)		1時間		1時間 (2回まで)		2時間		2時間 (2回まで)		24時間延長 (18:00～7:00)		計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4	0	0	6	91	9	10	1	10	4	4	0	0	20	115
5	0	0	7	93	9	10	3	22	2	3	0	0	21	128
6	1	1	9	107	13	13	1	15	3	3	0	0	27	139
7	1	10	11	104	7	10	1	11	2	2	0	0	22	137
8	2	2	8	85	8	9	1	9	5	5	0	0	24	110
9	3	4	12	107	7	9	2	16	2	2	0	0	26	138
10	0	0	9	127	11	16	2	17	1	1	1	1	24	162
11	0	0	7	94	12	15	3	15	2	2	0	0	24	126
12	2	4	12	138	12	14	2	13	2	3	0	0	30	172
1	1	1	8	116	9	13	2	11	1	2	0	0	21	143
2	3	3	11	128	12	13	3	17	1	1	0	0	30	162
3	2	2	7	127	17	20	2	15	4	5	0	0	32	169
計	15	27	107	1,317	126	152	23	171	29	33	1	1	301	1,701

年間実利用人数 60 人

一時預かり事業【一般型】利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2

年間実利用人数 1 人

病児保育事業【体調不良児対応型】利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4	3	4	5	5	4	5	1	1	3	3	4	6	20	24
5	3	8	11	17	8	8	1	1	3	3	1	1	27	38
6	3	5	12	22	5	5	4	6	2	2	8	8	34	48
7	3	5	10	19	6	6	2	2	4	5	3	3	28	40
8	4	7	2	2	3	5	3	7	2	2	0	0	14	23
9	5	5	6	8	3	6	6	6	2	2	2	2	24	29
10	10	20	7	12	7	8	1	1	1	2	1	1	27	44
11	9	17	11	16	5	6	3	4	1	1	5	5	34	49
12	8	18	12	19	4	4	4	5	3	3	3	3	34	52
1	12	18	4	4	3	3	3	3	1	1	1	1	24	30
2	9	13	9	9	4	5	4	5	3	4	4	4	33	40
3	11	17	6	9	4	5	4	4	2	2	3	4	30	41
計	80	137	95	142	56	66	36	45	27	30	35	38	329	458

年間実利用人数 98 人

休日保育利用実績

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		計	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3
5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4
8	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3
9	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4
10	0	0	1	1	0	0	0	0	1	3	0	0	2	4
11	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	1	4
12	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3
2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2
3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	1	3
計	0	0	1	1	0	0	0	0	11	32	0	0	12	33

年間実利用人数 2 人

行 事 実 施 報 告

実 施 日	行 事 名	内 容 等
4 月 4 日	進級式	在園児の進級をお祝いした。
4 月 5 日	第 5 回 入園式	昨年度の途中入園児とその保護者、今年度の新入園児とその保護者の入園をお祝いした。
4 月 19・27 日	徳丹城春まつり合同練習(5歳児)	徳丹城春まつり(4 月 29 日)と一緒に踊る煙山保育園・ふどうこども園・ニチイキッズ矢幅駅前保育園と合同練習をした。
4 月 24 日 5 月 22・29 日 6 月 6 日	消防演習合同練習(5歳児)	矢巾町内の年長児で消防演習(6 月 11 日)に向けて合同練習をした。
4 月 24 ～28 日	畑づくり(以上児)	こずかたランドの畑の周りの草取りなどを以上児で行ない、夏野菜などを植える準備を行なった。
4 月 26 日	4 月の誕生会	4 月の誕生児のお祝いをした。
4 月 28 日	子どもの日のお祝い会	子どもの日の由来を知り、3・4歳児の代表の子ども達と5歳児の子ども達が、それぞれ熊に扮した職員との相撲を楽しんだ。
5 月 12 日	5 月の誕生会	5 月の誕生児のお祝いをした。
5 月 17 日	じゃがいも・夏野菜植えさつまいも植え(5歳児)	さつまいもや夏野菜(ピーマン、ナス、キュウリなど)をこずかたランドや、えここファームに植えた。じゃがいもの栄養素について食育指導を受けた後、生長に興味を持ち、種芋を植えた。
	尿検査(予備日 25 日)	尿検査を行ない、健康状態を把握した。
5 月 24 日	バケツ田んぼづくり(5歳児)	こずかたランドに準備したバケツに土や肥料、水を入れてかき混ぜ、稲田んぼの準備をした。
	お米の苗を植えよう(5歳児)	お米の生長の仕方を知り、自分たちで用意したバケツ田んぼにお米の収穫を楽しみに稲を植えた。
	内科検診(予備日 6 月 1 日)	成長発達その他、皮膚状態や姿勢などを見ていただき、再受診などを勧めていただく。経過観察中のお子さんの成長を見ていただく。
5 月 31 日	親子遠足(4・5歳児)	4・5歳児とその保護者対象で、盛岡市子ども科学館に出かけ、親子でふれあい遊びゲームなどを楽しんだりプラネタリウムを鑑賞したりして科学に触れた。(子ども達のみバスに乗り向かう。)
6 月 1 日	チャグチャグ馬コ前祝い祭(以上児)	チャグチャグ馬コを見たり実際に触れてみたりした。(ケアセンター南昌駐車場)
6 月 5 日	歯のおはなし	歯を丈夫にするための良い食品を知り、歯の大切さや正しい磨き方を学んだ。
6 月 6 日	矢巾町人権啓発事業「人権の花」贈呈	社会福祉法人新生会ワークセンターむろおかの利用者の方が育てたお花をいただく。
6 月 7 日	歯科検診	歯の状態を把握し、虫歯の有無をチェックしご指導をいただいた。
6 月 16 日	絵本のひろば(未就園児と保護者、3歳児)	未就園児親子を園に招待し、子育て支援センターの職員の方による絵本の読み聞かせ、3歳児の子どもたちは歌をうたい交流を持ったりゲーム遊びをした。また、子育てについての疑問などにお答えした。
6 月 21 日	保育参観(未満児)	0・1・2歳児の保護者の皆様に参加していただき、触れ合い遊びなどを一緒に楽しんで園での様子をお知らせした。
6 月 22 日	6 月の誕生会	6 月の誕生児のお祝いをした。
6 月 27 日	プール開き	水遊びの約束事を知り、水遊びに期待が持てるように勧める。

実施日	行事名	内 容 等
7月 6日	矢巾町巡回相談	矢巾町発達支援コーディネーターが来園し、子ども達の様子を見ていただき、これからの保育についての方向性のアドバイスをいただいた。
7月 7日	七夕誕生会	7月の誕生児のお祝いをした。また、七夕の由来を物語で知った。
7月13日	夏まつり	子どもたちと保護者・職員で夏まつりにちなんだ出店やゲーム遊びを楽しんだ。サンドイッチお弁当を持ち帰る。
7月24日 8月 7日	ふれあいランドプール (5歳児)	ふれあいランドプールに出かけ、大きなプールに入り、水に親しんだ。
7月27日	7月の誕生会	7月の誕生児のお祝いをした。
7月28日	じゃがいも掘り (5歳児)	カレークッキングに向けて、育てたじゃがいもの収穫をした。カレークッキングへの期待を持ちながら、頑張って掘った。
8月 9日	カレークッキング (5歳児)	前日に5歳児が豚肉や玉ねぎ・人参をユニバースで買い物し、3・4・5歳児がそれぞれ育てた夏野菜を収穫した。5歳児が栄養士の指導の下カレークッキングに挑戦しお昼ご飯で食べた。
8月24日	8月の誕生会	8月の誕生児のお祝いをした。
9月 5・12日	運動会練習 (4・5歳児)	運動会に向けて4・5歳児が矢巾町体育館で練習をした。
9月14日	稲刈り(5歳児)	おにぎりパーティーへの期待を持ちながら、春に植えた稲を自分たちで収穫した。
9月16日	第5回 運動会	色々な競技に意欲的に参加し、最後まで頑張る気持ちを持った。
9月25日	言葉の観察会 (5歳児)	言葉の発達状況を把握し、助言をいただいた。
9月27日	盛岡中央消防署見学 (5歳児)	盛岡中央消防署に出かけ特別車両に実際に乗ったり、消防士の仕事風景を見たり、消火活動の仕方や子どもたちができる事などを学んだ。
9月29日	十五夜誕生会	9月の誕生児のお祝いをした。お月見の由来を知った。
10月 2日	巡回相談	子ども達の様子を見ていただきながら、これからの保育についての方向性のアドバイスをいただいた。
10月 3日	大根の種蒔き (5歳児)	大根の生長を楽しみにしながら、こずかたランドの畑に種まきをした。
10月 6日	どんぐり拾い (4・5歳児)	森が丘児童公園に行き、どんぐり拾いをした。
10月11日	親子劇場 チューチューマリン	花巻在住の2人組のデュオによる音楽鑑賞をした。子どもたちの好きな曲に合わせ一緒に歌った。
10月13日	さつま芋掘り (4・5歳児)	こずかたランドでさつま芋掘りをし、小さきまざまなさつま芋を掘るたびに歓声をあげて大喜びだった。
10月16日	10月の誕生会	10月の誕生児のお祝いをした。
10月24日	岩手県立総合防災センター(4歳児)	4歳児が県立総合防災センターに出かけ実際に消防車に乗ったり、消防士の仕事風景を見たり、消火活動の仕方や子どもたちができる事などを学んだ。
10月25日	内科検診	体の発達や成長の様子を記録し、健康状態を把握した。
10月26日	焼き芋大会	収穫したさつまいもをこずかたランドで焼いて食べた。
10月31日	ハロウィンパーティー	ハロウィンのお祭りについて知り、園内で楽しんだ。スペシャルゲストが来園し、楽しいひとときを過ごした。ケアセンター南昌内の職員の方々より沢山お菓子をいただいた。

実 施 日	行 事 名	内 容 等
11 月 9 日	七五三誕生会	七五三の由来を知り、健康でいられるのは日頃お世話をしてくれる家族のおかげであることを知り感謝した。10 月の誕生児のお祝いをした。
11 月 14 日	クリスマス飾りつけ	さつま芋の蔓を利用しリースを作ったものを田園ホールに行き、クリスマスツリーに飾りつけをしてきた。
12 月 2 日	お楽しみ会	歌やお遊戯や生活発表をし、保護者の方へ成長を見ていただいた。
12 月 3 日	歳末助け合い演芸会 オープニング (4・5歳児)	歳末助け合い演芸会のオープニングを担当し、歌を2曲披露した。
12 月 11 日	SDGs を学ぼう！ (2・3・4・5歳児)	矢巾町役場企画財政課の方をお呼びし、SDGs の 17 項目のうち2つを取り上げていただき、自分たちにできることを知る時間となった。
12 月 15 日	矢巾町クリーンセンター (5歳児)	ごみが処理されていく様子を見学し、子ども達も新たな発見になり、その後リサイクルへの取り組みを始めた。
12 月 18 日	大根掘り(5歳児)	栽培していた大根の収穫をした。
12 月 19 日	おにぎりパーティー (5歳児)	収穫した稲が玄米になるまでの作業を体験し、おにぎり作りを楽しんだ。
12 月 19 日	お楽しみ会写真撮影 (1～5歳児)	お楽しみ会の写真撮影をした。
12 月 22 日	クリスマス誕生会	12 月の誕生児のお祝いをした。クリスマスの由来などを知った。各クラスのお遊戯を発表し合い、楽しい時間を過ごした。
12 月 26 日	門松作り (4・5歳児)	門松の由来を知り、楽しく季節の花を飾り、4・5歳児それぞれクラスでひとつの大きな門松作りに挑戦。新年を迎える準備をした。
12 月 28 日	年末の挨拶	年末年始の安全な過ごし方を知った。
1 月 5 日	年始集会	年末年始の楽しかった思い出を話し、新年を迎えたことについて知った。その後、正月遊びを楽しんだ。
1 月 12 日	みずき団子づくり	みずき団子の由来を知り、紙粘土を団子に見立ててみずきの木に飾った。
1 月 24 日	誕生会	2月の誕生児のお祝いをした。
2 月 2 日	節分	矢巾町商工会議所青年部の方が鬼に扮して子ども達の前に登場し、心の弱い鬼を退治するよう約束をした。
2 月 8 日	保育参観(未満児)	保護者の方に来ていただき、成長した子どもたちの園生活の様子を見ていただいた。
2 月 15 日	保育参観(以上児)	保護者の方に来ていただき、成長した子どもたちの園生活の様子を見ていただいた。
2 月 28 日	新入園児面接	来年度入園予定の親子を対象にこども園の説明をし、個別面接をして健康状態や成長の様子を教えていただいた。入園に期待を持っていただけのように対応した。
3 月 3 日	雛まつり誕生会	雛まつりについて知り、3月の誕生児のお祝いをした。
3 月 7 日	お別れ会	年長児に沢山お世話してもらった感謝の気持ちを込めて、お遊戯や歌をうたいプレゼントを贈った。
3 月 15 日	修了式	成長したことを認め合い、来年度に期待を持ち、退園する友達とのお別れ会をした。
3 月 16 日	第5回 卒園式	卒園する子ども達をみんなでお祝いした。

※こずかたランドで、さつま芋・かぼちゃ・ニンジン・じゃがいも、えここファームで、きゅうり・トマト・ナス・ピーマン・プチトマト・ラディッシュ・大根を栽培しました。

特色ある活動実施報告

活 動 名	実施回数	内 容 等
フラワーフレンド (3～5歳児)	11回	・個々の花器に、季節の花を自由に飾ることを楽しむ。 ・草花に興味を持ち門松作りを楽しむ。(12月)
運動遊び (3～5歳児)	9回	・全身運動の基礎を学び、体を動かす楽しさを知る。 ・色々なゲームに触れ、ルールのある遊びを楽しむ。
英語で遊ぼう (4・5歳児)	7回	・英語講師のもと、英語の歌や簡単な挨拶、会話の仕方に触れる。またゲームなどにも挑戦する。
英語で遊ぼう (3歳児)	10回	・英語講師のもと、遊びながら英語に触れ慣れ楽しむ。
サッカー教室	7回	・サッカーボールに慣れ、簡単なルールを身に付ける。 ・全身運動を楽しむ。

交通安全・防犯指導実施報告

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
4月14日	・登降園の仕方を知る ・駐車場の使い方を知る	・自動車の乗降の仕方、駐車場での自動車の安全な乗降を知る。	
5月19日	・歩道の歩き方を知る ・信号機の見方や種類を知る	・歩道の歩き方、信号の見方や信号のない横断歩道の歩き方について実践指導を行なった。	
6月9日	・雨の日の歩き方や雨具の使い方を知る	・実際に雨具を使用し、使い方を知る。	
7月21日	・不審者対応について知る	・不審者対応や、子どもたちの避難の仕方などを各クラスで確認した。	
8月4日	・「いかのおすし」の意味を知る ・混雑時の危険について知る	・長期休みの過ごし方について「いかのおすし」の意味を知らせ、防犯について確認し、自分の命は自分で守ることの意味を伝えた。	
9月26日	・横断歩道の渡り方と道路の危険について知る	・横断歩道の渡り方や道路の危険について話を聞く。	・3～5歳児は集会に参加 ・0～2歳児は各クラスで実施
10月 2～6日	・交通ルールの大切さを知る	・散歩の中で道路の歩き方を確認し、道路の安全な歩き方や信号の見方を確認した。	
11月 13～17日	・道路の安全な渡り方を知る	・交通ルールを確認し、安全な道路の歩き方について確認した。	

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
12 月 13 日	・年末年始の様々な事故を知り、安全について学ぶ	・保護者と一緒に行動をすることや、繁華街での安全な行動を子ども達と話し合いながら指導した。	
1 月 17 日	・冬季間の交通安全について知る	・「防寒具の身につけ方、雪道の歩き方」について実践しながら冬道の安全な歩き方を確認した。	
2 月 13～17 日	・防犯と交通安全のルールやマナーについて学ぶ	・実践を通して、進級に向けて「防犯・交通安全意識」を高めた。	
3 月 25 日	・交通ルールの遵守 ・1年間の活動を振り返り、命を守ることの大切さを確認する	・1年の振り返りとして矢巾町交通安全指導隊により各クラスで実践指導を行なった。	矢巾町交通安全指導隊による指導と5歳児は道路での実地指導

ボランティア及び実習生受入報告

団体名・人数	期 間	内 容
仙台白百合女子大学 1 名	2023 年 5 月 22 日～2023 年 6 月 3 日 2023 年 11 月 6 日～2023 年 11 月 17 日	保育実習
石巻専修大学 1 名	2023 年 6 月 5 日～2023 年 6 月 17 日	保育実習Ⅱ
北日本医療福祉専門学校 1 名	2023 年 7 月 10 日～2023 年 7 月 14 日 2023 年 8 月 28 日～2023 年 9 月 15 日	保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2
盛岡大学 1 名	2023 年 8 月 21 日～2023 年 9 月 1 日	保育実習Ⅲ
岩手県看護専門学校 3 名	2023 年 4 月 17 日～2023 年 4 月 19 日	臨床実習
岩手県立大学 看護学部 8 名	2023 年 5 月 15 日～2023 年 5 月 17 日 2023 年 5 月 31 日～2023 年 6 月 2 日 2023 年 10 月 2 日～2023 年 10 月 4 日 2023 年 10 月 23 日～2023 年 10 月 25 日	小児看護保育園実習
矢巾町立矢巾北中学校 3 名	2023 年 11 月 7 日～2023 年 11 月 8 日	職場体験

避難訓練実施報告

実施日(時間)	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
4 月 18 日 (10:00～) 総合	・避難訓練の大切さを 知る	・総合…合図・非常口を知らせ る。(サイレン・放送・誘導旗) ・「お・は・し・も」の約束につい て伝えた。	
5 月 26 日 (10:00～) 火災想定	・災害時の避難の仕方 を知る	・全園児を第一避難場所に避難 させ災害時の避難の仕方 を知らせた。 (ケアセンター南昌北側民 家より火災想定)	避難滑り台体験 (4・5歳児)
6 月 12 日 (10:00～) 地震想定	・「お・は・し・も」 の約束を守る	・保育者の指示を聞き、約束を 守って避難する。 ・地震時に身を守るだんご虫ポ ーズについて知らせた。	
7 月 14 日 (10:00～) 火災想定	・慌てずに避難する ・避難場所を知る	・避難経路を知る。 ・避難滑り台の使い方を知り、 職員と共に慌てずに避難し た。	避難滑り台体験 (以上児)
8 月 22 日 (10:00～) 水害想定	・水害・土砂災害の避 難の仕方を知る	・放送を聞き、保育者の誘導で 保育室の安全な場所に避難 し、その後、第一避難場所に 避難した。 ・水害の被害についての写真な どの事例を通して知らせた。	第一避難場所→ 南昌ホールへ全 園児避難
9 月 27 日 (未定… 10:10 実施) 火災想定	・調乳室より火災 ・自分の命は自分で守 る	・放送を聞き、保育者の誘導で 保育室の安全な場所に避難 し、その後、第一避難場所に 避難した。	盛岡中央消防署 見学(5歳児)
10 月 13 日 (10:00～ 火災想定	・地震から火災想定が 起きることを知る	・放送器具が壊れた設定で地震 が起き、火災が発生した設定 で煙を吸わないように口をふ さいで避難した。	10 月 24 日 岩手県立総合防 災センター見学 (4歳児)
11 月 6 日 (未定… 14:50 実施) 火災想定	・午睡中の避難の仕方 を知る	・午睡中、放送指示ではなく、 人の声で知らせ、非常口に集 まり指示を待ち、身支度後、 第一避難場所へ移動した。	
12 月 12 日 (15:00～) 地震想定	・放送の指示をよく聞 く ・1 分間うずくまる (非常口を開ける)	・第一避難場所へ避難し「お・ は・し・も」の約束の確認を した。 ・自分で自分の命を守る大切さ を伝えた。	

実施日	指導のねらい	実 施 内 容	備 考
2 月 20 日 (17:00～) 火災想定	・約束を守り、慌てず に保育者の指示に 従う	・放送の指示に従い、保育室の 安全な場所へ保育者、保護者 とともに集まり待機。その 後、第一避難場所へ移動し、 地震の際の約束事を確認し た。(ユニバース矢巾より火 災)	
3 月 11 日 (10:00～) 地震想定	・東日本大震災を伝える ・緊急時に落ち着いて 避難する	・東日本大震災について伝え、 命の大切さを知らせるとと もに、緊急時の避難について 再確認をした。	

行事食実施報告

月 日	行事名	献 立	お や つ
4 月 26 日	4 月誕生会	ピラフ 野菜スープ 白身魚フライ か ぼちゃサラダ キウイフルーツ	お楽しみケーキ
4 月 28 日	こどもの日の お祝い会	ロールパン コンソメスープ 鶏肉の BBQ ソースかけ レタスサラ ダ バナナ	しそひじきおにぎ り
5 月 12 日	5 月誕生会	チャーハン 野菜スープ 鶏のからあ げ 花野菜サラダ グレープフルーツ	お楽しみケーキ
6 月 22 日	6 月誕生会	ビビンバ丼 中華スープ れんこんサラ ダ メロン	お楽しみケーキ
7 月 7 日	七夕会	ごはん お星さまスープ ハンバーグ 短冊サラダ 七夕ゼリー	すいか
7 月 13 日	夏まつり	サンドイッチ からあげ トマト ブロッコリー ウインナー フライド ポテト	フルーチェ (ピーチ)
7 月 27 日	7 月誕生会	ゆかりしらすごはん コンソメスープ 星型ハンバーグ グリーンサラダ グレープフルーツ	お楽しみケーキ
8 月 24 日	8 月お誕生会	ピラフ コンソメスープ ハンバーグ 野菜サラダ すいか	お楽しみケーキ
9 月 29 日	9 月お誕生会	秋の味覚ごはん すまし汁 うさぎ型 ハンバーグ ほうれん草の白和え 梨	お楽しみケーキ
10 月 13 日	さつま芋掘り	ごはん 中華スープ チンジャオロー ス もやしのナムル バナナ	ナポリタン

月 日	行事名	献 立	お や つ
10 月 26 日	焼き芋会	2色おにぎり さつま汁 さばの香味 焼き 五目煮 バナナ	和風スパゲッティ
10 月 31 日	ハロウィン パーティ	キャロットライス ポトフ ハロウ インハンバーグ フレンチサラダ りん ご	南瓜ケーキ
11 月 9 日	七五三誕生会	きのこピラフ 塩野菜スープ 鶏肉の から揚げ ポテトサラダ 柿	お楽しみケーキ
12 月 2 日	お楽しみ会		お菓子セット
12 月 19 日	おにぎりパーティ	チキンカレー 野菜スープ 中華和え オレンジ	納豆チヂミ
12 月 22 日	X m a s 誕生会	チキンピラフ コンソメスープ もみ の木ハンバーグ 花野菜カレー風味サ ラダ みかん	お楽しみケーキ
1 月 5 日	冬の七草	七草がゆ みそ汁 鶏肉の塩こうじ焼き きつねのお浸し オレンジ	フルーツポンチ
1 月 24 日	1 月誕生会	サンドイッチ コンソメスープ 鶏肉 の BBQ 焼き フレンチサラダ りんご	おたのしみケーキ
2 月 2 日	節分	ごはん けんちん汁 ほっけの塩焼き ひじきの煮物 バナナ	恵方巻
2 月 8 日	未満児保育参観	ごはん 味噌汁 鶏肉のチーズ焼き マカロニサラダ オレンジ	フルーツポンチ
2 月 15 日	以上児保育参観	あんかけ焼きそば 中華スープ 三色 ナムル オレンジ	お麩ラスク
2 月 22 日	2 月誕生会	ピラフ 野菜スープ 白身フライ かぼちゃサラダ キウイフルーツ	おたのしみケーキ
3 月 3 日	3 月誕生会 ひなまつり	筍の炊き込みご飯 すまし汁 鶏肉の塩 こうじ焼き きんぴらごぼう オレン ジ	おたのしみケーキ
3 月 9 日	お別れ会 (5歳児の リクエスト献立)	お寿司 カニチャーハン 鶏の唐揚げ 和風サラダ かぼちゃサラダ 醤油ラ ーメン おもいでがつまったパフェ	ピーチゼリー
3 月 15 日	修了式	ごはん 中華スープ チャプチェ コ ロコロポテトの塩昆布和え バナナ	ストロベリーバ バロア 紅白餅
3 月 16 日	卒園式		紅白餅

幼老交流実施報告

月 日	企画名	内 容 等
6 月 5 日	チャグチャグ馬っこ前祝い祭	・センター内の高齢者の方と一緒にチャグチャグ馬っこを見学し、タキオズソーラン節をご披露した。
9 月 22 日	ケアセンター南昌敬老会	・センター内の高齢者の敬老会に4・5歳児が参加し、DVDで運動会の様子をお見せしたり、フォークダンスさんと一緒に歌をうたったりした。
10 月 31 日	ハロウィンパーティー	・敬寿荘の介護士が来園。たくさんのお菓子をプレゼントしていただき、仮装している姿をご披露した。 ・事務室の方が仮装して来園。楽しいひと時を過ごし、その後、お菓子をいただいた。
11 月 2 日	幼老交流（5階） （敬寿荘 こすもす）	・挨拶をしたり、言葉のやりとりを楽しんだ。
12 月 20 日	ケアセンター南昌内の高齢者とのふれあい （敬寿荘・つむぎ・博愛荘）	・センター内の高齢者にクリスマスと一年お世話になったことへの感謝の気持ちを伝え、良い年を迎えられるよう挨拶をした。（手作りのリースを各施設に届けた。）
3 月 6 日	プレゼント交流 （5歳児）	・デイサービスの皆さんから、卒園祝いに筆記用具セットをいただいた。

食育講座実施報告

月 日	企 画 名	内 容 等
4 月 27 日	・食べることの大切さについて知る ・講師紹介	・「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さについて知った。
5 月 10 日	・畑に植える野菜について生長と栄養素について知る	・水槽を準備し、どの野菜が水に浮くか実験をし、野菜に興味を持つことが出来た。
6 月 28 日	・食物と歯の健康について ・歯を丈夫にする食物について知る	・丈夫な歯を作るために必要な食べ物の栄養について知った（野菜・豆腐・牛乳・魚・肉等）
7 月 31 日	・様々な食材の切り方を知り、調理の仕方を知る ・旬の夏野菜の収穫を通して食材を知る	・料理によって野菜の切り方が違うことを知り、断面の様子や玉ねぎを切ると涙が出る事など特徴に気づいた。 ・夏野菜の栄養素について知った。また、野菜には「旬」があることを知った。

月 日	企 画 名	内 容 等
8 月 9 日	・ カレークッキング	・ カレーに使われる食材、野菜の栄養の話やカレーの作り方について知った。 ・ その後、年長児はクッキングを楽しんだ。
9 月 20 日	・ 2・5 歳児の食育指導	・ 5 歳児は箸の正しい持ち方をする事で食べやすく、こぼしにくくなることを知る。 また、よく噛むことで体の中でよく吸収されることを知った。 ・ 2 歳児はフォーク・スプーンの持ち方を知った。
10 月 26 日	・ さつま芋の育ち方や栄養素について知る	・ さつま芋の育ち方や栄養について知った。
11 月 2 日	・ 0・3 歳児の食事指導	・ 栄養士に未満児の食事の様子を見ていただき食事形態や子どもたちの食事の好みや食べ方などを見ていただいた。 ・ 3 歳児はマナーなどを教えてもらった。
12 月 25 日	・ 行事の由来について知る	・ クリスマスやお正月に食べる料理にはどんなものがあり、どうして食べるのかを知った。
1 月 12 日	・ 食事のマナーについて知る～食事場面での食器の使い方～ (1・4 歳児)	・ 楽しい食事にするためにはどのようなマナーで食べることがいいのか？みんなが気持ちのいい食事時間にするにはどうしたらよいか等クラス毎で食器の並べ方やマナーについて知った。
2 月 13 日	・ 食べ物について私たちが出来る SDGs について(地域おこし協力隊岩隈夫妻による講話)	・ SDGs について私たちにできることを学んだ。 ・ 農家の方・調理をしている家族や給食の調理員の方・自然の恵み(太陽・水・土)に感謝し、残さず食べることを約束した。
3 月 23 日	・ 食事を通して感謝の心を持つ	・ 食べ物の生長を知り、肉や魚などは命をいただいていることについて、感謝して食事をする事の大切さを知った。

2023年度 職員研修参加状況

こずかたこども園

開催年月日	開催研修等名	開催場所	参加職員名
2023年5月13日	運動会実技研修会	なはんプラザ	相馬 真由美 小笠原 慈
2023年5月25日	令和5年度 第1回 紫波地域医療的ケア児等 ワーキンググループ	矢巾町公民館	及川 佳子
2023年6月5日	令和5年度 岩手県園長等運営管理協議会	サンセール盛岡	笹森 吉子
2023年6月8日	令和5年度 岩手県保育研究大会	オンライン	高橋 友絵
2023年6月22日	令和5年度 岩手県立総合教育センター研修講座 保育者レベルアップ研修講座ステップ1	岩手県立 総合教育センター	川村 萌
2023年6月28日	令和5年度 岩手大学教育学部附属特別支援学校 第1回 支援部学習会	岩手大学教育学部 附属特別支援学校	村松 一恵
2023年7月11日	令和5年度 就学前教育管理職研修講座	岩手県立 総合教育センター	佐々木 裕美
2023年7月24日・7月26日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (乳児保育)	盛岡市勤労福祉会館	泡淵 彩花 新田 美穂
2023年7月28日	令和5年度 矢巾町幼保小担当者協議会	矢巾町公民館	相馬 真由美 小笠原 慈
2023年7月31日	令和5年度 幼保小の学びをつなぐ研修会	岩手県民情報交流 センター アイーナ	笹森 吉子
2023年8月1日	令和5年度 岩手大学教育学部附属 特別支援学校 第2回 支援部学習会	岩手大学教育学部附 属特別支援学校	米倉 里美
2023年8月5日	第38回 幼児期の言語教育研修講座	岩手県民情報交流 センター アイーナ	小笠原 慈
2023年8月8日	幼稚園・保育園等職員対象研修会	岩手県立 盛岡ひがし支援学校	相馬 真由美
2023年8月21日	令和5年度 学校安全実践力向上セミナー 学校安全・管理職コース	オンライン	佐々木 裕美
2023年8月28日	令和5年度 学校安全実践力向上セミナー 幼稚園等向け 不審者対策コース	オンライン	佐々木 裕美 井上 奈都美

開催年月日	開催研修等名	開催場所	参加職員名
2023年8月30日	令和5年度 学校安全実践力向上セミナー 幼稚園等向け 避難対策コース	オンライン	佐々木 裕美 小 笠 原 慈
2023年9月18日・25日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (マネジメント)	岩手県民情報交流 センター アイーナ	平 澤 亜 紀 成 田 久 美 子
2023年10月1日～12月11日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (幼児教育)	オンライン	小 笠 原 慈
2023年10月1日～12月11日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	オンライン	千 葉 美 南
2023年10月2日～12月11日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (マネジメント)	オンライン	吉 田 牧 子 米 倉 里 美 中 村 薫
2023年10月2日～12月11日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	オンライン	吉 田 牧 子 井 上 奈 都 美
2023年10月2日～12月11日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (食育)	オンライン	中 村 薫
2023年10月8日～10月9日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (マネジメント)	オンライン	高 橋 友 絵
2023年10月9日～10月27日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	オンライン	及 川 佳 子
2023年10月13日～14日	赤十字幼児安全支援員養成講習	日本赤十字社 岩手支部	廣 田 静
2023年10月17日	令和5年度 保育者レベルアップ研修講座 ステップ2(6～10年目等対象)	岩手県立 総合教育センター	泡 淵 彩 花
2023年10月20日	紫波ブロック園長研修	八幡平市 大更保育園 他	笹 森 吉 子
2023年10月26日	令和5年度 保育所等交通安全講習会	矢巾町役場	廣 田 静
2023年10月30日～11月17日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修 (保護者支援・子育て支援)	オンライン	及 川 佳 子
2023年11月10日	令和5年度 岩手県保育技術研修会	県立生涯学習 推進センター	泡 淵 彩 花
2023年11月14日	令和5年度 矢巾町要保護児童対策地域協議 会研修会	さわやかハウス	佐々木 裕美

開催年月日	開催研修等名	開催場所	参加職員名
2023年11月19日	令和5年度 矢巾町教育振興運動推進委員会・矢巾町子ども会育成会連合会第2回合同研修会	矢巾町公民館	笹森 吉子
2023年11月20日～12月8日	令和5年度 岩手県保育士等キャリアアップ研修(マネジメント)	オンライン	及川 佳子
2023年11月22日	令和5年度 児童福祉施設等感染症対策アドバイザー研修会	さわやかハウス	及川 佳子
2023年11月24日	令和5年度 保育者部会 (発達障がいの園児の理解と保育者のかかわり)	オンライン	北田 のぞみ
2023年12月8日	令和5年度 岩手県児童福祉施設等職員向け児童虐待対応研修	岩手県民情報交流センター アイーナ	佐々木 裕美
2023年12月22日	令和5年度 リスクマネジメント研修会	オンライン	廣 田 静
2024年1月29日	令和5年度 発達障がい支援者育成フォローアップ研修会	オンライン	及川 佳子
2024年2月1日～2日	令和5年度 北海道・東北ブロック保育協議会次世代リーダー研修会	ホテルニューカリーナ	笹森 吉子 佐々木 裕美
2024年2月22日	医療的ケア児等支援者・コーディネーター養成研修会	オンライン	及川 佳子

2023年度 事業報告書

こずかたケアプランセンター

2023年度 こずかたケアプランセンター実績報告

総 括

新体制4年目となり、利用者の高齢化と入院、入所が新規数を上回る月も多かったが、年間のケアプラン数は昨年度より118件増の2007件、月平均167.2件であった。割合としては矢巾町が98.2%を占めている。また、要介護認定調査は昨年度よりも月平均3件ほど増え、年間125件であった。新型コロナウイルス感染は徐々に減少傾向にはあるが、サービス利用に影響することもあり今年も対応に追われた年となった。今後も感染症対策を徹底するとともに利用者にとって効率的かつ有効的なケアプランを提供できるよう、ネットワークの強化、情報の共有、外部研修への参加を増やし、地域に信頼される事業所づくりを目指していく。

1. 2023年度 介護保険認定調査委託受理件数（2023年4月～2024年3月）

対象者の区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
矢 巾 町・在宅	7	10	7	11	14	4	11	7	10	9	12	13	115	98.2%
他市町村・病院、施設	0	2	3	0	1	1	0	1	2	0	0	0	10	1.8%
合計	7	12	10	11	15	5	11	8	12	9	12	13	125	100.0%

＊ 認定調査は月平均10.4件と昨年と比べ件数が3件/月ほど増えている。

2. 月別ケアプラン計画作成数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ケアプラン請求件数	154	158	158	163	152	159	161	161	159	154	153	154	1,886
介護予防プラン件数	10	9	10	11	9	10	10	10	9	10	11	12	121
合 計	164	167	168	174	161	169	171	171	168	164	164	166	2,007
(うち新規件数)	6	6	7	5	3	7	4	5	5	4	3	1	56

＊ 新規件数は、月平均4.7件であり新規者より入院・入所の件数が多いこともあった。

3. 市町村別ケアプラン件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
矢巾町	152	152	151	153	150	158	158	158	155	151	151	152	1,841	91.7%
盛岡市	4	4	6	11	3	7	3	4	4	4	4	4	58	2.8%
紫波町	6	8	7	7	6	2	7	7	8	8	8	8	82	4.0%
他市町村	2	3	4	3	2	2	3	2	1	1	1	2	26	1.3%
合計	164	167	168	174	161	169	171	171	168	164	164	166	2,007	100.0%

2023年度市町村別 矢巾町…1841件 盛岡市…58件 紫波町…82件 その他…26 件
ケアマネ1人当たり、月33.4件

2023年度 居宅支援事業所年間相談実績報告

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	1	新規相談	20	13	17	17	19	11	14	12	12	16	15	19	185
	2	継続相談	213	232	255	229	241	210	245	234	236	217	204	202	2,718
		合 計	233	245	272	246	260	221	259	246	248	233	219	221	2,903
相 談 方 法	1	来所	9	13	14	15	7	7	12	15	5	9	13	9	128
	2	電話	42	46	48	40	54	54	63	60	49	57	40	47	600
	3	訪問	181	185	209	190	159	159	183	169	190	166	166	165	2,122
	4	そ の 他	1	1	1	1	1	1	1	2	4	1	0	0	14
	5	(うち休日・時間外対応)	5	4	2	2	5	10	4	2	4	2	4	4	48
		合 計	233	245	272	246	260	221	259	246	248	233	219	221	2,903
相 談 者 別 件 数	1	本人	22	36	30	32	41	28	29	33	40	30	36	41	398
	2	家族	98	97	102	90	96	78	100	94	85	90	82	68	1,080
	3	本人・家族・関係者等	112	112	138	122	123	113	127	119	123	109	101	112	1,411
	4	関係機関(包括・病院・施設・居宅等より)	1	0	2	2	0	2	3	0	0	4	0	0	14
	5	その他(民生委員等)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合 計	233	245	272	246	260	221	259	246	248	233	219	221	2,903
相 談 内 容	1	介護に関する相談	1	2	3	2	3	3	2	1	3	5	2	5	32
	2	医療に関する相談	3	3	5	3	7	3	8	6	8	8	7	2	63
	3	入院・入所/退院・退所に関する相談	16	15	11	18	17	14	10	13	13	4	11	8	150
	1	入院・入所に関する相談	2	6	4	5	1	4	4	6	2	2	4	2	42
	2	退院・退所後に関する相談	10	9	0	7	11	7	3	2	5	2	5	1	62
	3	退院・退所に係る調整会議・家屋訪問同行等	4	0	7	6	5	3	3	5	6	0	2	5	46
	4	介護保険に関する相談	173	186	213	191	187	194	200	211	186	177	177	183	2,278
	1	新規ケアプランの相談	14	6	10	4	13	10	7	8	6	4	7	3	92
	2	継続ケアプランの相談	125	132	153	149	146	128	147	140	147	146	144	142	1,699
	3	介護サービス利用に関する相談	34	48	50	38	28	56	46	63	33	27	26	38	487
	1	訪問・通所サービス利用日調整	15	28	25	17	15	24	19	35	14	12	11	26	241
	2	短期入所サービス利用相談	7	5	10	6	6	14	17	13	6	5	7	4	100
	3	担当者会議、退院・退所前カンファレンス、家屋訪問等	11	13	13	13	6	16	7	13	13	10	8	8	131
	4	その他のサービス	1	2	2	2	1	2	3	2	0	0	0	0	15
	5	要介護認定及び更新手続きに関する相談	9	11	16	5	5	3	9	2	9	6	7	6	88
	6	要介護認定調査	8	7	11	14	7	5	9	7	6	11	9	14	108
	7	施設入所に関わる相談	3	4	6	7	4	2	10	4	5	4	1	6	56
	8	福祉用具に関する相談	11	10	12	5	10	3	7	5	9	6	5	5	88
	9	住宅改修に関する相談	1	0	5	2	1	0	1	5	4	4	0	0	23
	10	状況把握	20	16	31	14	33	19	14	18	20	27	16	11	239
	11	高齢者福祉サービスに関わる相談	2	4	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	10
	12	権利擁護に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13	苦情に関する事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	14	その他	2	1	0	3	2	2	1	1	2	6	0	11	1
		合 計	249	259	316	264	276	249	271	273	265	258	235	252	3,167
代 行 申 請	1	要介護認定・更新申請	6	13	10	7	7	3	10	4	7	5	10	12	94
	2	新規居宅サービス計画作成依頼申請	4	4	2	1	7	4	2	2	4	2	4	0	36
	3	福祉用具購入費支給、住宅改修費支給申請	1	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	0	7
	4	その他の申請	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	4
		合 計	11	17	12	10	15	7	12	9	12	9	15	12	141
機 関 別 連 絡 件 数	1	各市町村の介護保険課等	1	0	0	0	2	1	3	2	0	2	0	1	12
	2	地域包括支援センター	1	2	1	0	1	2	1	0	1	0	1	0	10
	3	医療機関	26	17	11	11	14	8	14	17	19	12	9	7	165
	4	施設関係	14	7	21	10	6	5	11	14	11	8	8	7	165
	5	居宅介護支援事業所	0	1	0	2	1	3	2	1	0	0	3	2	15
	6	サービス提供事業所	79	86	75	80	74	58	72	68	55	72	67	71	857
	7	その他(研修・会議等含)	7	4	14	8	8	8	8	8	9	9	8	12	103
		合 計	128	117	122	111	106	85	111	110	95	103	96	100	1,284

2023年度 介護支援専門員更新研修

開催日	参加者	研修内容	場所	主 催
6/15～6/26	高橋	令和5年度岩手県主任介護支援専門員研修 e-ラーニング	こずかたケアプランセンター	岩手県
7/3～7/5	〃	〃 集合研修	アートホテル盛岡	〃
8/8～8/9	〃	〃 集合研修	アートホテル盛岡	〃
6/15～6/26	山内	令和5年度岩手県主任介護支援専門員更新研修 e-ラーニング	〃	〃
7/3～7/5	〃	〃 集合研修	〃	〃
8/28～8/30	〃	〃 集合研修	〃	〃

矢巾町主任介護支援専門員意見交換会			
開催日	時間	場 所	参加者
9月25日	15:00	さわやかハウス	三上・山内

2023年度 外部研修参加一覧表

開催日	参加者	研修内容	場所	主催者
6月12日	2名	デイサービスレッツ倶楽部見学会	レッツ倶楽部盛岡南	レッツ倶楽部盛岡南
5月17日	1名	ハラスメントに関する研修会	ケアセンター南昌	ケアセンター南昌
7月28日	3名	令和5年度医療介護連携入退院支援・連携研修会	さわやかハウス	紫波郡地域包括推進支援センター
8月21日	1名	令和5年度矢巾町重層の支援体制整備事業研修会	役場	矢巾町
9月12日	2名	自立支援会議の進め方 ZOOM研修会	こずかたケアプランセンター	矢巾町地域包括支援センター
10月3日	4名	令和5年度紫波郡医療介護多職種連携研修会 ZOOM研修	矢巾町公民館	矢巾町地域包括支援センター
10月6日	3名	2023年度ケアマネジメント支援研修会	こずかたケアプランセンター	〃
10月18日	3名	令和5年度紫波郡在宅療養・多職種連携研修会 アドバンス・ケア・プランニング	こずかたケアプランセンター	〃
11月14日	1名	ICTを活用した医療・介護連携研修会	オガール	紫波郡地域包括推進支援センター
11月27日	1名	クロス介護 人材育成	さわやかハウス	矢巾町地域包括支援センター
11月29日	2名	岩手県難病医療従事者研修会 ZOOM研修	こずかたケアプランセンター	岩手県難病医療連絡協議会
12月5日	1名	盛岡赤十字病院緩和医療学習会	ふれあいランド	岩手県難病医療連絡協議会
12月18日	1名	介護労働者雇用管理責任者講習会	ふれあいランド	岩手県事業受託企業 株)医療経営研究所
12月19日	1名	岩手県介護支援専門員実務研修実習生受け入れ研修 ZOOM研修	こずかたケアプランセンター	岩手県保健福祉部長寿社会課
1月30日	1名	認知症リハビリテーション研究会 ZOOM研修	こずかたケアプランセンター	一般社団法人日本介護支援 専門員協会
2月8日	1名	矢巾町ゲートキーパー養成講座	さわやかハウス	矢巾町地域包括支援センター
3月14日	1名	矢巾町住居荒廃に関する実態調査報告会	矢巾町庁舎	矢巾町
3月15日	1名	介護の未来シンポジウム	ビックルーフ滝沢	サンメデカル
3月21日	1名	矢巾町介護保険の集団指導	さわやかハウス	矢巾町介護保険係
3月22日	2名	介護報酬改定に係る介護サービス事業所向け説明会 ZOOM 研修	こずかたケアプランセンター	岩手県

〈 2023年度 帰厚堂・敬愛会法人間連携会議:奇数月開催 〉

開催日(11:00～ZOOM会議)	ワーキング会(16:00～ZOOM会議)
5月26日 1月26日	5月22日 3月18日
7月28日 3月22日	7月24日
9月29日	11月17日
11月24日	1月22日

〈 2023年度 実習生の受入実績 〉

【岩手県介護支援専門員実務研修実習生】

受け入れ期間	人数	依頼先
1月31日・2月1日・2月2日(3日間)	1名	公益財団法人いきいき岩手支援財団

矢巾町等ケアマネ事業所・サービス事業所合同連絡会

	月日	曜日	時 間	場 所	参加者
1	4月14日	金	14:00～	さわやかハウス	2名
2	5月18日	木	14:00～	〃	〃
3	6月23日	金	14:00～	〃	〃
4	7月19日	水	14:00～	〃	〃
5	8月21日	月	14:00～	〃	〃
6	9月22日	金	14:00～	〃	〃
7	11月29日	水	14:00～	〃	〃
8	12月25日	月	14:00～	〃	〃
9	1月24日	水	14:00～	〃	〃
10	3月21日	木	14:00～	〃	〃

令和4年度 矢巾町ケアマネ連絡会(やはマネカフェ)

	月日	曜日	場所	内容	参加者
1	4月13日	木	えんじょういセンター(13:30～)	定例会及びやはば地域の居場所マップ	2名
2	5月18日	木	〃	〃 及びケアマネ連絡会総会	〃
3	6月8日	木	〃	〃 安全安心な福祉用具	〃
4	7月11日	火	さわやかハウス	事例検討会	4名
5	8月10日	木	えんじょういセンター	〃 「認知症サポーター養成講座	1名
6	10月21日	土	〃	チームオレンジまつり	〃
7	10月12日	木	〃	〃 高齢者の身体の不調について	2名
8	12月21日	木	えんじょういセンター	〃 終活について学ぼう	2名
9	1月18日	木	さわやかハウス	事例検討会	3名
10	2月15日	火	えんじょういセンター	定例会及びデイサービスがケアマネと共有したいこと	2名
11	4月13日	金	えんじょういセンター	やはマネ会役員会	三上(副会長)
12	5月12日	金	ケアセンター南昌	事例検討会打ち合わせ会	〃
13	6月23日	金	さわやかハウス	やはマネ会役員会	〃
14	7月11日	火	さわやかハウス	〃	〃
15	9月15日	木	こずかたケアプランセンター	〃 ZOOM会議	〃
16	12月21日	月	えんじょういセンター	やはマネ会役員会	〃
17	1月11日	木	ケアセンター南昌	〃	〃
18	2月5日	月	〃	〃	〃

2023年度職員研修会(勉強会)状況

日時	曜日	勉強会	講師	参加者	対象	参加人数
4月26日	水	ケアセンター南昌職員研修会		三上・角掛・佐々木	法人職員	70
6月28日	水	介護報酬について		三上	法人職員	30
事業所内勉強会						
4月18日	金	マイタイムライン	山内	三上・山内 角掛・佐々木・高橋	職員	5
5月17日	水	ケアマネと地域福祉	山内	〃	〃	5
6月15日	金	居宅支援業務の確認	高橋	〃	〃	5
7月21日	金	第1期振り返り	山内	〃	〃	5
8月18日	金	アセスメントについて	佐々木	〃	〃	5
9月15日	金	人生ノート	角掛	〃	〃	5
10月26日	木	第2期振り返り	山内	〃	〃	5
11月17日	金	マンドラチャート	佐々木	〃	〃	5
12月15日	金	パーソナルスペースとは	角掛	〃	〃	5
1月19日	金	第3期振り返り	山内	〃	〃	5
2月16日	金	権利擁護。法令遵守	角掛	〃	〃	5
3月15日	金	第4期振り返り	山内	〃	〃	5

毎週火曜日 8:30～ 事業所内利用者等情報共有会議（こずかたケアプランセンター）
 毎月第1火曜日 10:30～ 敬愛会経営戦略会議並びに各部署会議（志和荘）
 毎月第1・3・5水曜日 12:00～ 理事長との業務打ち合わせ会議（志和荘）
 毎月第1金曜日 13:30～ ケアセンター南昌事業運営会議（ケアセンター南昌）

2023年度 事業報告書

矢巾町地域包括支援センター
指定介護予防支援事業所
認知症施策総合推進事業
認知症初期集中支援事業
チームオレンジコーディネーター事業
生活支援体制整備事業

矢巾町地域包括支援センター2023(令和5年)度事業報告

＜総括＞

- ①相談では複数の課題ある家族への支援や連携して対応するケースが引き続き増加しています。
- ②消費者被害の相談が初めてありました。
- ③自立支援型地域ケア個別会議（自立支援サポート会議）の検証を掲げ、ケアマネジメント研修会を9月に引き続き10月開催しました。専門職64人が参加し、会議の意義等を再確認し今後につなげることができました。通所型サービスC（リアクト）の充実に生かすことができました。
- ④介護人材の問題が地域課題として明確になってきました。

総合相談関係

※コロナ、人材関係の要望書を健康長寿課へ提出【資料1】

1. 相談業務状況等

＜相談件数＞

- ・相談件数は2586件（前年度比22件増加）。
- ・相談内容件数は5181件（同561件増加）。総合相談関係2596件、介護予防関係1412件、権利擁護関係641件、ケアマネジメント支援関係324件、認知症事業関係208件。
- ・インフォーマルサービス、福祉用具購入、医療機関との連携（受診、入退院）、総合事業、生活困窮・低所得者、独居、精神保健、ボランティア活動、認知症の相談が目立ちました。

2. 運転免許証自主返納者：8人（前年度比1人増加）

- ・独居4人・高齢世帯4人（男性3人、女性5人）。センターが状況把握し3人に対して支援。

3. 行方不明者対応：4件（同2件増加）

- ①7月：Sさん（80代女性、要介護2、通所介護利用）、同居家族あり。6:30ころ外出、10:00にSOS、10:15に長男が自宅内で発見。
- ②2024年1月：居住系施設入居者。Mさん（80代女性、要介護1）。昼食後、「盛岡へ行く」と外出。午後3時過ぎに紫波町内で警察に保護される。SOSネットワーク登録支援。
- ③2024年2月：Kさん（80代女性、要介護2、レビー小体型認知症）。16:30紫波警察署から連絡あり。すぐ発見されたが救急搬送された。住所は紫波町、矢巾町の長女宅に同居していた。
- ④2024年3月：Aさん（80代男性、要介護1）。15:20に矢巾交番から連絡あり。11:00ころ犬と散歩し戻って来ない。19:20に盛岡市上堂で保護される。

4. 高齢者虐待・消費者被害関係

- ・相談件数16件（前年度比5件増加：実ケース4件※1件は消費者被害）。
- ①4月：本人（80代女性、要介護1）。同居の長女夫婦からの身体的虐待。関係者で見守り。
- ②5月：本人（90代女性、要介護3）。同居息子から身体的精神的虐待。介護負担軽減支援。
- ③2024年1月：90代女性、要支援2、独居）。年末から「好摩の役場です。一人暮らし給付金

が5万円もらえるので、口座番号を教えてください」との内容の電話あり。包括職員が担当している利用者のため、長男に連絡し、「迷惑防止電話機能」を作動してもらう。

④2024年3月：本人（70代女性、非該当）。同居の息子からの身体的虐待。分離支援。

地域包括ケア(システム)推進関係

1. 地域ケア会議の開催：13回（前年度比4回減少）

＜自立支援型地域ケア個別会議＞

- ①4月：初回通所型サービスC（リアクト）対象者8人を対象に地域ケア個別会議開催。
- ②7月：リアクトの利用対象者8人を対象に地域へつなぐ開地域ケア個別会議開催。
- ③11月：リアクトの利用対象者7人を対象に地域へつなぐ開地域ケア個別会議開催。
- ④12月：初回リアクト対象者7人を対象に地域ケア個別会議開催。
- ⑤2024年3月：矢巾町通所型サービスC（リアクト）の利用対象者6人を対象に地域へつなぐ開地域ケア個別会議開催。

＜支援困難事例型地域ケア個別会議＞

- ⑥8月：Fさん夫婦（どちらも80代、妻は要介護2）への支援。
 - ・緊急時対応、環境改善、サービス見直し、経済的支援等を検討。
- ⑦8月：Y家（夫婦とも80代、息子は盛岡市在住）への支援。
 - ・近所トラブル、息子とのトラブル等複合的課題について情報共有、支援方針検討。
- ⑧9月：T家（本人80代で精神障害、次女は60代無職、次男入院中）への支援。
 - ・本人の被害妄想、次男の退院後の介護等への対応について検討。
- ⑨11月：80代男性・未申請。軽度認知症。生活に支障でているが、支援を拒否するため家族が困っている。支援内容を検討。
- ⑩12月：60代男性・介護保険対象外。脳腫瘍、アルコール依存症、医療につながらない、パートナーは末期がん。生活困窮家庭。
 - ・複合的課題への支援を検討。
- ⑪2024年1月：70代男性。脳出血で入院中、同居の妹は精神障害。ごみ屋敷状態で生活困窮。
 - ・環境改善、家族支援、退院後の対応等について検討。
- ⑫2024年2月：A家（本人80代女性・認知症、夫と息子との三人世帯）への支援。
 - ・徘徊への対応、病弱な夫の介護負担軽減、サービス拒否等への支援内容を検討。
- ⑬2024年2月：⑦のケースの継続支援。
 - ・近隣トラブルで警察出動、被害妄想強く、医療保護入院での支援を行う。

※地域ケア会議からの地域課題は【資料6】

2. 総合事業・生活支援体制整備事業関係

- ①矢巾町生活支援コーディネーター定例会出席（月1回）。
- ②農園カフェ「HATARAKU」視察。
- ③矢巾町生活支援事業移動式スーパーに係る会議出席。

④矢巾町生活支援協議会出席。

3. 在宅医療・介護連携推進事業関係

①紫波郡地域包括ケア推進センター運営調整会議出席（月１回）。

②入退院支援・連携研修会出席。

③岩手県立中央病院との意見交換会開催（６月、オンライン）。

④認知症対応力向上研修出席。

⑤ACP 研修会出席。

⑥医療介護連携研修会出席。

⑦奥州市、北上市の連携事業視察に参加。

⑧紫波郡地域包括ケア推進協議会ワーキンググループ会議出席。

⑨紫波郡地域包括推進協議会出席。

⑩紫波郡地域リハビリテーション研修会開催（２月）。

・高齢者の自動車運転、運転免許返納、地域課題について。

4. ケアマネジメント支援事業関係

①ケアマネカフェ開催（４、６、８、１２、２月）

・居場所マップ、福祉用具基礎知識、認知症サポーターステップアップ講座、整体師の視点からの健康管理、終活・住居等の処分方法、通所介護との連携、ミニ事例検討。

②クロス介護カフェ開催（５、７、９、１１、１、３月）

・事例検討の進め方、古武術式介護技術、リアクトの理解と見学、働きやすい職場環境づくり、移乗時に活用できる福祉用具、排泄ケアと介護用品。

③矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会（４、９月）

・ピアスーパービジョンについて、第９期介護保険事業計画への意見聴取。

④矢巾町内ケアマネ事業所と地域密着型サービス事業との合同連絡会開催（１２月）。

※詳細は【資料５】

⑤紫波町「つながる学習会・事例検討会」出席（１２月）。

⑥矢巾町ケアマネジメント研修会開催（９、１０月）

・講師：高室成幸氏（ケアタウン総合研究所代表）。

・自立支援サポート会議の意義/自立支援サポート会議の実際と事例検討の進め方について。

⑦やはマネ会「事例検討会開催（７、１月）

・事例「糖尿病を抱える夫婦への支援について考える」、グループワーク。

・事例「身寄りない老夫婦が安心してくらししていくために」、グループワーク。

⑧矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会開催（月１回）

・自殺予防と精神保健、高齢者虐待予防、独居支援に必要な社会資源、こんな矢巾町に住んでみたい、悪徳商法に負けないために、介護報酬の各サービスの論点、介護報酬改定内容、ゲートキーパー養成講座、集団指導。グループワーク３回。

※グループワーク内容は【資料2.3.4】

4. 災害支援関係

- ① 2024年2月、岩手県災害派遣福祉チーム（DWAT）のチーム員研修を2人の職員が受講、チーム員として登録された。

多機関・会議等での連携状況

- 矢巾町健康長寿課との打ち合わせ会議
- 矢巾町生きいきまちづくり委員会
- 矢巾町介護保険事業計画等検討委員会
- 矢巾町地域福祉推進審議会
- 岩手県地域福祉推進協議会
- 矢巾町障害者自立支援協議会計画検討部会
- 矢巾町成年後見制度利用促進審議会
- 矢巾町消費者安全確保地域協議会
- 矢巾町重層的支援体制整備事業推進会議
- 矢巾町生活困窮者自立支援調整会議
- 矢巾町防災会議
- デイサービスつりがねの郷運営推進会議
- デイサービス高原列車運営推進会議
- デイサービス GENKI NEXT 岩手矢巾運営推進会議
- 小規模多機能型居宅介護むつき運営推進会議
- 盛岡地区地域包括・在宅介護支援センター協議会理事会
- グループホーム太陽荘運営推進会議
- 矢巾町地域包括支援センター運営協議会
- 矢巾町地域ケア推進会議
- 岩手県地域包括・在宅介護支援センター協議会調査研究委員会
- 矢巾町青少年作文・論文コンクール選考委員会
- 矢巾町南デイサービスセンター運営推進会議
- 岩手県リハビリテーション協議会
- 成年後見盛岡広域地域連携実務者ネットワーク会議

実習生等の受け入れ:合計 100 人

- 盛岡医療大学校3年生 28人
- 盛岡市医師会附属盛岡高等看護学院3年生 17人
- 岩手医大医学部1年生 7人/3年生 4人

- 岩手医大看護学部３年生　２０人／４年生　５人
- 岩手県立大看護学部３年生　２人／４年生　２人
- 岩手保健医療大学看護学部４年生　６人
- 岩手県立大社会福祉学部２年生　４人
- 研修医　４人
- ケアマネ実務研修生　１人

※次ページ以降の資料内容

- ・資料１：健康長寿課への情報提供(要望・提案等)
- ・資料２：合同連絡会グループワーク「虐待を生まない地域をつくるために」
- ・資料３：合同連絡会グループワーク「一人暮らし高齢者の支援について考える」
- ・資料４：合同連絡会グループワーク「こんな矢巾町なら住んでみたい」
- ・資料５：矢巾町地域密着型サービス事業・ケアマネ事業所合同連絡会
「地域密着型サービス利用促進と介護職等の人材問題について」
- ・資料６：支援困難事例地域ケア個別会議実施状況と地域課題

矢巾町健康長寿課への情報提供 2023年 4月10日提出

- ・コロナ関係と人材育成等での地域包括支援センター、市町村、岩手県への要望を矢巾町等の介護保険サービス事業所・ケアマネ事業所・施設から出していただき、その結果を以下にまとめましたので情報提供いたします。
- ・2023年1月23日開催の第9回矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会で19事業所から意見をいただき、アンケート調査は2023年2月14日～2月24日まで実施し9事業所から回答が寄せられました。
- ・矢巾町地域包括支援センターでもみなさんからの意見を受け止め、具体化していきたいと考えています。この意見・回答を今後のコロナをふくめた感染症対策や第9期介護保険事業計画策定等に活かしていただければ幸いです。

矢巾町地域包括支援センター
所長 吉田 均

<コロナ感染症関係の要望・意見>

- クラスター発生等で職員基準を遵守できなくなった場合の柔軟な助言・指導をこれからも継続してほしい。
- 様々な制度や助成を活用したり、独自事業を立ち上げるなどして検査キットの提供継続、ガウンの提供、マスク等の衛生用品の配布をしていただき事業所負担を軽減してほしい。小規模法人だと経費が嵩むため共同購入方法も検討してほしい。
- 濃厚接触者の考え方や利用者が感染症になった場合の待機期間や検査の有無等、サービス事業所・施設でバラバラである。県や市町村では、国の通知等をかみ砕いて各サービスごとの予防対策最低基準（用語説明含む）、感染対策が十分と判断できる基準を明確にだしていただければありがたい。
- 2類から5類になったとしても指示をしっかりと出し、各事業所が統一对応できるようにしてほしい。
- 医療・福祉従事者と一般の方との感染症に関してあらゆる面で温度差がありすぎるのではないか。このまま5類になっても医療・福祉従事者のやらねばならないことの実態は変わらず、負担と責任だけが過剰になる気がします。一般の方への啓蒙活動をどう考えているのでしょうか。
- 感染拡大した場合、県や市町村に相談した時に「濃厚接触者か否かは自分で判断してください。また会社の規定に従ってください」と回答されたことがあり、相談にならなかったのも、このような対応・回答は避けていただきたい。
- ケアマネ事業所で全員濃厚接触者となり、月途中の区分変更で担当者会議・契約変更等で滞ってしまった。幸い要支援だったので包括支援センターが代行してくれて上手く請求

までできたが、要介護の場合どうするか心配である。

○居住系サービスのなかでも有料老人ホームの感染症対策は厳しすぎないか。ケアマネが一年以上担当利用者の面接できなかったり、外部サービスの制限（医療系のみ OK）をしているところがあるが、なにを基準に差がでてくるのか疑問である。

○コロナ禍の中でもモニタリングやアセスメントの質を維持できる取り組みはないか、検討してみる必要があると思います。

○コロナ感染症での対応成功例とか対策方法の情報共有する場を設けてほしい。

○感染症拡大期には、合同連絡会をオンラインで開催できるようにしてほしい。

○スムーズな手続き・支援ができるように要介護・要支援認定調査もオンラインでもできるようにしてほしい。

<人材確保関係の要望・意見>

○介護、看護とも募集しても集まらない。介護福祉士養成校からの実習生も少なくなってきた。人材確保は職員の待遇、給与面が一番である。処遇改善加算より介護報酬で何とかしてほしい。求人を出しても40～60歳代の未経験者・無資格者がほとんどで若い人はこない。

○資格ある人が責任持ち、長く働ける環境整備。誇りを持ち働けるような資格化の構造、若い世代が介護現場に入職しやすくなるような対応・支援が必要である。

○地域へ出て人材確保のPRを。イベント企画も必要でその中で「介護福祉士、ケアマネジャーはカッコいいなあ」ということを伝えていく必要がある。

○矢巾町で人材マッチングの仕組みやHP等で見ることができる独自の求人サイトがあれば事業所は助かるのではないかな。

○紫波郡で無資格の人を対象にした資格養成講座等の仕組みを考えてはどうか。その中で働きやすい環境整備として、減免や免除、勤務期間等の条件も検討してほしい。

○長期的視点での介護人材不足を見据えて、町民が介護人材になれるよう小中学校での教育の中に「高齢者介護分野」があると将来へつながるのではないかな。

○病院の看護助手は介護の実務経験に該当しない。該当するようにしてほしい。

○医療的ケアの研修受講の手続きの簡素化と研修機会の増加を検討してほしい。

○介護福祉士の価値向上のため、名称独占から業務独占に位置づけてほしい。

○状況を打破するために介護福祉士出身者の政治への参加が必要ではないかな。

<その他の要望・意見>

○ネット環境整備の促進。業務効率化のために必要、県・市町村からの助成がほしい。

○何でもかんでもICTはいかがなものか。高齢者の立場にたち必要により使い分けをしていくことが重要ではないか。高齢者へのICT活用の周知も検討してほしい。

○矢巾町の認定調査票の様式の簡略化を要望。一枚で済むように（住所、氏名を何回も書かないように）。申請書様式も印鑑をなるべく無くしてほしい。

2023.5.18(木)開催矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会グループワーク(参加 34 人) まとめ

テーマ「虐待を生まない地域をつくるために」

1.「虐待の状況かなと思った場面はあったか」について(紫波町、盛岡市含む) (市町村等が虐待対応した事例含む)

<在宅>

- ・2階に住んでいる本人に対して、「危ない」ため家族がカギをかけている。
- ・本人が家の中で放尿するため、息子が自分の部屋にカギをかけている。息子から本人・ケアマネへの暴言もみられる。
- ・生活保護世帯で息子が通帳管理。親のお金を使い込んで食材も買えなくなかった。
- ・認知症の母親に対して、物忘れの言動があるたびに息子が怒っている。
- ・夫が妻に DV、息子は酒を飲むと父を殴る。
- ・本人の転倒が怖いので寝かせている家族がいて、本人を叩いている音が聞こえた。
- ・本人が布団の上からひもです巻き状態にされていた。
- ・本人に家族が不適切な言葉を書いて見せていた。
- ・家族が本人へ食事を出していたが、日ごとに量が減っていった。
- ・精神疾患ある息子が本人を殴っていた。
- ・娘が忙しく経済的にも余裕がないため、本人がベットから出られないようにサイドレールをロープでくくっていた。食事もさせていない状況だった。
- ・家族が本人を受診させなかったため、本人は亡くなった。
- ・「認知症で大変なので、手を出してしまった」と家族からの訴えがあった。
- ・本人が「自分はできる。人の助けはいらない」と支援やサービスを拒否。結果的に状態が悪化し亡くなった。
- ・本人は家族から殴られたとアザもあるのに家族は否定、認めなかった。

<施設・居住系>

- ・有料老人ホーム入所者で医療ニーズ高く重症の人の多くがミトンをしていた。
- ・外泊のたびにアザをつくってくる。本人は「(精神疾患あった)孫に蹴られた」と話している。
- ・障害者施設入所者の家族が、本人の年金を使わせてほしいとたびたび訴えている。
- ・男性スタッフが女性入居者の陰部を素手で洗っていた。

<全体的な所感>

・介護保険に従事している専門職のみなさんは、虐待や虐待かなと思われるケースや状況に敏感であること。ただし通報を躊躇する気持ちにも悩まされているのがわかります。ここには記入していませんが、本人から「家族に言わないでほしい」と言われたり、同居家族のつらさや事情を考慮するゆえんからだと思われます。虐待対応は家族支援でもあること、不適切ケアを生み出さないことをみなさんで確認したいと思います。

2.どのように支援したらいいか、わたしたちの持つべき姿勢は

- ①息子又は娘と本人の二世帯の場合は、状況に応じて2人が離れて生活する時間を確保する支援(短期入所等)が必要ではないか。
- ②家族が多くいる場合、介護ストレスを軽減するために家族アセスメントを行い、信頼関係を構築し、介護していることに共感したうえで家族間での役割分担を提案してみてもどうか。
- ③虐待をしている家族の気持ち・悩みを理解するとともに、介護をしていることへのねぎらいの言葉も忘れず話を聞く姿勢を持つ。その後、本人へ寄り添える支援を少しずつ始めていくことが大切ではないか。
- ④地域とのかかわりが希薄になっているので、民生委員や近隣住民などがお互いに声を掛け合えるような環境づくりが求められるのではないか。
- ⑤そのためには、介護している人の立場に立って考える。相談しやすい場や孤立させない交流の場が地域にたくさんあっていいのではないか。

3.早期発見等や家族支援・地域支援で具体的にできることは

- ①町民に対して、町を中心に虐待予防の周知(広報、パンフレット等)をしていく。
- ②気軽に介護の大変さや困りごとが話せる居場所を地域ごとに増やしていく。
- ③虐待したことを隠すのではなく、つらさを早めに受け止めこれからにつなげる支援を。
- ④福祉・介護職員が再度虐待について学ぶことと感情をコントロールするアンガーマネジメントを身に着ける。
- ⑤ヒヤリハットを分析したり、虐待関係の事例検討を職場で行い、職員同士が意見交換できる場を増やしていく。
- ⑥虐待に限らず、日頃から保険者を交えたチームづくり(すぐ集まれる関係づくり)をグループワーク等を通じて構築していく。
- ⑦心構えとして、虐待の疑いがあれば町へすぐ報告する習慣を身に着ける。そのためにも、虐待かどうかの細かい線引きがわかるととても助かる。
- ⑧確実な証拠として、写真を撮っておき関係者で検証し次の支援の手立てを検討する。
- ⑨サービス利用契約時に虐待に関する説明を丁寧に行うことが必要となる。
- ⑩虐待支援で支援者が通報したことで、家族との溝ができない方法も考える必要がある。そうでないと今後の本人・家族支援が上手くいかなくなる。

参考：〇運営基準の整備（2024年3月までに）

※虐待の発生又はその再発を防止するため、以下の措置を講じなければならない。

- ①虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催し、その結果を従業員に周知徹底を図る
- ②虐待防止のための指針を整備する③従業員に対して虐待防止のための研修を定期的に実施④上記措置を適切に実施するための担当者をおくこと。

2023.6.23(金)開催矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会グループワーク(参加 25 人) まとめ

テーマ:「一人暮らし高齢者の支援について考える」

1.実践的事例検討 2.独居のストレングス 3.あるといい社会資源

■1.実践的事例検討

○ケアマネ・サービス事業所のみなさんから事前に「困っている事例」を募集。8 事例が集まり、それを参考に検討していただく事例を作成し、5グループで検討した。

<事例内容・一部追加>

- ・ A さん（女性、82 歳、要介護 1、糖尿病・高血圧症・アルツハイマー型認知症）。
- 支援のきっかけ —
- ・ 二年前に公務員だった夫に先立たれ独居になる。そのころから物忘れが出はじめ、薬の飲み忘れが目立ち、外出機会も減少。夫がいたときは近所付き合いもよく、いっしょに旅行もしていた。
- ・ 長男は心配し、本人とともに地域包括支援センターに相談。介護保険サービス利用等の手続きを行い、サービス利用開始となる。
- 現状 —
- ・ 利用しているサービス：ヘルパー（週 2 回 掃除・洗濯）、訪問看護（週 1 回 健康状態観察）、長男の見守り訪問（二週間に 1 回）。
- ・ 家族は長男（県北で自営業しており、妻と要介護の妻の両親とくらしている）、県外に住む長女（嫁ぎ先で親の介護をしている）のみ。
- ・ 最近になり本人は、着ている服がいつも同じだったり失禁のためか尿臭もある。ヘルパーが「お風呂に入っていますか」と聞くと「ちゃんと入っていますよ！」と怒鳴られた。
- ・ 訪問看護師には「この薬に毒が入っているので飲みません！」と服薬拒否を表明している。
- ・ 長男は訪問時に、本人へデイサービス利用を勧めるが「行きません！」と頑固に拒否された。
- ・ ケアマネジャーが訪問するたびに、本人が食べたカップラーメンの器が増えている。

検討 1.危機予測(このままの状況が続けばどうなるか)

- ①薬が飲めていないため慢性疾患（糖尿病・高血圧症）が悪化し独居生活ができなくなる。
- ②認知症（物忘れ、被害妄想）が進行し生活管理能力や意欲の低下、人との交流もなくなり閉じこもりも進行し、社会から孤立化していく。
- ③清潔や身だしなみがみだれ、排泄の失敗等で外出意欲がなくなり筋力低下も進行し寝たきりになっていく。
- ④食生活が単調になり、栄養バランスがくずれ服薬もできていない状況では栄養状態の悪化と脱水

となる可能性が高い。

⑤ごみ屋敷状態になり歩く障害物も多く、筋力低下もあり転倒のリスクも出てくる。

⑥家族の介護負担や経済的負担・精神的負担が増加する。

検討 2.ニーズ(望む生活、解決すべき課題)

①一人暮らし継続のための環境整備

・ごみ屋敷にしない、家族以外の安否確認支援、地域とのつながり復活支援

②慢性疾患の悪化予防

③独居に見合った食生活の確立

④認知症の進行への対応と環境整備

⑤できることを増やす意欲向上が図れる環境整備

・いっしょに外出・食事づくり・ゴミ捨て、おしゃれ、旅行したい本人の気持ちを尊重

検討 3.多職種連携(今後どのような職種と連携すればいいか)

①民生委員、ご近所さん：見守り、ごみ出し、安否確認、話相手、つながり支援。

②町内会、自治会：地域単位での独居支援を検討。

③薬局・薬剤師：服薬管理。

④市町村保健師：健康・体調管理、地域診断。

⑤訪問診療の医師、看護師：将来的に必要なか。

⑥配食サービス業者：食事提供、見守り。

⑦地域包括支援センター：ケアマネジャー等の後方支援。

○事前に提供いただいた8つの支援困難事例の共通点と課題は以下の通り。

①認知症又は認知症と精神疾患ある人。認知症を自覚できないでいる人。

②個性的な人、こだわりある人、プライドの高い人、妄想ある人、しつっこい人。

③精神的に落ち着きのない人、特定の人へ集中的に攻撃してくる人。

④セクハラ・パワハラ・暴言等をする人、ケアマネ・ヘルパーをたびたび変更する人。

⑤介護の協力者がいない人、施設入所を拒否し続ける人、家族から疎遠にされている人。

⑥家族の支援を拒否する人、家族が本人への支援を拒否されている人、サービス等を拒否する人。

＜課題、困っていること＞

①訪問拒否、サービス拒否、通院・外出拒否への対応。飲酒等の依存症への対応。

②薬の飲み忘れ、受診後の支払いや薬の受け取りへの対応。

③夜間の見守り・戸締り、夜間のベッドからの転倒予防への対応。

④精神面の安定化を図り、生活継続への支援。

⑤被害妄想等への対応としての精神保健（精神科受診支援含む）への連携対応。

⑥キーパーソン不在や家族関係改善等への対応。

■2.ストレングス(一人暮らし高齢者の強みは)

- ①気ままに気楽に生活できる。自由に自分のペースで過ごせる。
- ②自分の意志が強い。自分の意思がはっきりしている。
- ③自由に自分の時間を使える。趣味に没頭できる。
- ④頭を使い工夫して生活できる。来客等の対応ができる。
- ⑤長く住んでいるので地域のことに詳しい。協力者もいる等。

■3.こんな社会資源があったらいいね

- ①近所の人のごみ出し・ゴミ捨てサポート。いつでもゴミ出しステーション。
・子どもたちによる資源回収ではなくゴミ回収活動・声かけ活動、一緒にゴミ捨て散歩。
- ②配食サービス、安否確認サービス、傾聴ボランティア、買い物支援としての移動販売。
・車で連れていきスーパーの中も介助してくれる。
- ③ちょっと困った時のお手伝い（電球交換、灯油の継ぎ足し等）、低予算の家事・生活支援。
- ④草取り・草刈り有料ボランティア、雪かき有料ボランティア。移動支援（気軽に予約でき、自宅まで迎えがくる）。
- ⑤昔ながらの集える場所（商店等の活用）、足湯・お茶菓子がセットの居場所。
- ⑥認知症の人に特化した服薬支援サービス。
- ⑦声が出て誘導できる一人暮らし ICT 支援ネット。
- ⑧体調不良時にすぐに一時的に安く対応し宿泊できる施設（例：地域包括ケア病棟等の活用）。
- ⑨旅行と「身体の整え」がいっしょにできるリフレッシュ事業。
- ⑩送迎付きサロン、男性の人が集まりやすいサロン。

＜参考 1＞：独居高齢者の生活類型とその特徴

- ・類型1(多重困難型 16.7%) 人間関係が非常に悪く、経済状況も良くないため、毎日の生活に強い不満やストレスを感じているタイプ。
- ・類型2(外出困難型 23.6%) 外出状況に問題を抱えているが、経済状況、人間関係が良好で生活に一定の満足を得ているタイプ。
- ・類型3(経済困難型 15.3%) 経済状況が悪く、不安を抱えているが、外出状況が良く、人間関係も良好で日常生活にはあまり不満がないタイプ。
- ・類型4(関係困難型 18.9%) 人間関係には満足していないが、経済状況、外出状況が良いため、毎日の生活に不満を感じていないタイプ。
- ・類型5(生活安定型 25.5%) 金銭面でも人間関係でも不安はなく、ストレスも感じていない。毎日を豊かに生活しているタイプ。

※2011年東京都港区調査(引用:光文社新書2015.7発行「老人に冷たい国・日本」から)

＜参考 2＞：矢巾町、紫波町の一人暮らし高齢者の状況(2023.4.1 現在)

- 矢巾町 1,427人 8世帯に1世帯(総人口26,458人 高齢化率28.3%)
- 紫波町 1,931人 7世帯に1世帯(総人口32,915人 高齢化率31.8%)

2023.7.19(水)開催矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会グループワーク(参加 20人) まとめ

テーマ:「こんな矢巾町なら住んでみたい」 ～2040年の矢巾町はこうなっている～

1.岩手医科大学附属病院の移転に伴い盛岡市等からの道路交通網が整備され、県内全地域からの人的交流が活発化し人口が増えている。盛岡市住民からの附属病院通院に不便という問題も解消されている。

2.住宅地が安価に確保され、医療福祉分野はじめ多様な働き場所も多くなり、高校・大学等も整備・充実が図られ、子育てや教育、働きやすい環境になっている。高齢者の学び直しや就労する人も多くなっている。

3.矢巾町内が地域特性に見合ったコミュニティに再編され、小中学校の他に介護・福祉施設が地域の拠点となり、幼少期からの福祉・医療教育の学習が標準化(独自の学習資料)され、地域のつながり・交流や地域課題に対するサポート・地域連携が確立されている。

4.ICT の活用が広がり、役場や地域包括支援センター等相談機関の 365 日、24 時間営業が当たり前となり、いつでも申請手続きや相談ができ、多様なニーズや生活スタイルに迅速に支援・対応が可能な環境が整い、地域共生社会の構築が進んでいる。

5.介護はあまり必要ないが、生活のちょっとした困りごとを抱える85歳以上の高齢者(スーパー・シニア)と100歳以上の高齢者(ウルトラ・シニア)が増加し、特に買い物・通院等の移動手段への適切な支援が図られている。

(例:ニーズに応じたきめ細かな巡回バス(必要時は自宅付近へ)、ドローンを活用した物品等の運搬等)

6.ICT 化が推進され、オンライン診療や安否確認がスムーズに行われており、薬剤師さんの地域訪問も活発となり、高齢者・障害者等の一人暮らしの人でも安心して生活できている。それにより医療・介護・福祉の人材不足が一部解消されている。

7.低所得者にも優しい居住支援が用意されている。空き家を利用したシェアハウス、様々な人たちが協働・共同生活できる助け合い住宅等。

矢巾町地域密着型サービス事業所・ケアマネ事業所合同連絡会

結果報告 2023(令和5)年12月28日(木)

矢巾町地域包括支援センター 所長 吉田 均

○目的 : 町内地域密着型サービスの現状と課題の情報共有、人材確保と利用促進に向けた意見交換により今後の検討材料にすること。

○日時 : 2023(令和5)年12月25日(月)14:00~15:15

○場所 : さわやかハウス 2F わくわくルーム

○参加事業所等:参加者 17人

- ・グループホーム敬寿荘(1人)
- ・グループホーム太陽荘(1人)
- ・デイサービスつむぎ(1人)
- ・通所介護つりがねの郷(1人)
- ・矢巾町南デイサービスセンター(1人)
- ・小規模多機能型居宅介護むつき(1人)

- ・こずかたケアプランセンター(2人)
- ・ニチイケアセンター矢巾(1人)
- ・矢巾町社会福祉協議会(1人)
- ・矢巾町南在宅介護支援センター(1人)

- ・矢巾町地域包括支援センター(4人)
- ・矢巾町健康長寿課(2人)

○意見交換のテーマ

1. 町内各地域密着型サービス事業所で困っていること
2. ケアマネから地域密着型サービス事業所への意見・要望
3. 意見交換.



※各項目で出された意見は次ページ参照のこと

1、 町内各地域密着型サービス事業所で困っていることは？

① つりがね：岩崎氏

➡通所ではないが、有料老人ホームの課題として外部からの相談で入れたい利用者がいるなどと相談はあるが、なかなか部屋に空きが出ないため、対応しきれていない。

★人材関係★➡人材は十分足りているとはいえない。特に夜勤が出来る人がいない。夜勤専門の職員がいるが他事業所とのダブルワークをやっている。そのため、融通が効かない場合が多く、シフト等で上手く折り合いがつかず職員間で不平不満が出ることが多い。ダブルワーク職員が働けない時間帯の穴埋めの負担も大変である。人数的にはギリギリであり、何とか回している状況である。

② 認知症デイつむぎ：小泉氏

➡専門性ある職員の確保が一番の課題。認知症の方が対象であり、十分に認知症について理解していることが前提のため、豊富な知識を持つ職員が必要である。現在は、研修体系等を構築し学んでいただくのは難しく、日々の対応で学んでいく方法しか取れていない。

職員の勤務時間を柔軟に対応できる体制をとることができず送迎等を含めると職員に時間外での対応をお願いせざるを得ない。

③ 敬寿荘：佐藤氏

➡矢巾町内にグループホームが二か所しかないため待機者を待たせてしまっている。現在、2ユニットで計16名の利用者がいるが、作年の実地指導で、16人で夜勤二人では夜間支援体制加算が取れないということがわかった。加算を返上している。加算を取るためには、夜勤の時間帯に3人（2ユニットで）いなければならないが、現在の人員ではそれが出来ない状況。

常勤換算で正職員は半分。計画作成担当者は、各ユニットに一人ずついなければならないが、ケアマネが一人いれば、もう一人はケアマネじゃなくても良いことになっているがケアマネへの負担は重くなっている。幸いにも今年2人ケアマネ資格を取得してくれたため、ケアマネの負担は軽減できると思われる。

④ 南デイ:岩淵氏

➡新規で利用者を受けてもすぐに入所・入院とか死亡等で終了となることも多く、なかなか利用者は増えない。看護師の確保が難しく、派遣に頼っている。困りごとは、利用者の家族で細かい視点で忠告してくる家族がいる。他の家族から言われたことがない内容も多くあり、その対応に疲弊していることもある。就業時間を過ぎても説明を求められることもあり、精神的負担になり、業務に影響しかねない。ここ1・2年くらい利用者数は横ばいである。

⑤ 小規模多機能：石川氏

➡登録できる利用者は29名だが、現状は職員が少ないために実際使えるのは通い15名、泊りは8名がギリギリである。通いは、3対1の配置基準で対応。宿泊利用者は6名～7名で推移。9人まで1人で対応できるが大変だ。訪問の対応は、職員が少ないため安否・服薬・火元確認などが主で、掃除などのサービスは出来ない状況となっている。介護福祉士がいる形でシフトを組んで加算はいただいている。派遣は2名入っている。困っていることは、職員が足りないため利用者を増やすのが難しい状況である。

⑥ 太陽荘：遊佐氏

➡管理者の交代、ケアマネの退職、ケアマネを募集してもみつからない。紹介会社を利用して採用してもすぐに辞めてしまう。夜勤者にはきついシフトでやっている。利用待機者もいる。いざ入所できる状況になっても時間がたちすぎてADL等が極端に下がって現場での対応に無理が出てきてしまう恐れを感じている。介護職員はギリギリで対応。ケアマネは紹介会社に相談している状況。

2、 ケアマネから地域密着型サービス事業所への意見・要望

① 社協：藤原氏

➡初めて地域密着型サービス事業所の現状を伺った。厳しい状況下で苦慮していることを感じた。デイ等の紹介では、料金面を説明していると地域密着は料金が高いためか大規模の事業所を希望される人も多い。

② こずかた：三上氏

➡課題の中にはそれぞれの所属先の母体と調整が必要なものが多いので働きかけてほしい。福祉系の人材が不足していると思う。地域密着サービスの内情は参考になった。それぞれの事業所の特徴が把握出来れば、紹介しやすくなってくると思う。

③ こずかた：高橋氏

➡新規利用者を担当する際、小規模の利用が理想と思われるケースもあった。職員が足りないとの話もあり、利用者が安全に暮らしていくために今後、各サービス事業所の人員充実等も考えていかなければならないと思った。

④ 南在支：吉田氏

➡岩渕氏への補足。紫波町との境に事業所が位置しているため紫波町からの利用者が現在3名いる。小規模は泊りの利用からの人が、包括から来る相談がほとんどで支援困難ケースが多く、要支援の人たち。要支援の場合は料金が要介護5の3分1で地域利用者支援に貢献出来ていると思うが経営的に厳しい。派遣採用となると紹介料などもあり人

件費が上がってしまう。人材確保はコネで入っている人がほとんどである。コネに頼るしかないのが現状だ。

⑤ ニチイ矢巾：千葉氏

➡人材確保については、ニチイでは独自で実務者研修の講座を持っているので仕事紹介などをして受講生をスカウトするがそれでもニチイの事業所含めて人が来ない。介護の仕事始める人も少ない様子であり、ハローワーク以外にもインディードも問い合わせが多いと思う。デイの相談員は、新規利用者獲得の営業活動も行って頑張っている。

3、意見交換（フリートーク）

- ① つりがね：岩崎氏➡利用者に対して手厚い介護をしたい。負のスパイラルをどうにかしたい。派遣会社の紹介をうのみにしてはいけない。
- ② つむぎ：小泉氏➡法人としては職員数が多いので、上手に人員配置や人事異動を行いながら効率よく運営出来たら良いと思う。
- ③ 敬寿荘：佐藤氏➡人材は離職予防でもあり、継続してまじめに働いている臨時職員・非常勤職員に対して、正職員への道をもっと広げる必要がある。介護士は非常勤が多い。介護士がしっかり報われるように給与面等、経営者に考えてもらえれば、もっと人材が来るのではないかな。
- ④ 南デイ：岩淵氏➡職員それぞれの対応にばらつきもあるので、研修体制等も整えながら質の高いサービス提供を行えるようにしていきたい。
- ⑤ こずかた：三上 CM➡空き情報の共有。事業所の特色、アピールポイントなどを検討しPRしてほしい。
- ⑥ こずかた：高橋 CM➡事業所で出す広報などにアルバイトを募集、法人内での紹介制度（職員が一人紹介し入職したら報奨金が出るなど）。SNS で募集を募ったりすると、若い人の目に入るのではないかな。
- ⑦ 小規模むつき：石川氏➡人材育成については、学校で体験学習機会を作る。介護に興味を持ってもらえるよう種蒔きから始める。また、利用促進については事業所から情報がとても大切であり、居宅のケアマネ等にしっかり伝えれば紹介が来るのではないかな。
- ⑧ 南在支：吉田氏➡現在、当法人の理事長に現場の運営会議に出てもらっている。現場の職員と情報共有をしてもらっている。トップが現場を知ること、現場の声を聞くことも大切ではないかな。
- ⑨ ニチイ：千葉 CM➡ネットからの情報収集は現在の主流である。HP のまめな更新や口コミ欄にサクラで入力したり等、考えてみても良いのではないかな。
- ⑩ 太陽荘：遊佐氏➡横の繋がりも大切と思っている。全ての人が高齢者になるので、現在、国が介護保険制度をバックアップしてくれるいるので、この火を絶やさないようにした

2024(令和6)年3月25日(月) 令和5年度 地域ケア推進会議 さわやかハウス

2023(令和5)年度地域ケア個別会議実施状況と地域課題

開催日	協議内容	地域課題等
① 8月24日(金) 矢巾町えんじょいセンター 出席8人(長男、ケアマネ、担当課、福祉課、包括等)	対象者:二人世帯。長男遠方在住。夫80代、妻80代で要介護2。 ・猛暑の続く中エアコンなし。妻床ずれ発生、夫認知機能低下。生活環境悪化進行。 ・緊急時対応、環境改善、サービス導入、経済的支援を話し合う。	※独居・老夫婦世帯の緊急時対応 ※猛暑での生活環境づくり 例:涼しく過ごせる居場所等 ※見守りネットワーク
② 8月29日(火) 矢巾町役場 2F 出席7人(担当課、福祉課、紫波警察署、包括等)	対象者:二人世帯。夫・妻とも80代で未申請。50代長男は盛岡市在住で離婚歴あり。 ・夫バックホーで隣の木を掘り起こす近隣トラブル。夫と長男のトラブル絶えず妻は精神不安。警察の関りもある家庭。 精神保健関係の情報収集、連絡系統等。	※多職種・多機関連携 ※精神保健との連携 ※近隣トラブルに対する住民力・対応方法 ※行政等の役割
③ 9月26日(火) さわやかハウス 出席8人(ケアマネ、医療ソーシャルワーカー、包括、担当課等)	対象者:3人世帯。80代精神障害ある父、60代無職の二女、入院中の50代二男。 ・父の被害妄想「二女が何もしてくれない」等で様々な相談機関を渡り歩いている。 ・情報共有、これからの父への対応、二男の退院後の支援について話し合う。	※精神障害ある高齢者の特性や支援方法の研修(ネットワーク構築)
④ 11月7日(火) 矢巾町えんじょいセンター 出席6人(長女、矢巾交番、認知症疾患医療センター、担当課、包括)	対象者:三世代家族。祖父80代軽度認知障害の状態となってきた。 ・生活に支障がでてきていて、家族が何か支援を提案するが、本人は頑なに拒否。 ・医療機関受診、運転免許返納、本人への接し方への支援内容を話し合う。	※サービス拒否への対応 ※認知症支援 ※高齢者の運転免許対応
⑤ 12月21日(木) 矢巾町公民館 出席11人(福祉課、民生委員、県社協、包括等)	対象者:60代独居・未申請。70代パートナー同居で生活困窮世帯。 ・本人脳腫瘍でアルコール依存症、パートナー末期がん頻回な通院治療の必要あり。 ・支援内容等を話し合う。	※通院支援 ※精神保健との連携
⑥ 2024(令和6)年1月22日(月) さわやかハウス 出席7人(県社協、担当課、福祉課、包括等)	対象者:二人世帯。70代兄入院、精神障害ある60代妹が一人暮らしとなる。 ・ごみ屋敷に近い状態で経済的にも苦しい状況になっている。 ・経済的支援、退院後支援を話し合う。	※兄弟姉妹のみ世帯への支援方法

⑦ 2月7日(水) 矢巾町えんじょいセンター 出席6人(長男、ケアマネ、事業所、担当課、包括)	対象者: 三人世帯。80代夫婦と60代長男。 ・妻要介護2で通所介護利用。夫体調すぐれず病気がちで介護疲れ。 ・妻徘徊が頻繁5回警察に保護されている。 ・サービス拒否への対応、ケアプラン見直し、介護負担軽減について話し合う。	※認知症ケア・サービスの充実 ※サービス拒否への対応 ※SOSネットワーク普及促進
--	--	--

<まとめ>

- 1.家族支援をどうするか(多問題家族、認知症、介護と仕事の両立支援等)
- 2.ニーズ多様化に対応した移送・移動支援どうするか(頻回な通院必要だが経済的にできない等)
- 3.独居・老夫婦世帯の緊急時対応をどうするか(在宅医療・介護連携推進事業でも同じ課題あり)
- 4.精神保健との連携をどうするか(ここ2.3年同じ課題が出ている)

<市町村行政への要望:いますぐ検討具体化してほしいこと>

○緊急避難できる居場所の確保

○現在の行政契約施設やその場しのぎのホテル探しでは対応できないケースが増えている。

ケース①

家族関係悪くペットと暮らす
男性、ごみ屋敷状態

ケース②

息子と暮らす、時々暴力
を受けて警察を頼る女性

ケース③

家族意見合わずマンガ喫茶で
過ごし万引き起こした男性

- ・共通点。対応した時点では制度対象外の人たちで制度の狭間に該当していた。
- ・共通点2。発生時期は土日祭日で夕方かそれに近い時間帯で情報共有等迅速、早く居場所をどこにするか即断しなければならない状況だったこと。
- ・共通点3。すべて警察が関与していて、家族との関係が思わしくない状況だったこと。
- ・共通点4。すべて小規模多機能型居宅介護むつきが対応してくれたこと。感謝、感謝。
- ・こんなケースがこれから増加するのは目に見えています。
- ・秘密保持を前提に緊急避難できる居場所が必要です。どうして町内の施設等と話し合い契約しないか不思議です。
- ・早急にルールづくりをすることを要望します。
- ・包括、ケアマネ、施設と一緒に考えてみませんか。

＜相談業務状況資料＞ 2023年度矢巾町地域包括支援センター事業報告

(1) 相談件数と方法

	来所	電 話	訪 問	文書(FAX)・メール	夜間対応	計
4月	35	105	105	10	0	255
5月	39	85	83	5	1	213
6月	45	89	93	3	2	232
7月	17	97	85	3	0	202
8月	18	87	76	0	0	181
9月	16	87	86	2	0	191
10月	20	88	84	1	0	193
11月	28	95	87	8	0	218
12月	32	78	93	10	0	213
1月	36	91	96	7	0	230
2月	26	92	88	6	1	213
3月	26	110	97	10	2	245
計	338	1104	1073	65	6	2586

(2) 相談件数と内容

	総合相談	介護予防支援 総合事業相談	権利擁護 生活支援相談	包括的継続的 ケアマネジメント支援業務	その他事業 認知症施策総合推進事業	計
4月	105	115	11	15	9	255
5月	85	87	16	14	11	213
6月	105	88	13	12	14	232
7月	87	88	11	12	4	202
8月	72	85	12	5	7	181
9月	91	84	8	5	3	191
10月	76	94	12	5	6	193
11月	106	92	3	5	12	218
12月	87	95	14	9	8	213
1月	105	77	19	20	9	230
2月	122	65	12	7	7	213
3月	108	104	14	11	8	245
計	1149	1074	145	120	98	2586

(3) 相談内容件数

	総合相談	介護予防支援 総合事業相談	権利擁護 生活支援相談	包括的継続的 ケアマネジメント支援業務	その他事業 認知症施策総合推進事業	計
4月	275	149	61	30	19	534
5月	222	94	60	37	26	439
6月	222	127	52	30	27	458
7月	187	122	34	30	11	384
8月	183	132	41	20	14	390
9月	155	129	41	13	11	349
10月	181	144	54	19	21	419
11月	242	126	61	30	19	478
12月	210	88	43	27	11	379
1月	218	113	70	44	20	465
2月	284	86	48	19	15	452
3月	217	102	76	25	14	434
計	2596	1412	641	324	208	5181

1. 相談者・連絡調整機関の状況

① 区分	1	新規相談	470
	2	継続相談	2,115
	①合 計(①=②=③)		2,586
② 相談方法	1	来所	338
	2	電話	1,104
	3	訪問	1,073
	4	文書(FAX)・メール	65
	5	夜間対応(訪問・電話)	6
	②合 計(①=②=③)		2,586
③ 相談種別	1	総合相談支援業務	1,147
	2	介護予防支援・総合事業相談	1,076
	3	権利擁護・生活支援相談 ※権利擁護業務	145
	4	包括的継続的ケアマネジメント支援業務	115
	5	その他事業(認知症施策総合推進事業など)	92
	③合 計(①=②=③)		2,586
④ 相談者・連絡調整機関	1	本人(当事者)	1,283
	2	家族(親族含む)	1,076
	3	民生委員(主任児童委員)など	67
	4	地域住民(知人)・自治会・老人クラブなど	72
	5	ボランティア	8
	6	商店・コンビニ・金融機関・飲食店など	15
	7	居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)	424
	8	介護サービス事業者等(在宅・施設)	841
	9	医療機関(医療相談室など)	255
	10	矢巾町健康長寿課	198
	11	矢巾町役場(健康長寿課以外)	150
	12	矢巾町以外の行政機関等	22
	13	矢巾町社会福祉協議会	19
	14	権利擁護センター(消費者センター)など	1
	15	成年後見人(補助・保佐含む)	1
	16	他相談援助機関(障害・児童など)	109
	17	警察・消防署・弁護士等	41
	18	その他	118
	④合 計		4,699

2. 相談内容

① 高齢者等総合相談		
a 介護及び地域福祉に関する相談		
1	状況把握	706
2	介護方法や悩み不安に関すること	123
3	家族・親族関係の悩みについて	94
4	地域の課題・不安に関すること	76
5	地域住民の緊急対応(行方不明・生活の困りごと含む)	14
6	インフォーマルサービスに関すること	69
7	その他	90
合 計		1172
b 介護保険に関する相談		
1	介護保険認定申請の支援(代行含む)	166
2	総合事業対象者申請の支援(代行含む)	26
3	介護保険関係サービス申請の支援(代行含む)	26
4	在宅介護サービス利用相談(要支援・要介護)	318
5	施設サービスに関すること(入所相談など)	127
6	福祉用具貸与・購入・住宅改修に関すること	156
7	サービス等の苦情に関すること	17
合 計		836
c 医療・他福祉サービスに関する相談		
1	医療機関の受診・入退院に関すること	364
2	医療制度・リハビリ等に関すること	55
3	養護老人ホーム等の入所に関すること	1
4	障害者福祉に関すること	22
5	精神疾患に関すること(精神保健福祉含む)	49
6	児童・子育て等に関すること	4
7	福祉サービス(配食・緊急通報等)に関すること	57
8	その他	73
合 計		625
高齢者総合相談合計(a~c)		2,596
② 介護予防支援・総合事業		
1	サービス計画作成依頼届出書	34
2	介護予防・総合事業業務全般(アセスメント～担会など)	903
3	生活支援サービス(住民ボランティアの見守り等)	28
4	一般介護予防事業に関すること(実態把握含む)	27
5	予防サービスへの苦情に関すること	4
6	その他	416
介護予防支援・総合事業相談合計		1,412

③ 権利擁護・生活支援相談		
	1 虐待・消費者被害に関すること	20
	2 措置入所に関すること	
	3 日常生活自立支援事業に関すること	19
	4 成年後見制度利用に関すること	8
	5 生活保護・生活困窮・低所得支援に関すること	127
	6 認知症等に関すること	245
	7 独居・老夫婦世帯等に関すること	161
	8 災害支援に関すること	14
	9 その他	47
権利擁護・生活支援相談合計		641
④ 包括的継続的ケアマネジメント支援業務		
	1 重層的な支援(複合的な課題あり)	28
	2 悩み・ストレスに関すること	11
	3 ケアマネジメント(ケアプラン)に関する助言	21
	4 同行訪問(医療機関等を含む)による支援	39
	5 支援困難事例に関すること	59
	6 サービス担当者会議などの連携支援	10
	7 関係機関との連携体制構築支援	126
	8 その他	30
ケアマネジメント支援相談合計		324
⑤ その他事業(認知症事業など)		
	1 認知症サポーター養成講座に関すること	8
	2 チームオレンジに関すること	18
	3 えんじょいセンター拠点事業に関すること	35
	4 ボランティア活動に関すること	48
	5 見守りSOSネットワークに関すること	12
	6 認知症初期集中支援チームに関すること	1
	7 生活支援体制整備事業に関すること	42
	8 その他	44
その他事業(認知症施策総合推進事業など)合計		208

矢巾町等ケアマネ・サービス事業所合同連絡会会議 開催状況(11回開催)

開催日	主な内容	人数
① 4月14日	・健康長寿課、福祉課、サービス事業等新職員紹介 ・矢巾町防災マップの周知と活用方法 講師：矢巾町防災安全室 大和田 室長 ・矢巾町の自殺予防対策 ・精神保健分野との連携方法と緊急支援 講師：矢巾町福祉課 竹鼻 保健師	42
② 5月18日	・虐待を生まない地域をつくるために ・ミニ講話「虐待を許さないケア、不適切ケアとは」 ・グループワーク	34
③ 6月23日	・一人暮らしに必要な社会資源を考える ・実践的事例検討、グループワーク	30
④ 7月19日	・認知症基本法の理解 ・グループワーク「こんな矢巾町に住みたい」	18
⑤ 8月21日	・いままでのグループワークのまとめ ・熱中症予防 ・介護保険情報	20
⑥ 9月22日	・消費者被害予防「悪質商法に負けないために」 講師：盛岡市消費生活センター職員 ・矢巾町消費者安全確保地域協議会の役割 講師：矢巾町福祉課 畠山 社会福祉士	20
⑦11月29日	・介護保険情報「介護報酬改定各サービスの論点と対応案」	23
⑧ 1月 24日	・介護保険情報「介護報酬改定の概要」	21
⑨ 2月 8日	・自殺予防ゲートキーパー養成講座 講師：大塚耕太郎 教授（岩手医科大学神経精神科学講座）	15
⑩ 2月21日	・紫波郡地域リハビリテーション研修会 「高齢者の自動車運転と地域移動支援」 講師：高橋 俊介 さん（南昌病院 作業療法士）	16
⑪ 3月21日	・矢巾町地域密着型サービス事業所及び指定居宅介護支援事業所（指定介護予防支援事業所）集団指導	25

矢巾町内主任介護支援専門員意見交換会 開催状況(3 回開催)

① 4月14日	・主任ケアマネの活動、ピア・スーパービジョンの実施予定	9
② 9月25日	・矢巾町第9期介護保険事業計画（案）への意見・提案	11
③12月28日	・地域密着型サービス事業所との意見交換、人材の課題	17

＜2023年度 職員の研修参加状況＞

開催日	研修内容	開催場所	参加職員
5/17日	ハラスメント研修会	ケアセンター南昌	吉田
6/8日	岩手県ヤングケアラー研修会	オンライン	吉田
6/16日	岩手県地域包括支援センター等職員研修	県高校会館	堂脇
6/27日	岩手県地域包括支援センターフォーラム	アイーナ	山田、堂脇
7/4、10/10 2/13	認知症の人と家族の一体化支援プログラム研修	アイーナ	鱒沢、村松
7/28日	岩手県地域包括支援センター等中堅職員研修	県高校会館	堂脇
8/31、9/1 10/10,12 11/27,28,30	岩手県主任介護支援専門員研修	アートホテル盛岡	遠藤
9/11 日	岩手県地域リハビリテーション研修会	岩手リハセンター	堂脇
9/30日	岩手県社会福祉士養成実習指導者研修会	オンライン	遠藤
10/24日	岩手県介護支援専門員更新研修	アートホテル盛岡	佐藤
10/26日	市町村等介護保険相談・苦情処理担当職員研修会	オンライン	吉田
11/9日	岩手県認知症地域支援員活動促進研修会	マリオス	村松
11/21日	岩手県生活支援体制整備事業テーマ別研修会	アイーナ	堂脇
12/15日	社会福祉と動物愛護を考える研修会	県民会館	鱒沢
12/23日	岩手県介護支援専門員協会研修会	アイーナ	堂脇
1/12日	岩手県成年後見制度・権利擁護体制整備研修	アイーナ	遠藤
1/21.22 日	岩手県地域包括支援センター職員リーダー研修	マリオス	遠藤
1/31日	岩手県介護予防セミナー	オンライン	山田
2/14日	矢巾町精神保健セミナー	矢巾町公民館	吉田
2/26. 27日	岩手県災害派遣福祉チーム員登録研修	アイーナ	鱒沢、堂脇

◆ 2023年度矢巾町地域包括支援センター指定介護予防支援事業所事業報告

<総括>

- ① 総合事業通所型サービスC（リアクト）の利用者21人へ介護予防ケアマネジメント実施。
- ② 総合事業通所型サービスC（リアクト）実施に伴い地域の居場所も11か所増え、生活支援コーディネーターとの連携も構築された。
- ③ リアクト修了者の継続的活動の場として町社協が「シークル」事業を開始した。

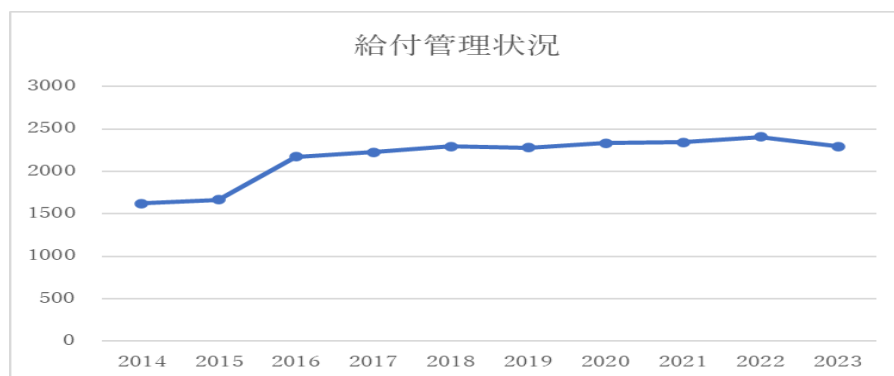
◎介護予防支援業務状況(要支援1・2・総合事業対象者のケアマネジメント)

- ・総計 2,294 件(前年度比 113 件減)。うち委託は件(前年度比 14 件減少)、センター直接での実施件数は 1,660 件(前年度比 20 件増加)。
- ・1ヵ月平均 190 件(前年度比 5 件減)。直接 138 件、委託 62 件。委託事業所は 17(前年度比 2 委託事業所増)。

1. 介護度の変化

新規利用者	(年度の途中から利用)	52
介護へ移行	(要支援→要介護)	34

2. 給付管理状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	83	83	84	83	79	73	71	71	66	72	76	80	921
要支援2	104	107	110	110	100	100	98	100	103	103	105	104	1,244
事業対象者	11	12	10	11	11	11	10	10	10	10	11	12	129
2023年度計	198	202	204	204	190	184	179	181	179	185	192	196	2,294
2022年度	198	198	196	198	204	202	206	199	198	204	201	203	2,407
2021年度	190	192	193	195	193	196	192	200	201	201	196	195	2,344
2020年度	190	195	195	195	198	199	199	197	200	188	189	189	2,334
2019年度	197	194	196	198	189	189	184	184	191	188	184	188	2,282
2018年度	187	187	184	187	184	182	199	195	194	198	198	200	2,295
2017年度	191	189	185	183	183	184	183	192	194	189	174	180	2,227
2016年度	160	163	173	177	175	182	186	192	190	193	191	193	2,175
2015年度	140	138	133	136	132	132	134	139	143	138	148	153	1,666
2014年度	131	128	123	135	137	134	133	142	139	138	140	141	1,621

3. 予防プラン委託事業所と委託件数（2024. 03. 31 現在）

1	あじさい居宅介護支援事業所	1
2	えがお指定居宅介護支援事業所	1
3	ｸｱｰﾃｯｸ居宅介護支援事業所	2
4	ケアプランセンターかなめ	18
5	ケアプランセンター架け橋	6
6	高原の駅	3
7	こころ指定居宅介護支援事業所	1
8	こずかたケアプランセンター	12
9	こん総合福祉相談所	1
10	シェーンハイムやはば居宅介護支援事業所	4
11	ニチイケアセンター矢巾	4
12	ふくろうの家	2
13	プレーゴ介護支援センター	1
14	結いの手 居宅介護支援事業所	1
15	愛ケアセンター	1
16	居宅介護支援事業所 いと	4
17	七星会居宅介護支援事業所	2
	計	64(前年比 2 件減)

4. 認定調査状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2023 年度	1	4	1	4	2	2	3	0	4	4	6	4	35
2022 年度	3	0	4	4	5	5	2	1	1	0	2	1	28
2021 年度	4	3	2	2	7	3	3	4	2	2	2	4	38
2020 年度	3	3	2	2	2	3	2	1	4	2	3	2	29
2019 年度	3	2	3	4	5	4	0	2	2	3	3	1	32
2018 年度	5	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	15
2017 年度	3	2	1	2	0	0	0	1	2	4	3	4	22
2016 年度	0	9	4	4	6	5	7	4	5	5	1	1	51
2015 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2014 年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2013 年度	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3

2023 年度 矢巾町認知症施策総合推進事業報告

1. 医療・介護・地域支援サービスの連携を図る事業

① やさしさはばたく認知症支援ネットワーク連絡会

2023 年 12 月 14 日（木）14 時～15 時 さわやかハウス

② ワーキング部会の開催

- ・医療連携・認知症ケア検討部会 2 月 22 日（木）えんじょいセンター
- ・わが町つながる支援部会 2 月 22 日（木） //
- ・安心安全おたすけ部会 2 月 28 日（水） //

2. 認知症の人と家族を支援する事業

① 認知症相談（平日・休日・夜間）の実施

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規	7	4	7	8	7	6	8	8	4	8	8	7	82
継続	33	51	37	15	18	21	19	35	28	49	50	41	397

② 地域で活躍するボランティアの育成・支援

* おれんじボランティアの活動支援、事務局運営

ボランティア登録数 50 名（女性：47 名 男性：3 名）

* おれんじボランティア養成講座

2024 年 2 月 16 日（金）9：30～15：00 13 名参加

生活支援 住民主体型訪問サービス B （家庭での掃除、買い物代行等）	活動回数 362 回 活動人数 のべ 732 人
---------------------------------------	-----------------------------

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
活動回数	31	35	41	34	28	34	28	29	26	24	27	25	362
活動人数	62	72	82	70	56	72	56	58	52	48	54	50	732

3. 安心と安全を地域で見守るための事業

① 見守り SOS ネットワークの普及・活用

* 「盛岡広域シルバーケア SOS ネットワークシステム」

登録者 47 名（今年度の登録者 14 名）

② 地域での見守りボランティアの育成や支援

* 矢巾わんわんパトロール隊の事務局運営 登録者数 30 名

4. 認知症に対する理解を深め、意識を高めるための事業

① 矢巾町キャラバン・メイト連絡会の事務局運営

* 矢巾町キャラバン・メイト定例会：毎月第1木曜日実施 活動メイト数 25名

② サポーター養成講座の開催状況

* 開催回数 26回 サポーター養成数 729人

(現在まで) サポーター数 9,006人 総人口に占める割合 約 34.1%

開催日	対 象	場 所	人 数
R5. 4. 25	岩手医大看護学部	岩手医大キャンパス	92
R5. 5. 2	岩手医大薬学部	岩手医大キャンパス	29
R5. 5. 17	サンフレッシュ都南	サンフレッシュ事務所	3
R5. 5. 18	ケナフ職員研修	百万石矢巾口	13
R5. 6. 1	矢巾町役場職員	さわやかハウス	17
R5. 6. 2	矢巾町役場職員	えんじょいセンター	8
R5. 6. 5	岩手医大衛生管理部	岩手医大キャンパス	16
R5. 6. 22	高齢者にやさしいお店	えんじょいセンター	6
R5. 6. 23	民生委員老人部会	えんじょいセンター	15
R5. 7. 3	高齢者にやさしいお店	えんじょいセンター	2
R5. 8. 1	日本調剤薬局	日本調剤矢巾店	4
R5. 7. 25	南昌コミュニティ	南昌公民館	15
R5. 9. 20	あいののレストラン	あいののレストラン	6
R5. 10. 2	南矢幅6区・7区住民	南矢幅公民館	19
R5. 10. 12	岩手医大職員	岩手医大	74
R5. 10. 20	障がい者基幹相談支援センター	障がい者基幹相談支援センター	15
R5. 10. 27	矢巾東小学校 4年生	矢巾東小学校	73
R5. 10. 31	不動小学校 4年生	不動小学校	31
R5. 10. 31	広宮沢1区住民	広宮沢公民館	21
R5. 11. 8	煙山小学校 4年生	煙山小学校	118
R5. 11. 17	あさあけの園 職員	障がい者基幹相談支援センター	10
R5. 11. 14	間野々行政区 住民	間野々公民館	11
R5. 11. 22	土橋行政区 住民	土橋公民館	15
R5. 11. 22	株式会社東北CGC	東北CGC	14
R5. 12. 19	徳田小学校 4・5・6年生	徳田小学校	90
R6. 2. 8	煙山行政区 住民	煙山公民館	12

③ チームオレンジやはば祭り 2023

2023 年 9 月 9 日 10 時～15 時 (台風のため中止)

④ 矢巾町認知症セミナー ～認知症とともに生きるまち やはば～

2023 年 9 月 9 日 13 時～15 時 田園ホール 来場者数 550 人

- ・ 認知症支援事業 10 年のあゆみとこれからについて
- ・ 記念講演「認知症の母と私と大家族」講師 石田千恵子氏

⑤ 矢巾町秋まつり参加 2023 年 10 月 21 日 9 時～16 時

えんじょいセンターを中心に、認知症の普及啓発活動

えんじょいグループによる「矢巾温泉音頭」「矢巾健康音頭」の披露

→おれんじボランティア・キャラバン・メイト・わんパト隊 合計 60 名参加

5. 関係機関との連携・研修会

- * 厚生労働省 令和 5 年度老人保健事業推進費等補助金事業
「認知症施策のあり方に関する調査研究事業」への協力・講演
2024 年 2 月 22 日 (木) オンライン
- * 東北厚生局 令和 5 年度第 1 回市町村セミナーにおける実践報告
2024 年 1 月 22 日 (月) 東北厚生局
- * 新潟県 令和 5 年度市町村認知症施策推進に向けた担当者研修会 講師
2024 年 2 月 9 日 (金) オンライン
- * 仙台市 令和 5 年度仙台市地域包括支援センター職員研修会 講師
2024 年 1 月 17 日 (水) 仙台市福祉プラザ
- * 盛岡市 令和 5 年シルバーメイト全体研修会 講師
2024 年 2 月 29 日 (木) 盛岡市総合福祉センター
- * 岩手県認知症サポーター等推進事業 オレンジチューター
- * 岩手県地域包括ケアシステム構築促進事業 アドバイザー
2024 年 1 月 26 日 (金) 紫波町
2024 年 2 月 20 日 (火) 花巻市

2023 年度 矢巾町認知症初期集中支援推進事業報告

① 令和 5 年度矢巾町初期集中支援チーム検討委員会

2024 年 3 月 25 日（月）16：00～17：00 さわやかハウス

② 認知症初期集中支援チーム対応ケース 0 件

< 考察 >

チーム対応の必要性がなかった理由として

- ・ 認知症相談窓口の周知が進みチーム対応の必要なケースがなかった。
- ・ 認知症の初期からの関りが増え症状が深刻なケースがなかった。

今後の展開

- ・ 複合的な課題がある場合に、認知症課題を内包しているケースが多く見られるので、関連する他事業（重層的支援会議・矢巾町個別支援会議・生活支援協議会 等）にチームとして参加していく必要性を感じる。

③ その他の活動

2022 年度にチームがかかわったケースを継続して支援した。

< 概要 >

医療機関からの相談：本人(90 代・女性) 実弟(80 代)との2人世帯
認知症の進行が認められるが適切な医療と介護につながっていなかった。
支援会議、チーム員会議を実施して、医療機関および介護支援専門員につなぎ、
必要な医療と介護が受けられる体制を整備した。
ケアマネジャーと協働で引き続き支援を継続している。

2023 年度 矢巾町チームオレンジコーディネーター事業報告

* チームオレンジ活動の推進

* ステップアップ講座の開催・担い手の創出

2024 年 2 月 16 日（金） 参加者数 13 人

* チームオレンジ矢巾まつり（台風のため中止）

① おれんじデー（第 1.3 木曜日 第 2.4 水曜日 10:00～12:00 えんじょいセンター）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開催回数	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	46 回
参加人数	21	11	21	26	23	26	26	31	40	33	46	40	344 人
ボラ人数	9	6	9	12	12	10	11	13	13	10	13	20	138 人

② おれんじカフェ（毎月第 2 土曜日 10:00～12:00）

実施回数 10 回 参加者数 16 人 活動ボランティア数 28 人

③ 認知症予防教室（コグニサイズ） 開催回数 13 回 活動ボランティア数 16 人

④ えんじょいセンター周辺の花壇整備

⑤ 出前支援 実施回数 1 回 活動ボランティア数 1 名

⑥ チームオレンジに係る研修・視察の受け入れ

・ 岩手県オレンジコーディネーター研修

2023 年 8 月 9 日（水） 10:00～15:30 町公民館・えんじょいセンター

2023 年 10 月 25 日（水） 10:00～15:30 町公民館・えんじょいセンター

・ 洋野町合同フォローアップ研修

2023 年 9 月 28 日（木） 洋野町ふるさと交流館

・ 一戸町合同交流研修会

2024 年 3 月 8 日（金） 町公民館・えんじょいセンター

2023年度 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）報告

1. 地域資源の開発

- ① 地域に不足するサービスおよび支援の創出
- * 広報誌じょい joy の編集・発行（年４回）
 - * おれんじボランティアによる生活支援サービスの運営
 - * 〃 移動スーパー事業との連携
- ② サービス及び支援の担い手の養成又は研修の実施
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施
- 開催回数 26 回 サポーター数 729 人

2. ネットワークの構築

- ① 矢巾町生活支援協議会
- ・第1回 2022年11月28日(火) 15:00～16:00 さわやかハウス
 - ・第2回 2024年3月4日(月) 14:00～15:00 //
- ② 生活支援コーディネーター定例会 毎月1回開催 10回参加
- ③ 令和6年1月22日(月) 13:30～16:00
東北厚生局
「令和5年度第1回市町村セミナー」における実践報告とパネルディスカッション参加